

函館の教育 2019

函館市教育委員会

函館市教育目標

- 1 資源を愛護し、すすんでこれを開発利用する市民
- 2 勤労を愛好し、科学的に生産を高める市民
- 3 生命の保存に努め、地域に適した健康生活を実践する市民
- 4 郷土を愛し、広い視野から郷土文化を創造する市民
- 5 政治や法律がわかり、公民として活動をりっぱにする市民
- 6 たがいに敬愛し、民主的徳徳を実践する市民

市民憲章

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和 52 年 5 月 3 日制定)

都市宣言

- ・ 安全都市宣言
(昭和 36 年 3 月 6 日制定)
- ・ 核兵器廃絶平和都市宣言
(昭和 59 年 8 月 6 日制定)
- ・ 国際観光都市宣言
(平成元年 8 月 1 日制定)
- ・ スポーツ健康都市宣言
(平成 4 年 10 月 10 日制定)
- ・ いきいき長寿都市宣言
(平成 6 年 12 月 10 日制定)

「函館の教育」の作成にあたって

函館市教育委員会教育長 辻 俊行

人口減少や少子・高齢化の進展，人工知能やロボットなどの絶え間ない技術革新により，個人の価値観やライフスタイルの多様化，地域社会におけるつながりや支え合いの希薄化，生活の中での急速な情報化など，社会が大きく変化しているなかで，市民一人ひとりが主体的に社会に関わり，活力ある地域社会を創り出していくことが求められており，そのためには，郷土の歴史や文化を誇りに思い，地域の発展を支える人材の育成を担う教育の役割がますます重要となります。

また，そうした市民一人ひとりの力を高めるためには，「生涯を通じて学び続け，主体的に判断して変化する社会を生きる人」，「寛容さと思いやりの心をもって，多様な人々と絆を結び共に支え合う人」，「世界に目を向け，新たな価値を創り，まちの魅力を高める人」を育成することが一層重要となります。

教育委員会といたしましては，市民一人ひとりが生き生きと学び続けることのできる環境の整備に努めるとともに，郷土の歴史と文化に誇りをもちながら，ふるさと函館を支える人材の育成をめざし，

- 1 変化する社会を生きる力の育成
- 2 地域とともにある学校づくりの推進
- 3 函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成
- 4 生きがいを創り出す生涯学習の推進
- 5 心の豊かさを育む文化芸術の振興
- 6 健やかな心身を育むスポーツの振興

の施策を掲げ，市民と連携・協働する教育行政の積極的な推進に努めてまいります。

この「函館の教育」は，本市における教育の現況を理解していただくために，作成いたしました。

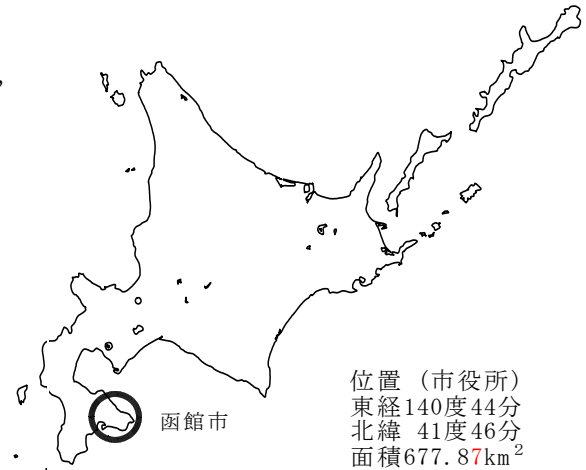
皆様のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

函館市の概況

函館は、古くは室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。



位置 (市役所)
東経140度44分
北緯 41度46分
面積677.87km²

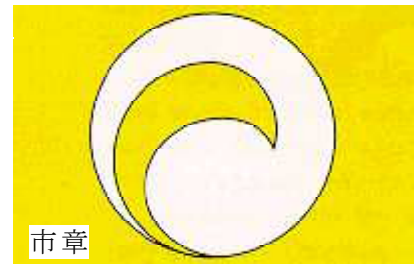
- 市の木 おんこ(いちい)
- 市の花 つつじ(やまつつじ)
- 市の鳥 ヤマガラ
- 市の魚 イカ

姉妹都市

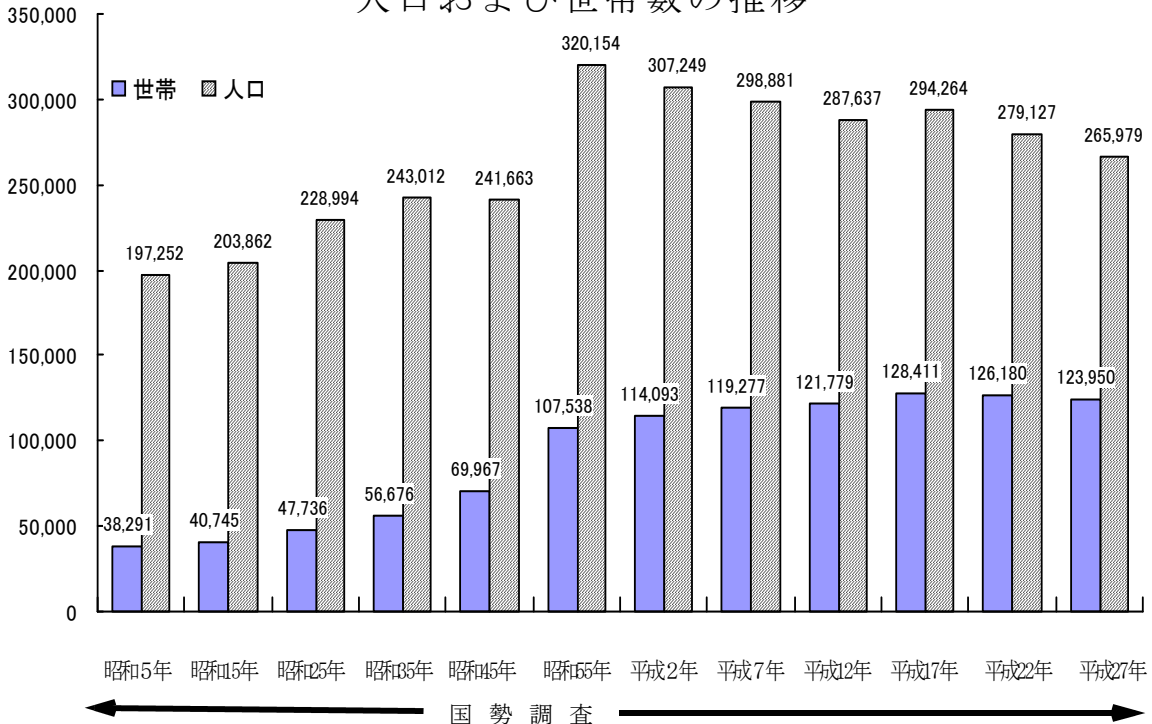
- ハリファックス市 (カナダ S57. 11. 25提携)
- ウラジオストク市 (ロシア連邦 H4. 7. 28提携)
- レイク・マコーリー市 (オーストラリア H4. 7. 31提携)
- ユジノサハリンスク市(ロシア連邦 H9. 9. 27提携)
- 高陽市 (大韓民国 H23. 8. 1提携)

友好交流都市

- 天津市 (中華人民共和国 H13. 10. 18提携)



人口および世帯数の推移



総目次

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	6
4	組織の編成	8
5	教育振興基本計画	9
6	教育財政	12

II 生涯学習

1	社会教育事業の概要	17
2	社会教育・スポーツ施設の概要	48
3	学校開放事業の概要	85

III 学校教育

1	市立学校施設一覧	89
2	児童・生徒	93
3	学校保健	95
4	学校安全	96
5	学校給食	97
6	就学援助	98
7	特別支援	100
8	函館市南北海道教育センター	101

IV 資料編

1	函館市教育の沿革概要	103
2	函館市内の指定文化財	121
3	市立学校・幼稚園一覧	128
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	132

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	6
4	組織の編成	8
5	教育振興基本計画	9
6	教育財政	12

1 教育委員



教育長

委員

委員

委員

委員

(教育長職務代理者)

辻 俊行 藤井 壽夫 小葉松 洋子 須田 新崇 青田 基

役職	氏名	性別	就任年月日	現在の任期
教育長	辻 俊行	男	平成29年 4月 1日	(1期目) 平成29年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月31日
委員 (教育長職務代理者)	藤井 壽夫	男	平成28年10月24日	(2期目) 平成29年10月24日 ～ 令和 3年10月23日
委員	小葉松 洋子	女	平成19年10月23日	(4期目) 令和元年10月23日 ～ 令和 5年10月22日
委員	須田 新崇	男	平成26年10月15日	(2期目) 平成30年10月15日 ～ 令和 4年10月14日
委員	青田 基	男	平成28年10月24日	(1期目) 平成28年10月24日 ～ 令和 2年10月23日

2 附属機関委員（令和2年.1.1現在）

(1) 函館市教育振興審議会

（発足）「函館市教育振興審議会条例」に基づき、平成30年発足

（目的）教育委員会の諮問に応じ、教育の振興に関する施策の推進について調査審議する。

（委員）学識経験者，教育職員，保護者，公募，その他(15人以内)

（任期）令和3年8月31日まで

氏名	役職等
小松 一保	北海道教育大学教授
花田 譲	函館大学教授
松浦 一秀	函館市小学校長会事務局長
佐々木 正幸	函館市小学校長会事務局次長
佐竹 聡	函館市中学校長会事務局長
田尻 勝敏	北海道高等学校長協会道南支部長
干山 毅	函館市PTA連合会会長
舘山 大樹	函館市PTA連合会副会長
石田 亮介	函館市PTA連合会副会長
井上 実香	公募
木村 久美子	函館市社会教育委員
竹内 正幸	函館商工会議所事務局長
永澤 和枝	函館市町会連合会常任理事
木村 一雄	函館市私立幼稚園協会会長
豊田 リカ	函館保育協会

(2) 函館市スポーツ振興審議会

（発足）「函館市スポーツ振興審議会条例」に基づき、平成3年に発足

（目的）教育委員会の諮問に応じ、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。

（委員）学識経験のある者，関係団体の推薦する者，公募による者（10人以内）

（任期）令和3年12月21日まで

氏名	役職等
小笠原 勇人	函館市スポーツ協会副会長
名古屋 貞俊	函館市スポーツ推進委員会会長
高井 真澄美	函館市中学校体育連盟研究副部長
伊藤 烈	北海道高等学校体育連盟函館支部事務局長
野澤 信子	函館レクリエーション協会会長
八木原 一英	函館市医師会理事
本間 税	函館青年会議所副理事長
松田 賢一	函館短期大学教授
小泉 正勝	公募
藤野 広善	公募

(3) 函館市教育支援委員会

(発足) 「函館市就学指導委員会条例」に基づき、平成10年発足

平成27年4月より、函館市就学指導委員会から名称変更。

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、教育上特別な配慮を要する児童生徒の心身の障がいの種類、程度等について調査審議する。

(委員) 医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員(20人以内)

(任期) 令和2年5月25日まで

氏名	役職等
石倉 亜矢子	函館中央病院小児科医長
廣瀬 三恵子	函館中央病院小児科嘱託医
阿部 千春	函館大谷短期大学こども学科准教授
本田 真大	北海道教育大学函館校准教授
山本 良子	函館特別支援教育研究会副会長
海田 俊昌	函館特別支援教育研究会
阿部 真之	函館市中学校長会
對馬 寿恵	函館市中学校長会
三浦 務	函館市小学校長会
櫻田 なおみ	北海道函館養護学校校長
太田 千佳子	北海道教育大学附属特別支援学校副校長
小棚木こずえ	函館市中学校教頭会
小濱 誠	函館市小学校教頭会
中島 宏幸	函館市立巴中学校教諭
三浦 眞紀	函館市立日吉が丘小学校教諭
檜原 永都子	児童発達支援センターうみのほし園長
田中 慎一	日本障害者・高齢者生活支援機構理事長
岡崎 弥生	はこだて・療育自立支援センター技師
田口 文彦	北海道函館児童相談所子ども支援課長
南部 葵	北海道函館児童相談所判定援助係長

(4) 函館市いじめ防止対策審議会

(発足) 「函館市いじめ防止対策審議会条例」に基づき、平成30年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、市立学校におけるいじめの防止、いじめの早期発見およびいじめへの対処のための対策等について調査審議する。

(委員) 教育職員、学識経験のある者、関係団体の推薦する者、公募による者等(15人以内)

(任期) 令和2年3月31日まで

氏名	役職等
田上 直弘	函館市中学校生徒指導協議会会長
干山 毅	函館市PTA連合会会長
鳴海 清英	函館市中学校生徒指導研究協議会
漆畑 英幸	函館市小学校生活指導研究協議会
高橋 奈緒美	函館市養護教諭研究会会長
伊藤 繁子	函館家庭生活カウンセラークラブ代表
川合 裕紀子	函館人権擁護委員
越橋 理恵	公募
松浦 まどか	公募
伊藤 詠子	函館弁護士会
多田 直人	五稜郭メンタルクリニック院長
深山 恵子	函館市こころの相談員
中村 吉秀	北海道教育大学教職大学院函館校特任教授
箭原 信継	北海道函館児童相談所地域支援課長
澁谷 昌広	北海道社会福祉士会道南地区支部

(5) 函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会

- (発足) 「函館市青少年芸術教育奨励基金の設置および管理に関する条例」に基づき, 平成3年発足
- (目的) 奨励事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議する。
- (委員) 小・中学校長会, 高等学校長協会道南支部, P T A連合会および文化団体協議会の各代表(5人)
- (任期) 令和3年6月17日まで

氏名	役職等
谷口 光伸	函館市小学校長会
笠島 美教	函館市中学校長会
佐竹 卓	北海道高等学校長協会道南支部
末永 由美	函館市P T A連合会
阿部 哲治	函館市文化団体協議会事務局長

(6) 函館市社会教育委員

- (発足) 「函館市社会教育委員設置条例」に基づき, 昭和24年発足
- (目的) 教育委員会の諮問に応じ, 社会教育に関する諸計画の立案に関して意見を述べるほか, 社会教育について調査・研究する。
- (委員) 学校の長, 社会教育関係団体の代表者, 学識経験者および公募(15人)
- (任期) 令和2年3月10日まで

氏名	役職等
池田 孝道	NO法人函館市青年サークル協議会理事
瀬戸 真理子	函館市文化団体協議会副会長
長谷川 巖	函館市小学校長会
滝澤 智子	函館市中学校長会
佐竹 卓	北海道高等学校長協会道南支部
外崎 紅馬	北海道教育大学函館校教授
石崎 美奈子	函館市女性会議副会長
市田 悦雄	特定非営利活動法人函館市スポーツ協会副会長
神田 克実	函館市P T A連合会副会長
木村 久美子	公益社団法人函館法人会女性部会理事
吉川 徳人	日本放送協会函館放送局放送部長
佐々木 学	北海道新聞社函館支社報道部長
川口 英孝	函館市町会連合会東部地区協議会副会長
板東 成美	公募
佐藤 勝博	公募

(7) 博物館協議会

(発足) 「市立函館博物館条例」に基づき、昭和27年発足

(目的) 館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し意見を述べる。

(委員) 学校教育・社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者および公募(11人以内)

(任期) 令和2年2月21日まで

氏名	役職等
佐々木 馨	北海道教育大学函館校名誉教授
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
鈴木 恭朗	函館市小学校長会
武井 佳子	函館市文化団体協議会舞台委員長
風間 美智子	函館市社会学級生連絡協議会会長
加藤 尚孝	函館市PTA連合会副会長
山内 一男	(株)建築企画山内事務所代表取締役
若山 直	(株)五島軒代表取締役社長
駒井 惇助	公募
阿川 紘一郎	公募
松崎 水穂	公募

(8) 函館市文化財保護審議会

(発足) 「函館市文化財保護条例」に基づき、昭和58年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存・活用に関する重要事項について調査審議する。

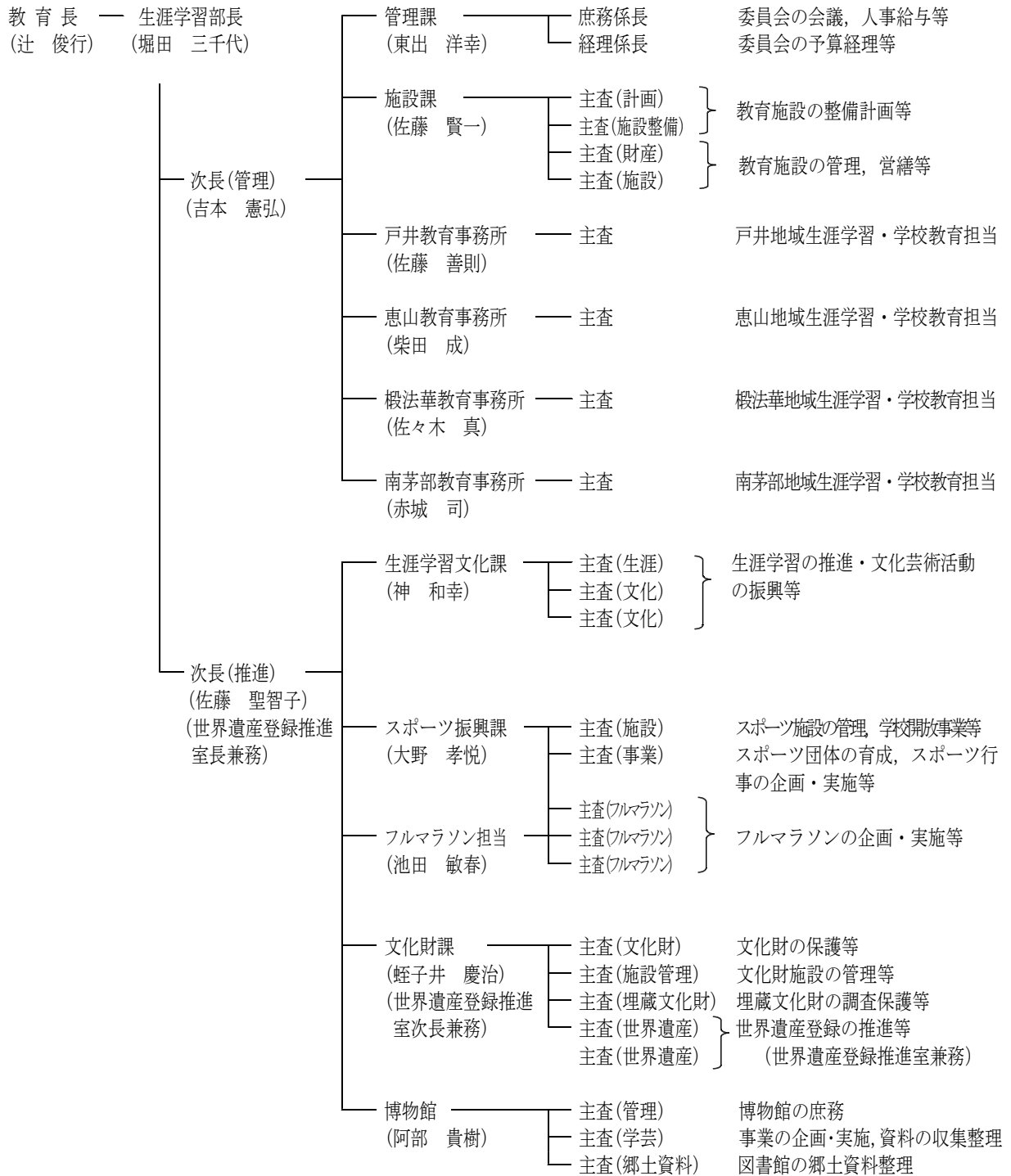
(委員) 学識経験者等(14人以内)

(任期) 令和3年11月11日まで

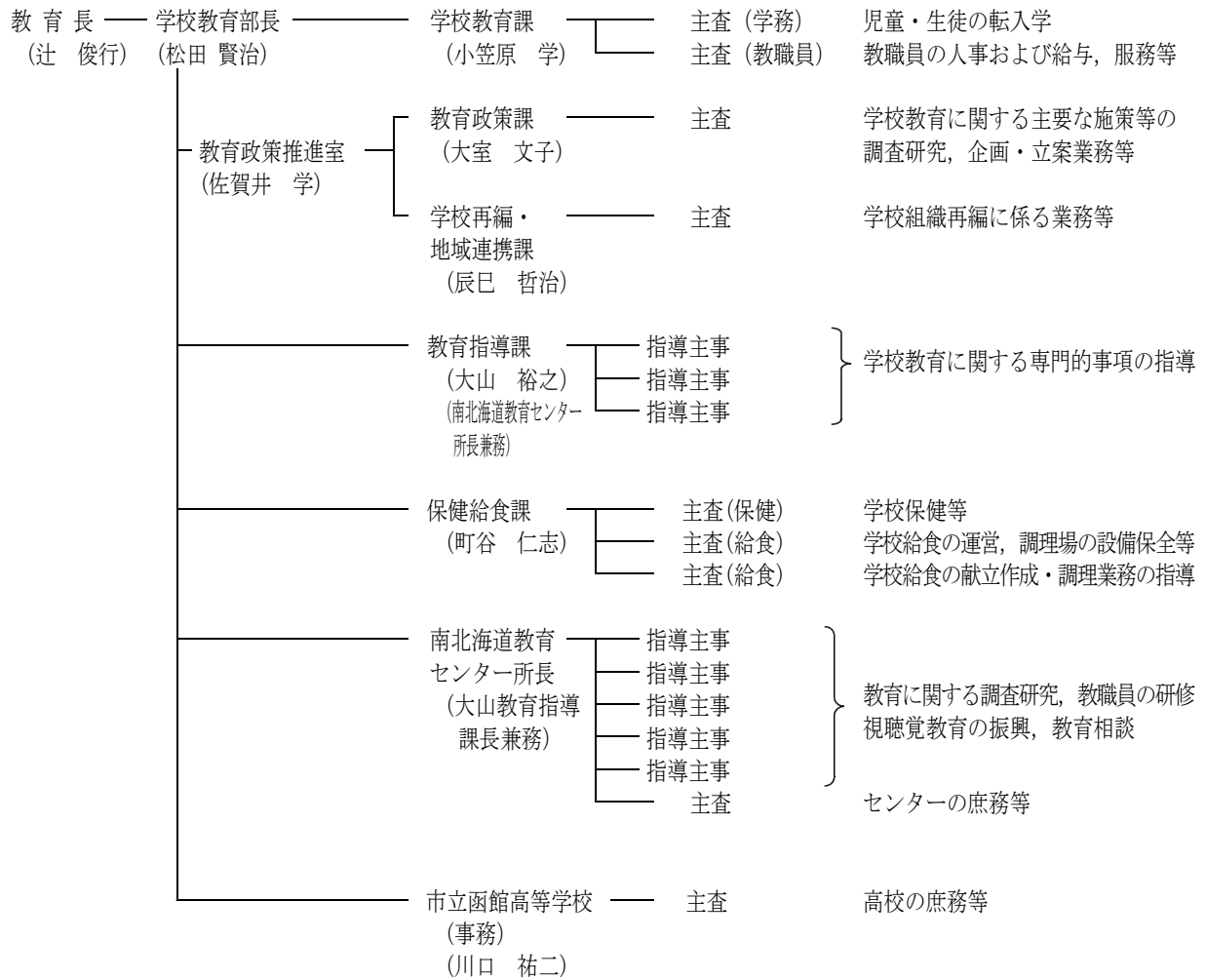
氏名	役職等
石王 紀仁	石王紀仁建築設計事務所代表
上平 幸好	函館短期大学名誉教授
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
齊藤 サダ	北栄測量設計(株)会長
中村 和之	函館工業高等専門学校教授
練谷 喜文	北海道函館稜北高等学校教諭
松崎 水穂	元上ノ国町教育委員会文化財課長
村田 敦郎	北海道教育大学函館校准教授
柳 英克	公立はこだて未来大学教授

3 行政組織（平成31年4月1日現在）

(1) 生涯学習部



(2) 学校教育部



4 組織の編成

(1) 教育委員会関係職員総数

(令和元年6月1日現在)

区 分	職 員 数
事務局関係職員数	127人
学校関係職員数	1,424人 (うち市費職員221人)
合 計	1,551人

※ 学校関係職員数のうち市費職員には嘱託職員を含む

(2) 事務局関係職員数

※ 派遣主事除く、社会教育主事は再掲 (令和元年6月1日現在)

部 名	区 分 課 名	一般行政職			栄 養 士	指 導 主 事	社 会 教 育 主 事	計
		一 般 事 務	一 般 技 術	学 芸 員				
生 涯 学 習 部	管理課	16						16
	施設課	9	2					11
	戸井教育事務所	3						3
	恵山教育事務所	4						4
	椴法華教育事務所	2	1					3
	南茅部教育事務所	2	2					4
	生涯学習文化課	11					※1	11
	スポーツ振興課	11	1					12
	文化財課	6		4				10
	博物館	7		4				11
	計	71	6	8				85
学 校 教 育 部	学校教育課	12						12
	教育政策課	4						4
	学校再編・地域連携課	3						3
	教育指導課	1				3		4
	保健給食課	7	1		3			11
	南北海道教育センター	3				5		8
	計	30	1		3	8	※1	42
合 計	101	7	8	3	8	※1	127	

※社会教育主事1名は生涯学習部一般事務内に含まれる。

(3) 学校関係職員数内訳

※ 嘱託職員を含む

(令和元年6月1日現在)

区 分	教 育 職 員						そ の 他 の 職 員						合計
	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	小計	事務	実習 助手	調理	用務	学校 司書	小計	
小学校	42	43	579	43	14	721	道46 市25		14	61		146	867
中学校	21	21	345	20	8	415	道21 市11		3	28	8	71	486
高等学校	1	1	57	1		60	市5	1				6	66
幼稚園	1	1	2			4				1		1	5
計	65	66	983	64	22	1,200	108	1	17	90	8	224	1,424

5 教育振興基本計画

(1) 策定の趣旨

急速な人口減少や少子・高齢化，高度情報化の進展など，社会情勢が大きく変化するなかで，市民一人ひとりが主体的に社会に関わり，活力ある地域社会を創り出していくことが求められている。

こうしたことから，郷土の歴史や文化を誇りに思い，地域の発展を支える人材の育成を目的とする函館市教育振興基本計画を策定し，教育施策の総合的・計画的な推進を図ることとした。

(2) 計画の位置付け

本計画は，教育基本法第 17 条第 2 項に規定される「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として位置付ける。

(3) 施策の対象範囲

- ・本計画における施策の範囲は，教育委員会が所管する教育施策を対象とする。
- ・他の部局が所管する施策で本計画に関係するものについては，関係部局と連携して推進する。

(4) 計画の期間

本計画の期間は，平成 30 年度（2018 年度）から令和 9 年度（2027 年度）までとする。

(5) 計画の全体像

函館の教育がめざす人間像

- 自立** 生涯を通じて学び続け，主体的に判断して変化する社会を生きる人
- 共生** 寛容さと思いやりの心をもって，多様な人々と絆を結び共に支え合う人
- 創造** 世界に目を向け，新たな価値を創り，まちの魅力を高める人

基本目標

基本目標 1 変化する社会を生きる力の育成

子ども一人ひとりが、変化する社会のなかで主体的に生き抜くことができるよう、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことをめざします。

基本目標 2 地域とともにある学校づくりの推進

家庭や地域と一体となって子どもを育むとともに、教職員一人ひとりが個性・能力を十分に発揮できる学校づくりを推進します。

基本目標 3 函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成

子ども一人ひとりが、函館の魅力を感じ、関わりを深め、愛着や誇りをもつとともに、未来に向かって新たな価値を生み出す資質・能力を育むことをめざします。

基本目標 4 生きがいを創り出す生涯学習の推進

市民一人ひとりが生涯を通じて学び続け、その成果を生かし、充実した生活を送ることができる生涯学習の推進をめざします。

基本目標 5 心の豊かさを育む文化芸術の振興

文化芸術や文化遺産に触れる機会を充実させ、市民一人ひとりが創造性を高め、感性を豊かにすることができる文化芸術の振興をめざします。

基本目標 6 健やかな心身を育むスポーツの振興

市民一人ひとりが健康づくりとスポーツを通じて、体と心を鍛えることができるスポーツの振興をめざします。

(6) 計画の推進

ア 計画の推進体制

本計画は、教育委員会が関係部局と連携して推進することはもとより、家庭、地域、学校、各種団体、企業、高等教育機関など多様な主体が連携・協働し、推進することとする。また、学校においては、本計画に沿って学校運営に関する基本的な方針を策定して教育活動を進めることとする。

イ 計画の推進状況の検証等

計画の推進状況を適宜検証して公表するとともに、計画の推進状況や社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを検討する。

○ 施策と主な取組



6 教育財政

(1) 令和元（2019）年度一般会計予算（6月補正後予算）

歳 入

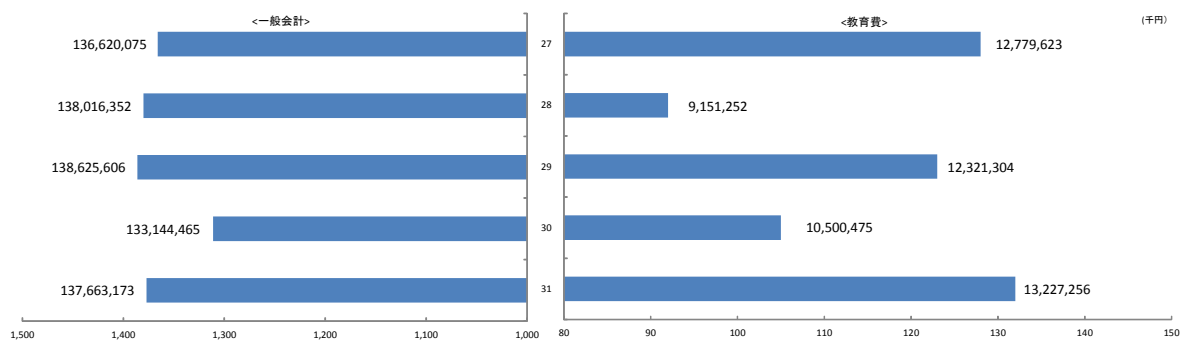
款	予 算 額		構成比
	千円	%	
1 市 税	31,883,000	23.2	
2 地 方 譲 与 税	729,875	0.5	
3 利 子 割 交 付 金	51,000	0.0	
4 配 当 割 交 付 金	57,000	0.0	
5 株式等譲渡所得割交付金	69,000	0.1	
6 地方消費税交付金	5,507,500	4.0	
7 ゴルフ場利用税交付金	14,000	0.0	
8 自動車取得税交付金	72,900	0.1	
9 環境性能割交付金	42,000	0.0	
10 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,800	0.0	
11 地方特例交付金	167,000	0.1	
12 地 方 交 付 税	32,479,000	23.6	
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	41,200	0.0	
14 分 担 金 及 び 負 担 金	337,471	0.2	
15 使 用 料 及 び 手 数 料	3,392,561	2.5	
16 国 庫 支 出 金	29,075,692	21.1	
17 道 支 出 金	8,059,781	5.9	
18 財 産 収 入	987,941	0.7	
19 寄 付 金	495,033	0.4	
20 繰 入 金	823,878	0.6	
21 繰 越 金	400,000	0.3	
22 諸 収 入	10,512,741	7.6	
23 市 債	12,462,800	9.1	
計	137,663,173	100	

歳 出

款	予 算 額		構成比
	千円	%	
1 議 会 費	374,513	0.3	
2 総 務 費	5,991,695	4.4	
3 民 生 費	52,336,500	38.0	
4 衛 生 費	9,012,858	6.5	
5 労 働 費	116,781	0.1	
6 農 林 水 産 費	895,294	0.6	
7 商 工 費	11,571,360	8.4	
8 土 木 費	10,871,467	7.9	
9 消 防 費	686,764	0.5	
10 教 育 費	(13,227,256) 10,532,670	(9.6) 7.7	
11 公 債 費	12,312,217	8.9	
12 諸 支 出 金	5,450,507	4.0	
13 職 員 費	16,905,249	12.3	
14 予 備 費	605,298	0.4	
計	137,663,173	100	

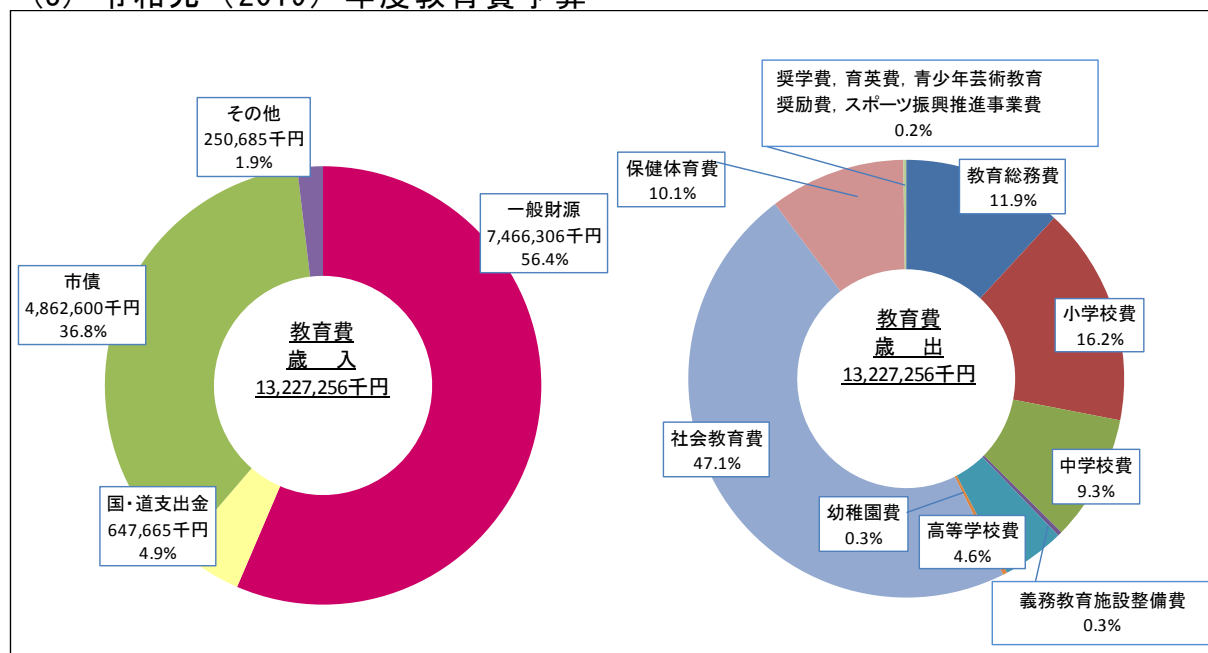
※（ ）は職員費を含んだ場合の額

(2) 教育費の推移



年 度	2 7	2 8	2 9	3 0	元
人 口 A	28. 3. 31時点 266, 773人	29. 3. 31時点 263, 706人	30. 3. 31時点 260, 174人	31. 3. 31時点 256, 772人	元. 6. 30時点 256, 651人
一 般 会 計 B	千円 136, 620, 075	千円 138, 016, 352	千円 138, 625, 606	千円 131, 144, 465	千円 137, 663, 173
教 育 費 C ※ 職員費含む	千円 12, 779, 623	千円 9, 151, 252	千円 12, 321, 304	千円 10, 500, 475	千円 13, 227, 256
市民一人当たりの経費 B/A	円 512, 121	円 523, 372	円 532, 819	円 510, 743	円 536, 383
市民一人当たりの教育費 C/A	円 47, 904	円 34, 702	円 47, 358	円 40, 894	円 51, 538
構 成 比 C/B	% 9. 4	% 6. 6	% 8. 9	% 8. 0	% 9. 6
備 考	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 見 込	予 算 額 (6月補正後)

(3) 令和元（2019）年度教育費予算



分担金及び負担金	6,389千円
使用料及び手数料	194,067千円
財産収入	208千円
寄附金	35,140千円
繰入金	10,002千円
諸収入	4,879千円

項目	予算額	内 訳					
		職員費	構成比	経常費	構成比	事業費	構成比
	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 教育総務費	1,571,634	828,253	52.7	457,844	29.1	285,537	18.2
2 小学校費	2,140,237	667,510	31.2	1,416,125	66.2	56,602	2.6
3 中学校費	1,232,054	220,694	17.9	954,822	77.5	56,538	4.6
4 義務教育施設整備費 (小学校分) (中学校分)	43,508 (11,515) (31,993)	—	—	—	—	43,508 (11,515) (31,993)	100.0
5 高等学校費	614,376	510,588	83.1	89,648	14.6	14,140	2.3
6 幼稚園費	40,475	34,842	86.1	5,633	13.9	—	—
7 社会教育費	6,224,040	249,267	4.0	1,113,796	17.9	4,860,977	78.1
8 保健体育費	1,332,961	183,432	13.8	507,920	38.1	641,609	48.1
9 奨学費	17,392	—	—	5,592	32.2	11,800	67.8
10 育英費	1,920	—	—	—	—	1,920	100.0
11 青少年芸術教育奨励費	3,348	—	—	50	1.5	3,298	98.5
12 スポーツ振興推進事業費	5,311	—	—	561	10.6	4,750	89.4
計	13,227,256	2,694,586	20.4	4,551,991	34.4	5,980,679	45.2

(4) 令和元（2019）年度教育費予算の主な内容（単位：千円）

生涯学習の推進

亀田交流プラザ整備事業費	亀田地区における5つの公共施設、「亀田福祉センター」「亀田青少年会館」「亀田公民館」「美原老人福祉センター」「美原児童館」の統合施設整備に向けた建設工事ほか	2,203,069
市民会館耐震等改修事業費	耐震改修および老朽化した設備等の改修工事	2,062,895
生涯学習推進費	高齢者対象大学を行う市民交流施設 「ふらっとD a i m o n」の開設等	7,611

文化芸術の振興・文化財の保存整備

文化芸術アウトリーチ事業費	小・中学校に芸術家等を派遣し、ワークショップ等を実施	3,000
特別史跡五稜郭跡環境整備事業費	石垣保存修理工事ほか	31,400
重要文化財旧函館区公会堂保存修理事業費	保存修理工事ほか	306,453
史跡垣ノ島遺跡整備事業費	史跡整備に向けた整備工事ほか	178,400

スポーツ・レクリエーションの振興

函館マラソン大会開催負担金	フルマラソンおよびハーフマラソンを同時開催 参加定員 各4,000人	36,000
千代台公園野球場改修事業費	老朽化に伴う大規模改修工事	521,600
スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	アリーナ・フットボールパーク等への大会・合宿誘致活動	1,389
スポーツ合宿誘致補助金	市内でスポーツ合宿をする実業団等に対する補助	4,000

義務教育の充実

校務支援システム運用経費	教員の業務改善および教育の質の向上のため、 支援システムを導入	17,447
コミュニティ・スクール推進事業費	保護者および地域住民等が学校運営に参画する 「学校運営協議会」の設置	2,142
学力検査等関係経費	小学校4年生を対象とした標準学力検査の実施	1,422
アフタースクール運営交付金	小学校を会場として地域団体が主体的に行う放課後等の 学習活動に対する支援	2,000
学校司書関係経費	既存4校に加え新たに中学校4校を拠点に配置	578
学校開放事業経費（図書館開放分）	既存4校に加え新たに中学校4校で 子どもや地域住民へ開放	1,000
学力向上非常勤講師配置事業費	小学校算数科指導および中学校免許外教科担任を 解消するため、非常勤講師を配置	10,075
部活動地域支援者活用事業費	専門的な技術指導が出来る地域支援者の活用	3,273
スクールソーシャルワーカー関係経費	スクールソーシャルワーカー2名の配置	1,400
いじめ・不登校等対策推進費	こころの相談員の配置、いじめ防止対策審議会の設置	4,610
SNS教育相談事業費	市立中学校生徒を対象とした試行的なLINE相談窓口の開設	400
市立函館高等学校海外留学事業関係経費	2年生10名をオーストラリアへ3か月派遣	14,140
校舎耐震等改修事業費	校舎耐震等改修工事に係る実施設計（中部小学校）	9,944
統合校新築事業費	尾札部・臼尻中学校統合校校舎等新築に係る基本設計ほか	30,422
統合校増築事業費	戸井西小・日新小・潮光中・日新中学校統合校 校舎（現潮光中学校）の増築に係る地質調査	3,142
学校給食設備改善事業費	給食調理場の衛生設備および給食設備の設置・更新	27,898

特別支援教育の充実

特別支援教育支援員関係経費

小・中学校への特別支援教育支援員の配置,
講師謝礼金1時間あたりの単価を800円→1,000円に増額 73,815

特別支援教育推進事業費

教育支援委員会の開催, 巡回指導員の配置等 4,767

Ⅱ 生涯学習

1 社会教育事業の概要

- (1) 令和元年度事業の紹介 17
- (2) 平成30年度事業の実績 32

2 社会教育・スポーツ施設の概要

- (1) 社会教育施設の概要一覧 48
 - 函館市公民館・亀田公民館 50
 - 函館市戸井西部総合センター 51
 - 函館市戸井生涯学習センター 51
 - 函館市戸井総合学習センター 52
 - 函館市榎法華総合センター 53
 - 函館市南茅部総合センター 54
 - 函館市青年センター 55
 - 函館市青少年研修センター(ふるる函館) 56
 - 函館市亀田青少年会館 57
 - 函館市中央図書館 58
 - 市立函館博物館 59
 - 函館市重要文化財旧函館区公会堂 60
 - 函館市北洋資料館 61
 - 函館市文学館 62
 - 函館市北方民族資料館 63
 - 箱館奉行所 64
 - 函館市縄文文化交流センター 65
 - 函館市民会館 66
 - 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭) 67

(2) スポーツ施設の概要一覧	68
千代台公園陸上競技場	70
千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)	71
西桔梗野球場	72
函館市戸井運動広場	72
函館市恵山運動広場	73
函館市南茅部運動広場	73
函館フットボールパーク	74
根崎公園ラグビー場	75
千代台公園庭球場	75
函館市南茅部市民庭球場	76
函館アリーナ	77
函館市恵山総合体育館	78
函館市南茅部スポーツセンター	78
函館市民プール	79
函館市南茅部プール	80
千代台公園弓道場	81
根崎公園アーチェリー場	81
函館市入舟町前浜海水浴場	82
函館市臼尻スキー場	83
函館市民スケート場	83
(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況	84

3 学校開放事業の概要

(1) スポーツ開放事業	85
(2) 文化開放事業	86
(3) 学校図書館地域開放事業	87
(4) 学校開放状況の推移	88

1 社会教育事業の概要

(1) 令和元年度事業の紹介

① 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
HAKODATE まなびっと広場	市民の多様な学習活動を単位認定という形で応援することで、より一層の生涯学習の推進を図る。	小学生～一般	通年
学習情報・指導者情報等の提供	リーダーバンクの設置、学習情報・社会教育関係活動情報の提供。 (プチまなびっとの発行、インターネットホームページにより情報提供)	一般市民	通年
成人祭	成人としての自覚と認識の高揚を図るとともに、新成人を祝福、激励する。	新成人	1月13日
ウィークエンド・サークル活動推進事業	特別支援学級に在籍する児童生徒(市内在住)に体験活動の場と機会を提供し、ボランティアの大学生・高校生等とのふれあいの中で、学校外活動を推進する。	小・中学生	10月～1月
家庭教育支援事業	子育て中の親や家庭教育に携わる人を対象に、セミナーを開催し、家庭の教育力の向上を図る。	家庭教育関係者一般	通年
社会学級	地域住民が主体的に一般的教養を学習する成人教育の場として、市内小・中学校に開設。	一般成人	通年
社会教育関係団体の育成	社会教育関係事業・活動に対する後援、教育委員会賞の交付。	社会教育関係団体等	通年
青少年芸術教育奨励事業	青少年の文化・芸術活動の一層の振興を図るため、文学・美術・書・音楽の4部門から作品を募集し、函館市青少年芸術教育奨励賞を授与するとともに、各部門金賞受賞者を視察研修に派遣する。	市内在住、もしくは市内に所在する学校へ通学する小学生～高校生	7月～11月
函館市文化賞表彰	函館市の文化向上に功績のあった個人・団体を表彰する。	一般市民	7月～11月
学校開放事業(文化開放)	小・中学校(12校)の特別教室等を開放し、市民にサークル活動の場を提供する。	一般市民	通年
文化芸術活動団体の育成	文化芸術関係事業・活動に対する後援および教育委員会賞の交付を行う。	一般市民	通年
文化芸術アウトリーチ事業	子どもたちが文化芸術に触れる機会を拡充し、文化芸術活動の楽しさや素晴らしさを体感してもらうため、学校へ活動者等を派遣し、豊かな創造力の育成を図る。	市内小中学生および高校生	6月～2月
函館市高齢者対象大学	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	満60歳以上の市民	高齢者大学 大門校 4月～3月 亀田老人大学 7月～11月 高齢者大学 湯川校 7月～11月

② 公民館・亀田公民館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
公民館講座	英会話講座	18歳以上	4月～6月
	初心者のためのクラシックギター基礎講座	18歳以上	4月～7月
	大人の習字教室	18歳以上	4月～5月
	子ども絵てがみ教室	小学生	5月～11月
	スタンドグラス講座	18歳以上	5月
	コーラス入門講座	18歳以上	6月～8月
	バレエでシェイプアップ体験講座	18歳以上	6月
	子ども絵画教室	小学生	6月～8月
	ゆかた着付け講習会	18歳以上	7月
	初歩の陶芸教室	18歳以上	7月
	初心者のためのフラメンコ講座	18歳以上	7月～8月
	土鈴づくり体験	小学生	7月
	トールペイント講座	親子	8月
	ストリートダンス講座	小学生	9月～10月
	親子陶芸教室	親子	9月～10月
	きもの着付け講習会	18歳以上	11月
書き初め会	小学生	1月	
ミュージカル講座	18歳以上	未定	

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
亀田公民館講座	パステルアート講座 初歩の絵手紙教室 初歩のきもの着付け教室 お花のハーバリウム 小筆で書く年賀状 ハーバリウムとボタニカルキャンドル 手打ち蕎麦体験講座 書き初め会 親子で楽しむバレンタインスイーツ	18歳以上 18歳以上 18歳以上 小学生 18歳以上 18歳以上 18歳以上 小学生 親子	4月～7月 4月～3月 5月～10月 8月 10月 11月 11月 1月 2月
函館市高齢者大学 青柳校	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	満60歳以上の市民	5月～11月
生涯学習リーダーバンク 登録事業	リーダーバンク登録の窓口となり、その活用のためのPRを実施する。	一般市民	通年
異世代音楽交流会	子どもたちが異世代の人達との交流を通じて、対人関係や社会規範を学ぶとともに、公民館を利用する人々の新たな学びやつながりを生み出す出会いの場とすることを目的とする。	一般市民	8月
リーダーバンク登録者による 体験講座	リーダーバンク登録者による各種体験講座を実施する。	一般市民	9月～3月
丘の上の芸術祭	主に地域で活動する文化芸術団体等が行う魅力あるパフォーマンスの披露や、創作作品の展示会の実施により、文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、地域全体へ函館市公民館をアピールすることを目指す。	一般市民	9月
公民館講座受講生作品展、 亀田公民館講座受講生作品展	育成・奨励のための作品展を実施する。	一般市民	10月、1月
異世代フラダンス交流会	異世代交流を目的としたワークショップと交流会を実施する。	小学生以上	12月
公民館コンサート	公民館グループや市内文化団体との交流コンサートを実施する。	一般市民	未定
ざいだん地域講習会 「普通救命講習」	緊急時に対応するため心肺蘇生法や AED の使用方法について、講習会を実施する。	一般市民	未定

③ 青少年研修センター(ふるる函館)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
宿泊型プログラム	函館山を知ろう 食育キャンプ① ふるる夏キャンプ ネイチャーキャンプ 食育キャンプ② 避難所生活体験 スポーツキャンプ クリスマスキャンプ ふるる冬キャンプ ボランティアリーダー塾	小中学生および保護者	5月18～19日 6月22～23日 7月20～21日 8月24～25日 9月14～15日 10月5～6日 11月16～17日 12月21～22日 1月25～26日 2月15～16日
日帰り型プログラム	ものづくりチャレンジ① ふるる探検隊 夏休み・ふるる函館寺子屋教室 ものづくりチャレンジ② ふるる創作プログラム体験 ふるるニューススポーツ体験 ふるる音楽会 ものづくりチャレンジ③ 冬休み・ふるる函館寺子屋教室 ふるる祭	小中学生および保護者	5月11日 6月8日 7月25～28日 8月10日 9月22日 10月26日 11月24日 12月7日 1月8～11日 3月8日

④ 青年センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	野菜ソムリエの料理教室 ラーメン職人直伝！らーめん道 新そば入荷しました！手打ちそば教室 男性も女性のボディメイク！新感覚エクササイズ バレトン ひめトレ&やさしいヨガ 心身からリラックス～ヨガ教室 朝活！ランニング 夜活！体幹トレーニング 楽しく陶芸♪好きな器を作ろう！ 自由研究先取り！陶芸1日体験教室 陶器の風鈴を作ろう！ 科学で楽しく自由研究 キッチンサイエンス おうちで簡単イタリアン♪ 有名店の料理人が教える！おうちで簡単本格中華 体調改善！歪みを整える背骨コンディショニング 痩せやすい、老けにくいカラダをつくる！ バランスコーディネーション	一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民(女性) 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 小学生と保護者 小学生と保護者 小学生と保護者 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民	4月～2月 5月、6月 10月 通年 通年 通年 4月～9月 通年 6月、10月 7月、12月 8月 7月、12月 8月 5月～3月 7月～3月 8月 9月
若者の居場所づくりに関する事業	勉強スペース応援 DAY プログラミング教室	高校生 小中学生	週1回程度 6, 7, 10, 1月
その他	利用者親睦会 七夕イベント 2019 青年センターフェスティバル はこだてカルチャーナイトへの参加 青年戦隊クリーンレンジャー 第15回地球まつり 「チームもみの木」及び「クリスマスイベント」 新春！夢の初笑い寄席 青年団体交流スポーツ大会 スキルアップセミナー～できる人の勉強術～	施設利用者 幼児、小学生 一般市民 一般市民 青年団体 一般市民 一般市民 一般市民 青年団体 高校生以上	7月 7月 9月8日 9月下旬～ 10月上旬 9月29日 10月27日 12月15日 1月13日 3月7日 3月29日

⑤ 亀田青少年会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座の実施に関すること	料理教室（サンドウィッチ弁当） 花壇づくり キャンドルナイト 生物教室（亀田川のいきものをさがそう） 手芸教室 クリスマスケーキづくり 冬休みものづくり教室① 冬休みものづくり教室② イカ墨染色教室	主に小学生・保護者 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者	4月14日 5月中旬から 6月22日 8月3日 11月上旬 12月下旬 1月上旬 1月上旬 1月上旬
指導者の養成および団体活動の育成に関すること	青少年活動団体との共催事業(卓球・空手・英語)	主に小学生・保護者	通年
職業、交友、健康その他の生活相談に関すること	子ども会議 子どもの広場	主に小学生 未就学児童・保護者	3月下旬 年12回
余暇活動に必要な施設、設備の提供および指導に関すること	じゃんけん大会 〇×クイズ大会 逆じゃんけん大会 お誕生会 コミュニティ・スペース 七夕まつり 子ども朝活 ラジオ体操会 センター祭り もちつき大会	全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 特別支援学級在籍の児童生徒 全利用者・保護者 主に小学生 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 全利用者・保護者	毎月第1土曜日 毎月第2土曜日 毎月第3土曜日 毎月第4土曜日 年3回 7月7日 7月26日～31日 7月25日～31日 10月6日 12月上旬
その他	利用団体懇談会	団体利用者	3月下旬

⑥ 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館マラソン&コミュニティランニング	日本陸上競技連盟公認コースによるマラソン大会および0.4～5kmのコース設定による市民健康マラソン大会を行う。	一般市民	マラソン 7月 コミュニティ10月
学校開放事業	学校の体育施設を地域のグループなど市民の自主的スポーツ活動や子どもの遊び場に開放する。 (1) 校庭開放 14校 (2) スポーツ開放 50校 (3) 遊泳開放 20校	一般市民	通年 (遊泳開放は夏休み期間の土日)
海水浴場設置	市内に海水浴場を設置し、夏期のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。(入舟町前浜)	一般市民	7月～8月
スポーツ関係団体の育成	スポーツ関係事業・活動に対する後援・奨励。	一般市民	通年

⑦ 博物館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
博物館講座「自然」(単講座)	夏休み自由研究「池のなかを見てみよう」 * 函館公園内の池の水抜きに合わせて、池に住む生き物を調べる。	小学生と保護者	7月
博物館講座「手工芸」(単講座)	夏休み自由研究「日本画でうちわづくり」 * 日本画家安積徹氏の指導のもと、日本画を描いて、うちわを作る。	小学4年生以上と保護者	7月
博物館講座「体験」(単講座)	函館公園活用講座 * 動物はく製、函館公園動物園を見学し、クラフト体験に挑戦する。	小学生	7月
博物館講座「歴史」(単講座)	夏休み自由研究「博物館子供探検隊」 * 収蔵庫や作業スペースなど、博物館の裏側を探検する。	小学生と保護者	7月
博物館講座「考古」(単講座)	夏休み自由研究「黒曜石で矢じりを作ろう」 * 旧石器人・縄文人と同じ方法で石器を作り、当時の生活用具加工術や狩猟について学ぶ。	小学4年～6年生と保護者	8月
博物館講座「自然」(単講座)	夏休み自由研究「大森浜の貝で標本箱を作ろう」 * 大森浜で貝殻を拾って分類し、標本箱を作る。	小学生と保護者	8月
博物館講座(単講座)	ソノシートで日本昔話を聞こう！ * 懐かしのソノシートを古いレコードプレーヤーを使って昔話を聞く。	小学生とその保護者	11月
博物館講座(単講座)	忘れない！函館大火 * 函館大火の映像や資料など、展示していない資料を見せてもらおう。	小学生・一般市民	3月
博物館講座「旧函館博物館一号公開」	「旧函館博物館一号公開」 * 1879年5月25日開場の旧函館博物館一号を公開する。	一般市民	5月, 8月
企画展	「箱館戦争終結 150」 函館の歴史に大きな影響を与えた箱館戦争を、様々な資料で紹介する。	一般市民	6月～9月
展示解説セミナー	企画展「箱館戦争終結 150」 * 展示資料を見ながら解説する。	一般市民	6月, 7月, 8月
おもてなし講座	行ってみよう！博物館「博見学のススメ」 * 展示内容に応じた展示解説する。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館「博見学のススメ」バックヤード・ツアー * 普段入ることのできない収蔵庫、作業スペースなど、博物館の裏側をご案内する。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館「博見学のススメ」見せます！お宝公開 * 普段は展示していない資料で、保存・管理上問題がなければご要望に応じて資料を見せる。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館「博見学のススメ」明治の博物館見学 * 博物館本館の側にある旧函館博物館一号の中を案内する。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
おもてなし講座	行ってみよう！博物館(小学生版)「見て！聞いて！博物館」 * 展示内容に応じた展示解説をする。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館(小学生版)「博物館を探検！」バックヤード・ツアー * 普段入ることのできない収蔵庫、作業スペースなど、博物館の裏側を案内する。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館(小学生版)「博見学のススメ」明治の博物館見学 * 博物館本館の側にある旧函館博物館一号の中を案内する。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう！博物館(小学生版)「大火から立ち上がった函館のまち」 * 函館大火の映像や資料など、展示していない資料を見せる。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
古文書調査	古文書等の整理・解説を行う。	一般市民	4月～10月
館報「サラニップ」の発行	博物館の業務、事業、資料関係に関係機関に周知する。	関係機関	3月
「研究紀要」の発行	博物館活動の一環である学芸員などの研究成果を発表する。	関係機関	3月

⑧市立函館博物館郷土資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
朗読会	函館にまつわる自作のエッセイなどを朗読する。	一般市民	4月～3月
講談会	函館の創作講談を中心に、市民や観光者を対象とした講談会を開催する。	一般市民	4月～3月
HIF留学生文化体験	日本の伝統工芸を体験する。	留学生	7月
体験講座	日本の伝統工芸を体験する。 * 「水引で本のしおりを作る」 * 「水引で箸置きを作る」 * 「お雛様」	小学4年以上、 一般市民	8月 1月 2月
友禅体験講座	日本の伝統工芸を体験する。 「友禅染体験～ハンカチに色を押す」	小学4年以上、 一般市民	5月、1月
講座	郷土資料館歴史講座	一般市民	11月
開店記念	金物洋物店開店記念セール	一般市民	11月、12月
展示	「切り絵」を展示します	一般市民	2月

⑨ 中央図書館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
絵本等の読み聞かせ	絵本の読み聞かせと紙芝居を実施する。	幼児・児童	通年
えほんふれあい事業	総合保健センターが行っている乳幼児10か月児健診を受診する親子を対象に「おすすめ絵本」冊子を配布し、ボランティアによる読み聞かせを行う。	乳幼児・父母	通年
子どもの読書週間イベント	親子で図書館に来ていただき、絵本の読み聞かせと工作を行う等、図書館と本を楽しんでもらうイベントを実施する。	親子	4月～5月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
郷土の歴史講座	郷土史に関する各種テーマについての講義を行う。	一般市民	随時
古文書解説講座	筆写本等の古文書資料の解説の仕方を学習するとともに、図書館が所蔵する郷土資料に親しむ機会を提供する。	一般市民	5月～9月
市民文芸作品の募集	小説・詩・俳句・短歌など文芸8部門の作品募集と作品集の刊行。	一般市民	7月～9月募集
七夕イベント「お話と工作会」	七夕絵本の読み聞かせと笹飾りを作る。	児童・生徒	6月
こどもレファレンス講座	夏休みを前に、小学生たちに図書館を使って調べものの仕方を体験してもらう。	児童・生徒	7月
こども1日図書館員	小学5,6年生を対象に図書館の仕事体験してもらい、図書館の仕組みや本の調べ方などを学ぶ。	児童	7月
函館市図書館を使った調べるコンクール作品募集	図書館を使って、児童が調べ学習を行い、その成果を集める。	児童・生徒	8月～9月募集
小学生！夏休み工作会	図書館の工作の本を使って工作を作る。	児童	8月
夏休みこわ～いお話し会	夏休み期間中に普段読み聞かせに参加できない小学生を対象に読み聞かせを行い、図書館を楽しんでもらう。	児童	8月
初心者のための読み聞かせ講座	読み聞かせの基礎や絵本の選び方を学ぶ。	一般市民	9月
秋の読書週間イベント	講演会をはじめ、図書館スタッフによるおすすめ図書紹介や大人向けの図書館ツアーを実施する。	一般市民	10月～11月
図書館deクリスマス	クリスマスに合わせた上映会や読み聞かせ会、クリスマス飾りの製作体験など親子で楽しめるイベントを実施する。	児童・父母・一般市民	12月
新春企画「お楽しみ袋貸出」	テーマに合わせて図書館スタッフが事前に選書した本を、中が見えないように各袋3冊入れて貸し出す。大人向けと子ども向け、テーマを記入した25袋を用意。	一般市民・児童・生徒	1月
図書館ボランティア養成講座	図書館ボランティアを目指す市民がボランティアの基礎、役割、実技を学ぶ。	一般市民	2月
ひな祭りイベント「お話と工作会」	絵本の読み聞かせを行い、工作としてひな飾りを作る。	親子	3月

⑩ 縄文文化交流センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
縄文体験学習	縄文時代の人々のくらしを楽しみながら体験することにより、縄文文化を通じた交流活動の促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニチュア土器づくり ・組紐アクセサリーづくり ・カックウの顔づくり ・拓本とり ・土笛づくり ・おもしろ土製品づくり ・縄文ペンダントづくり ・土器パズル ・縄文編み 	一般市民	通年
縄文体験定期講座	縄文染め(春・秋) ～自然の植物で布を染めよう～	一般市民	5月12日, 11月3日
	自然観察会(春・秋)	一般市民	5月26日, 10月20日
	鹿角釣り針つくりと釣り体験	小学生以上	6月2日, 6月9日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
縄文体験定期講座	縄文かごづくり体験	小学生以上	7月7日
	竪穴住居のジオラマをつくろう	小学生と保護者	8月4日
	石器づくり	一般市民	9月29日
	土器づくりと野焼き体験	一般市民	9月8日, 10月13日
	令和元年度遺跡調査報告会 市内で今年度発掘調査されて遺跡について報告会を行う	一般市民	2月9日
	GWしおりづくり	一般市民	5月3日～ 6日
期間限定講座・イベント	夏休み限定講座(動物型土製品をつくってみよう)	小学生以上	8月11日 8月12日
	冬休み限定講座(鹿角アクセサリづくり)	小学生以上	12月21日 12月22日
	春休みメニュー(クイズラリー等)	小学生以上	3月下旬
企画展	目指せ！世界文化遺産登録「北海道・北東北の縄文遺跡群」	一般市民	11月下旬～ 12月下旬

⑪ 市民会館 ～平成29年11月から耐震等改修工事のため休館中～

⑫ 芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
鑑賞型事業	芸術ホール キッズフェスティバル2019 ♪ふらっとコンサート (4回) リサイタル・シリーズ 加羽沢美濃&奥村愛&山田姉妹ジョイント・リサイタル 小山実稚恵ピアノ・リサイタル ざいだん出前コンサート ♪ふらっとコンサート SPECIAL 2020 スプリング・コンサート	一般市民	5月3日 7月～12月 8月30日 11月21日 8月31日 1月25日 2月
	参加創造型事業 函館市民文化祭 展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」 「ぶんだん秋の庵」 舞台部門「華麗錦秋の夕べ」 展示部門「函館アートフェスティバル2019」 舞台部門 (市民参加型)	一般市民	10月31日 ～11月4日 11月3日 11月14日 ～17日 11月17日
育成学習型事業	函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ第20回定期演奏会 バックステージツアー キッズフェスティバル編 バックステージツアー 一般編 ざいだん「邦楽こども教室」 演劇ワークショップ	小学生～高校生 一般市民 小学生～一般市民 一般市民 小学生 一般市民	4月～3月 9月29日 5月3日 未定 6月～2月 未定
奨励型事業	市民美術展「はこだて・冬・アート展」 はこだて・冬・アート特別展 市民美術展 第20回「はこだて・冬・アート展」 平成31(2019)年度函館新人演奏会～音楽の新しい風～ HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL ピアノコンサート・フォー・ユー	一般市民	6月23日～30日 1月26日 ～2月2日 7月14日 12月22日 1月13日

⑬ 北洋資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
貝殻でつくろう！	海岸に打ち上げられる様々な形や色の貝殻を使い、函館の海を感じながら、工作体験を楽しんでもらう。「貝殻で作る」という体験を通じて、想像力を駆使しながら一つの物を作り上げる達成感と楽しさを感じてもらうことを目的に開催する。	幼児～	5月3日
第25回函館の「海と港」児童絵画展	市内の小学生から「海と港」に係わる絵画を募集し、展示することにより、多くの市民、特に次世代を担う子どもたちに「海と港」の重要性を認識してもらうことを目的に開催する。	市内の小学校に在学する児童	7月27日～31日
冬休み特別企画「クイズで知ろう☆北洋漁業」	市内小学校の冬休み期間中、北洋資料館館内において参加型のクイズラリーを実施する。次世代を担う子どもたちに本企画を通じて北洋漁業を楽しく理解してもらうことを目的に開催する。	小学生	1月13日

⑭ 北方民族資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
体験学習講座 ムックリ製作・演奏体験	アイヌ民族の伝統的な楽器である、ムックリ(口琴)の製作・演奏体験をとおして、アイヌ文化に対する理解を深める。	一般市民	4月～3月
体験学習講座 北方民族文様の切り紙細工体験	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族の伝統的な文様を、手軽に切り紙細工で再現することによって北方民族の文化に触れる。	一般市民	4月～3月
バックヤードツアー	JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」ツアー参加者を対象に、当館の学芸員や説明員が館内の説明を行う。	ツアー参加者	4月～11月
夏休み自由研究 「親子で、北方民族文様の切り紙細工をしよう」	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族に伝わる美しい文様を、切り紙細工で再現し、親子で北方民族の文化を体験する。	小学生と保護者	7月28日
アイヌ文様 木彫り教室	アイヌ民族の伝統工芸である木彫りに施された彫刻について、技法や文様など作品作りを通じて学ぶ。	一般市民	8月31日、9月1日
ミュージアム・トーク	国内の第一線で活躍している研究者を講師に招き、アイヌ民族をはじめとする北方諸民族の歴史や文化等に関わる最新の研究成果を市民にわかりやすく紹介する。	一般市民	9月14日
アイヌ文様 刺しゅう教室	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様など作品作りを通じて学ぶ。	一般市民	10月5日、6日
冬休み自由研究 「親子でムックリをつくろう」	親子で一緒にアイヌ民族の伝統的な楽器「ムックリ」(口琴)をつくり、演奏体験もおこなう。	小学生(4年生以上)と保護者	12月21日
アイヌ文様 木彫り教室	アイヌ民族の伝統工芸である木彫りに施された彫刻について、技法や文様など作品作りを通して学ぶ。	一般市民	9月1日、2日
アイヌ文様 刺しゅう教室	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様など作品作りを通して学ぶ。	一般市民	9月29日～30日
冬休み自由研究「親子でムックリをつくろう」	親子で一緒にアイヌ民族の伝統的な楽器「ムックリ」(口琴)をつくり、演奏体験もおこなう。	小学生(4年生以上)と保護者	12月22日
文化の日企画 「函館市北方民族資料館ツアー」	展示資料や当館についてなど、普段聞くことができない解説などと共に、函館市北方民族資料館をご案内する。	一般市民	11月3日

⑮ 文学館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
石川啄木直筆資料展	企画展「啄木と外国語・外国文化」 「明治41年8月～12月の書簡より」	一般市民	4月～10月 10月～4月
企画コーナー 収蔵資料展	辻仁成生誕60年によせて	一般市民	9月～11月
文学のタベ	第1回「函館の輝きは文学から」 第2回和太鼓朗読劇「後輩ケンジへ 石川啄木拝」 第3回和太鼓朗読劇「石川啄木物語～君に与ふウタ～」 第4回「朗読で綴る函館の文学 Vol. 15」	一般市民	5月21日 9月21日 10月12日 3月7日
中庭テラス読み聞かせ会	中庭のウッドデッキで読み聞かせを行う。	小学生以下	7月3日
夏休み自由研究「クイズ・ 石川啄木と函館」	小学生の夏休み自由研究として、クイズに挑戦する事を通じて石川啄木への親しみと理解を深めてもらう。	小学生	7月13日 ～8月25日
啄木ゆかりの地 子ども交流事業「函館・盛岡啄木交流かるた大会」	市内小学校の児童に「啄木かるた」に挑戦しながら、石川啄木について興味と親しみを持ってもらうことを目的として実施する。また、優勝チームを盛岡市に派遣し、盛岡市児童との「啄木かるた大会」等の交流や、啄木ゆかりの地の見学で見聞を深める。	小学生	7月27日(函館) 未定(盛岡)
特別企画	谷村志穂自著を読む6	一般市民	8月10日
函館・ 文学の道しるべ	第1回「森鷗外の謎」 第2回「太宰治と三島由紀夫」 第3回「声の詩」	一般市民	9月14日 12月14日 1月25日
文学館講演会	石川啄木講座	一般市民	11月23日

⑯ 重要文化財旧函館区公会堂 ～平成30年10月から保存修理工事のため休館中～

⑰ 市民プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
ワンポイントレッスン	水泳教室に定期的に参加できない人や上達を目指し個人レッスンを受けたい人を対象に1教室3名の教室を開催する。	一般市民	4月～3月
水泳教室	「市民水泳教室」(午前の部・午後の部) 「市民水泳プラス教室」 「市民水泳50教室」 「きっちり4泳法マスターコース」 「きっちり4泳法ナイトコース」 「ゆっくり4泳法マスターコース」 「バラエティコース」 「水中ウォーキング教室」(昼の部・夜の部) 「ゆっくりゆっくり水泳教室」 「専科コース」 「サタディナイトコース」 「ウォータビクスナイト教室」 「ウォータビクス教室」 「少年少女4泳法マスターコース」 「少年少女わんぱく水泳教室」 「幼児の水遊び教室」	満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 小学3年生～中学生 小学生 4・5歳児	4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月
市民プールまつり	幼児、小・中学生、父母と一緒に楽しめる各種レクリエーションを行う。25m・50m・幼児プールは無料開放する。	一般市民	8月31日
市民プール活性事業 泳力向上プロジェクト	健康増進の一助とするとともに、運動の習慣化を広く普及させることを目的に、水中運動の専門家を講師に招き、泳げない人にも水中運動のメリットを体感する講習会を開催する。	一般市民	9月15日, 16日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
市民水泳記録会	参加者のタイムを大会と同様の計器類により計測し、意欲の向上を図る。	小学生以上	12月8日
着衣水泳体験研修会	万が一の水難事故を想定して着衣状態での危険性を認識してもらい、簡単な対処方法および泳法を参加者に身につけていただくために開催する。	小学生以上	3月29日
着衣水泳体験研修会	万が一の水難事故を想定して着衣状態での危険性を認識してもらい、簡単な対処方法および泳法を参加者に身につけていただくために開催する。	小学生以上	3月29日

⑱ 函館アリーナ

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
スポーツ教室	「親子体育」 「わんぱく」 「ジュニア室内サッカー」 「ミニバスケット」 「ヒップホップダンス」 「いきいき♪シニアスポーツ」 「基礎体力UP!健康体操教室」	幼児と保護者 小学生 小学1～3年生 小学4～6年生 小学生 18歳以上 18歳以上	5月～12月 5月～12月 5月～12月 5月～12月 5月～未定 5月～12月 5月～12月
スポーツプログラム	「ボディコンバット」 「X55」 「メガダンス」 「ボディバンプ」 「ボディバランス」 「コアトレーニング」 「エアロビクス」 「ヨガ」 「サーキット」 「ストレッチ」 「チューブ体操」 「踏み台シェイプ」 「ZUMBA」 「ボディアタック」 「ボディジャム」	高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上	4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月
健康体操系研修会	どなたでも親しみやすく新しいエクササイズを体験できる研修会。	一般市民	6月1日・2日
NEC ロケッツ バレーボール教室	元全日本選手および NEC ロケッツの選手やOBを招き、小学生から大学生までを対象としたバレーボール教室を開催することにより、バレーボール競技人口の拡大を図るとともに函館市のスポーツ振興に寄与する。	一般市民	6月22日
トップアスリートによる 競技力向上スポーツ教室	トップアスリートによる指導を通じて、選手の技術向上および指導者の指導力向上を図る。	一般市民	7月27日, 28日
大相撲函館場所	良質なスポーツ鑑賞の場を提供することにより、心身の健康増進を図る。	一般市民	8月16日
フットサルFリーグ公式戦 エスポラーダ北海道戦	プロ競技の観戦を通じて、競技人口の拡大を図るとともに函館市のスポーツ振興に寄与する。また、エスポラーダ北海道によるフットサルクリニックを実施する。	一般市民	9月
ふわふわアドベンチャー ツアーin 函館アリーナ	バルーン製の巨大滑り台やジャンプ台、キャラクタードームなどの「ふわふわ」を体験してもらう中で、親子の触れ合いを目的とする。運動場所の確保という観点からも函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生以下と その保護者	10月26日, 27日
函館市地域スポーツ 指導員育成研修講座	函館市地域スポーツ指導員の資質向上を図るため、地域のスポーツ活動の指導要請に対応できるよう基礎的な実技や指導方法等の研修を目的として開催する。	18歳以上の 市民	10月～11月

⑱ 千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
第11回オーシャンスタジアム杯少年野球大会	野球少年の憧れの場であるオーシャンスタジアムで野球を楽しみ、競技力の向上・チームの結束を高めるとともに、地域スポーツの活性化を図る。	小学生の野球チーム	10月5日、12日

⑳ 千代台公園庭球場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
テニス教室(第1期・第2期, 昼・夜コース)	テニスを通じて健康・体力づくりとスポーツの振興, 充実を図る。	18歳以上	6月～10月

㉑ 千代台公園陸上競技場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
千代台公園みどりのリサイクル	小学生を対象に、公園内の落ち葉を資源として活用することにより、生態系の保全や環境への負担を軽減し、公園の美観を守る地域学習の場を提供する。	小学生	5月7日
■第24回ざいだんフェスティバル ■グリーンパークみんなであそぼ! ■ザ・フリーマーケット in 千代台(同時開催)	■財団の各施設や主催事業などについて広く周知するとともに、幅広い方に豊かなひと時をお楽しみいただく。 ■遊具を使用するなど安全で広々とした芝生での外遊びを通じて、体力の向上や、陸上競技場をより身近に感じていただくことを目的として開催する。 ■フリーマーケットの実施を通じて、陸上競技場をより身近に感じていただき、また同時開催事業の盛り上がりにより華を添えることを目的として開催する。	一般市民	7月21日
千代台公園トライアスロンフェスティバル	千代台公園内のスポーツ施設をより身近に感じてもらうとともに、体力づくりや健康の維持・増進を図る。	小学3年生～一般市民	9月7日

㉒ 市民スケート場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
フィギュアスケート教室	講師を招き、直接実技指導を受ける。	幼児～小学生	12月
スケート場初すべりお年玉プレゼント	日頃のスケート場来場に感謝するとともに、今後の利用者増につながるよう初滑りのイベントを開催する。	幼児～中学生	1月2日
スケート場イベントデー	簡単なゲームなどによりスケートの楽しさを伝える。	一般市民	1月
スケート場感謝デー	当日ご来場のお客様へ先着によりプレゼントをする。	一般市民	2月

㉓ 箱館奉行所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
土方歳三AR記念撮影	アプリをダウンロードし撮影すると土方歳三との記念撮影や、奉行に変身した合成写真が撮影できる。	通常入館者	通年
奉行に変身・記念撮影	当時、儀式・行事が行われていた大広間での記念撮影	通常入館者	4, 5, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3月(月1回)計9回
幕末コーヒー体験	10名様以上のグループで1か月前までの予約で、幕末当時と同じように自身で豆をすり珈琲を淹れ味わう。	一般市民	5, 6, 9, 10月要予約
松前神楽	国指定重要無形民俗文化財指定を受けた伝統芸能の舞	一般市民	6月22日
歴史講座 I・II	ノンフィクション作家や箱館奉行所歴史アドバイザーによる歴史講座	通常入館者	6月26日 6月29日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
箱館奉行所開館記念事業	箱館奉行所開館8周年の記念日に、瓦版屋がチラシを配布。大広間にて川股三弦会の津軽三味線を演奏。	通常入館者	7月29日
兵糧庫特別公開	五稜郭築造当時の建物として唯一現存する建物である兵糧庫の内部を期間限定で公開する。	無料開放	8月1日 ～31日
兵糧庫の解説付見学会	兵糧庫の歴史や出土品等の解説付き見学会	一般市民	8月4日
奉行所で秋を楽しむ～お茶とお花を愛でる～	函館大妻高等学校茶道部生徒が、奉行所内南庭にて、お手前と、呈茶を行う。館内には同校華道部生徒によるお花を飾る。	通常入館者	9月7日
奉行所で秋を楽しむ和の講座	日本に古くからある“結ぶ”文化を小物作りや組紐などで体験する講座	通常入館者	9月28日
「日本の四季と着物」～キモノショー	日本の伝統文化の一つ着物の様々な種類を「京都きもの専門学院和装専門教室セキグチ」の皆さまにご紹介いただく。	通常入館者	10月12日

④ 戸井教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
戸井地区文化祭	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及をねらいに文化祭を開催し、地域文化の振興を図る。	一般市民	10月13日
生涯学習セミナー事業	生きがいをもった、心豊かな人づくりを目的とし、趣味の拡充・教養を高めるための学習の機会を提供する。 *手芸1回	一般市民	9月25日
戸井地区ふれあい学園	高齢者の健康づくりと生きがいのある生活実現を図るため、社会参加を促進する学習活動や高齢者の持つ知識や技能を活用できる学習活動を提供する。*6回開催	戸井地区市民 (60歳以上)	5月～7月 11月～3月
第25回新春書き初め会 (恵山・楳法華地区と共催)	新年の清らかな雰囲気の中で、日本の伝統文化である書き初めに親しみながら、気を引き締め、集中する力を養う。	戸井・恵山・楳法華地区の小・中学生	1月8日
小学生水泳教室	水に慣れ親しみ、正しい泳ぎ方を身につけること等、レベルにあった指導を通して泳ぐことの楽しさを知ってもらうことを目的とする。	小学2年生以上	7月30～ 8月2日
戸井地区玉入れ大会	生涯スポーツの一環として、幅広い年齢層の人たちが共にスポーツ玉入れを楽しめる機会を提供することにより、参加者同士の交流や親睦、健康増進、体力の向上を目指すとともに地域の活性化と生涯スポーツの振興に寄与する。	中学生以上の一般市民	5月22日
戸井地区ゲートボール大会	ゲートボール競技を通して屋外スポーツの楽しさを知り、ゲートボール愛好者同士の交流による仲間づくり、高齢者の健康増進および生きがいづくりを目的とする。	一般市民	6月7日
戸井地区冬季ゲートボール交流会	冬期間において、戸井地区のゲートボール愛好者が一堂に会し、屋内での交流会を通して競技力の向上と高齢者の生きがいづくり並びに健康の維持・増進を図る。*4回開催	一般市民	12月～2月
戸井地区バドミントン大会	児童・生徒の交流による仲間づくりと健全育成並びに地域住民の健康増進と地域スポーツの振興を図る。	小学生以上の一般市民	12月14日
道南駅伝競走大会	生涯スポーツの普及と青少年の健全育成を目的に、戸井地区内11.42kmを1チーム4人で競う駅伝大会。	小学生以上の一般市民	10月20日
4地区交流パークゴルフ大会 (恵山・楳法華・南茅部地区と共催)	健康づくりのきっかけを作るとともに、生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	10月3日

㊸ 恵山教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
第8期恵山ふれあいいきいき大学	こころと体の健康や生きがいの創出に資する多様な生涯学習活動を通じ、楽しみながら一般教養や文化芸術に係る造詣を深める機会として各種講座やクラブ活動を実施する。	恵山地区市民 (60歳以上)	5月～12月 年6回
夏休みプール	恵山プール廃止に伴う代替事業として、南茅部プールに利用者をバスで送迎する。	小・中・高校生	7月、8月
小学生水泳教室	夏季の体力づくりと基本泳法の習得を図る。	小学生	8月
恵山文化祭	幼児から高齢者まで幅広い世代の市民が自主的・創造的に取り組んだ様々な地域文化芸術活動の成果を発表する場として、年1回開催し、文化芸術活動団体などと連携を図りながら、市民が気軽に文化芸術に接する機会を提供する。	一般市民 および 文化芸術 活動団体	10月～11月
4地区交流 パークゴルフ大会 (戸井・楸法華・南茅部地区と共催)	健康づくりのきっかけを作るとともに、生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	10月3日
小学生バドミントン教室	インストラクターによる指導により技術力の向上を図るとともに、バドミントンを通じ、仲間づくりやスポーツの楽しさを体験する機会を提供する。	小学3年生～ 6年生	11月
第25回新春書き初め会 (戸井・楸法華地区と共催)	新年の清新な雰囲気の中で、日本の伝統文化である書き初めに親しみながら、気を引き締め、集中する力を養う。	戸井・恵山・ 楸法華地区の 小・中学生	1月8日
小学生 ミニバレーボール大会 (恵山・戸井地区)	冬季の小学生の体力づくりと健康増進を図り、ミニバレーボールを通じて仲間づくりやスポーツの楽しさを体験する機会を提供する。	小学3年生～ 6年生	2月
冬季ゲートボール大会 (恵山・戸井地区)	冬季の高齢者の体力づくりと健康増進を目的とし、併せてスポーツを通じた交流を図る。	恵山・戸井地区 の市民	3月

㊸ 楸法華教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験教室事業	小学生を対象に、皆で協力しながら「ものを作る喜び」を感じる機会を提供する。 ・バレンタインチョコを作ろう(年1回)	楸法華小学校 児童	2月8日
第25回新春書き初め会事業 (戸井・恵山地区と共催)	新年の清新な雰囲気の中で、日本の伝統文化である書き初めに親しみながら、気を引き締め、集中する力を養う。	戸井・恵山・ 楸法華地区の 小・中学生	1月8日
第28回楸法華・風間浦友好地域子ども交流事業	一泊二日の団体生活や体験活動を通して、友好を深めながら、互いの地域の特色を知るとともに協力する気持ちを養う。	楸法華地区の 小学4年生～ 6年生	8月6～7日
第3回とどほつけ小・中・ふれあい大運動会事業	レクリエーションスポーツを通して、地域市民の交流促進と健康増進を図る。	楸法華地区 市民	5月25日
生涯スポーツ普及事業 4地区交流 パークゴルフ大会 (戸井・恵山・南茅部地区と共催)	健康づくりのきっかけを作るとともに、生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	10月3日
健康推進事業	登山を通して自身の健康づくりや健康増進について考えるきっかけを作るとともに、山登りの楽しさやマナーについて理解を深める。 恵山登山(春・秋)	一般市民 (小学生以上)	6月22日 9月7日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
高齢者ふれあい いきいき学級事業	高齢者の健康づくりと豊かな知識・経験を活用し、様々な交流や生きがい、ふれあいを感じる機会を提供する。 ・健康講座「軽運動」(年1回) ・文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	榎法華地区市民 (60歳以上および小学生)	3月5日 12月26日
榎法華地区文化祭事業	榎法華地区における芸術文化活動の発表や地区住民の交流、芸術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図る。 (3年に1回開催)	榎法華地区市民	11月9日

㊦ 南茅部教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
南茅部地域文化祭	地域で文化活動している個人やサークルなどの活動成果を発表する場として地域文化祭を開催し、地域文化の高揚を図る。 ・文化作品の展示、各種発表会等	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	11月2日, 3日
夏休み！南茅部地域 親子わくわくキャンプ	キャンプを体験することにより、野営の初歩的な技術の習得と共同作業での規律や協力することの大切さを学び、親子のふれあいと地域の子ども間の交流を深める。 ・オリエンテーリング、屋外炊事、テント泊	小4～小6とその保護者 (南茅部地区居住者優先)	7月31, 8月1日
冬休みふるさと体験教室「親子でおもちゃ作り・もちつき大会」	冬休み期間中に親と子がふれあいながら体験できる教室を開催し、健全な青少年の育成と参加者相互の交流を図る。 ・昔のおもちゃ作りと臼・杵による餅つき体験	小学生とその保護者 (南茅部地区居住者優先)	12月27日
函館市南茅部 沿岸漁業大学	函館市の南茅部地域において、浜に生きるお互いが生活理念や漁業環境の変化に的確に対応しながら、より豊かな、より安全な生きがいに満たされた生活が営まれるように関係団体は、共同して生涯教育の機関を設置する。		
	資格取得講座 ・玉掛け技能資格取得講座 ・二級小型船舶操縦士資格取得講座 ・揚貨装置の運転業務特別教育講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	5月 6月
	女性専科講座 料理教室	一般市民 (女性・南茅部地区居住者優先)	3月
	高齢者専科講座 健康教室	一般市民 (高齢者・南茅部地区居住者優先)	9月
	地域教養講座 地域講座・南茅部高校共催講座・その他講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	11月～3月
	専修課程講座		11月, 2月
南茅部地域野球大会	野球を通して地域住民の親睦と交流を図る。	一般市民	5月11日
南茅部地域 少年野球大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与え野球を通して親睦を図る。	小学生	8月24日
南茅部地域 マラソン大会	マラソンを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～中学生	9月7日
4地区交流 パークゴルフ大会 (戸井・恵山・南茅部地区と共催)	健康づくりのきっかけを作るとともに、生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	10月3日
南茅部地域 ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	高校生～一般	10月17日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
南茅部地域小学生フットサル大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与えフットサルを通して親睦を図る。	小学生	12月7日
南茅部地域スキー大会	スキーを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～一般	2月2日

㊸ 南茅部プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
一般水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生以上	4月～10月 (49回)
ジュニアスイミング教室中・上級コース	泳力向上と体力づくりを目的とする。	小学生～中学生の初級コース修了者	4月～10月 (72回)
ジュニアスイミング教室初級コース	水慣れから水泳の初歩を学ぶ。	小学生～中学生の泳げない方, 初心者	4月～10月 (69回)
南茅部プールまつり	プール利用者を対象にレクリエーションや縁日・ゲームなどを開催し, プールの利用を促進する。	幼児～一般	8月
南茅部水泳記録会	児童・生徒に自分の水泳タイムを把握させ, 今後更に記録を伸ばしたいという意欲を待たせ, プールの利用を促進する。	小学生～中学生	10月
着衣水泳教室	衣服を着たまま川や海に落ちてしまった際に, 自力で助かる方法と救助の仕方を学ぶ。	小学生以上	10月

(2) 平成30年度事業の実績

① 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
HAKODATEまなびっと広場	通年		延べ登録者数 3,758人
学習情報・指導者情報等の提供	通年		
成人祭	1月14日		約1,235人
ウィークエンド・サークル活動推進事業	10月27日～1月12日(4回)	各30人	延べ52人
家庭教育支援事業(家庭教育セミナー)	6月～2月(13回)		865人
社会学級	通年(22学級)		414人
社会教育事業の後援・奨励	通年		
函館市青少年芸術教育奨励事業	7月～11月		971人
学校開放事業(文化開放)小・中学校(11校)	通年		19,059人
文化芸術アウトリーチ事業	6月～2月		延べ2,442人
亀田老人大学	7月3日～11月28日(16回)	150人	150人
高齢者大学湯川校	7月3日～11月28日(16回)	150人	150人
高齢者大学大門校	4月26日～3月8日 (39回×2クラス)	250人 (125×2クラス)	250人

② 公民館・亀田公民館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市高齢者大学青柳校	5月10日～11月8日(22回)	250人	252人
公民館講座			
初心者のためのフラメンコ講座	4月10日～5月29日(7回)	15人	11人
初歩の英会話講座	4月12日～6月7日(8回)	6人	8人
初心者のためのクラシックギター基礎講座	4月14日～7月14日(8回)	10人	10人
子ども絵てがみ教室	5月12日～11月10日(6回)	10人	9人
ステンドグラス講座	5月17日～31日(3回)	5人	5人
初歩の子ども習字教室	5月19日～7月28日(7回)	8人	9人
コーラス入門講座	6月6日～8月8日(10回)	20人	22人
ゆかた着付け講習会	7月3日, 10日	10人	2人
初歩の陶芸木曜教室	7月5日～26日(3回)	5人	5人
ドールハウス制作体験	7月14日～9月8日(5回)	10人	9人
子ども土鈴づくり体験	7月27日	15人	16人
親子で楽しもう! トールペイント講座	8月4日	5組10人	5組11人
大人の習字教室	9月5日～10月24日(6回)	8人	8人
親子陶芸教室	9月8日～28日(3回)	5組10人	5組11人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ミュージカルの楽しみ	10月3日～31日(3回)	30人	51人
きもの着付け講習会	11月6日～20日(3回)	10人	1人
書き初め会	1月5日	10人	3人
函館市からの委託事業			
函館市介護予防教室 「歌ってお口元気アップ教室」	6月～9月	15人	11人
函館市亀田老人大学	7月～11月	150人	150人
函館市高齢者大学湯川校	7月～11月	150人	150人
丘の上の芸術祭	9月9日	200人	176人
異世代音楽交流会	10月18日	250人	259人
公民館講座受講生作品展	1月5日～19日	—	534人
公民館コンサート	3月17日	150人	180人
亀田公民館講座			
パステルアート講座	4月20日～7月20日(4回)	10人	15人
初歩の絵手紙教室	4月27日～3月22日(20回)	45人	48人
家庭教育学級「親子体操」	5月12日～6月2日(4回)	10組20人	7組16人
初歩のきもの着付け教室	5月17日～11月1日(15回)	25人	25人
ヨガ体験講座	6月6日	5人	5人
小筆で書く年賀状	10月4日～25日(4回)	10人	7人
ハーバリウム制作体験	11月11日	15人	13人
手打ち蕎麦体験講座	12月2日	10人	7人
子ども書き初め会	1月6日	10人	8人
親子で楽しむバレンタインスイーツ	2月3日	4組8人	5組10人
体験講座(リーダーシップ講座)(亀田公民館実施分)			
初歩のいけばな教室	6月17日	5人	7人
～美しいポジャギ～制作体験	7月22日	15人	13人
タイルクラフト制作体験	8月26日	20人	5人
石けんづくり体験講座	9月30日	15人	13人
ハンドメイドの焼き菓子「スコーン」	10月14日	8人	9人
おりがみで作ろう	10月21日	20人	16人
クラフトバンドでつくる 「クリスマスバスケット」	11月18日	8人	8人
羊毛フェルト制作体験	11月24日	10人	10人
ブレインストレッチ体験	2月17日	10人	10人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
手縫いで作る 「エコバック収納型苺のストラップ」	2月24日	15人	14人
お手製 春スイーツ	3月3日	6人	6人
～ウクライナの飾り玉子～ ピサンキづくり体験	3月17日	6人	6人
生涯学習リーダーバンク登録事業	4月～3月	—	5人
ざいだん地域講習会「普通救命講習」	11月22日	10人	8人
異世代フラダンス交流会	12月9日	20人	15人
亀田公民館講座受講生作品展	1月12日～31日	—	741人

③ 青少年研修センター（ふるる函館）

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
宿泊型プログラム			
函館山を知ろう	5月12日～13日	50人	47人
食育キャンプ～山の幸編～	6月9日～10日	50人	51人
ネイチャーキャンプ	7月7日～8日	50人	荒天中止
ふるる夏キャンプ	8月18日～19日	50人	46人
スポーツキャンプ	9月15日～16日	50人	46人
避難所生活体験	10月6日～7日	50人	荒天中止
食育キャンプ～海の幸編～	11月10日～11日	50人	44人
クリスマスキャンプ	12月8日～9日	50人	47人
ふるる冬キャンプ	1月19日～20日	50人	45人
ボランティアリーダー塾	2月16日～17日	50人	11人
日帰り型プログラム			
紙を知ろう	4月8日	50人	41人
科学ものづくり	5月27日	50人	59人
ふるるニュースポーツ体験	6月24日	50人	33人
夏休み・ふるる函館寺子屋教室	7月26日～29日	延べ60人	延べ59人
創作プログラム体験	9月29日	50人	28人
ファミリー防災訓練 ～災害図上訓練～	10月7日	50人	荒天中止
ネイチャークラブ	10月27日	50人	27人
博物館を知ろう！	11月25日	50人	20人
ものづくりチャレンジ	12月22日	50人	31人
冬休み・ふるる函館寺子屋教室	1月9日～12日	延べ60人	延べ32人
ふるる祭	3月3日	500人	443人

④ 青年センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
ひめトレ&やさしいヨガ教室	4月6日～3月15日(24回)	各16人	延べ297人
心身からリラックス～ヨガ教室	4月6日～3月15日(36回)	各20人	延べ801人
午後活 RUNNING	4月7日～10月27日(14回)	各20人	延べ151人
夜活!体幹トレーニング	11月10日～3月16日(10回)	各20人	延べ200人
ポップダンスでシェイプアップ	5月12日～7月14日(9回)	各25人	延べ70人
陶芸1日体験教室	7月14日, 12月15日	各20人	延べ31人
科学で楽しく自由研究	7月21日, 12月23日	各16組	延べ62人
陶器の風鈴を作ろう	8月5日	20人	21人
書家・青穂のペン文字講座	4月2日～11月19日(16回)	各12人	延べ121人
キッチンサイエンス	8月19日(2回)	親子6組	延べ27人12組
野菜ソムリエの料理教室	4月7日～2月2日(5回)	各12人	延べ59人
浜の母さん料理教室	10月13日, 11月17日	12人	26人
和食料理人直伝! おもてなし料理教室	4月15日, 7月22日	各12人	延べ24人
新そば入荷しました!手打ちそば教室	10月21日	20人	20人
ラーメン職人直伝! 男のらーめん道!!!	2月18日, 3月18日(2回)	各12人	延べ24人
楽しく陶芸♪ 好きな器を作ろう!	10月22日	10人	13人
自由研究先取り! 陶器でオリジナル時計を作ろう!	12月22日	20人	14人
男性も女性のボディメイク! 新感覚エクササイズ バレトン	4月3日～3月26日(51回)	各25人	延べ830人
手作りお菓子教室	6月11日～11月26日(9回)	各6組	延べ54組
おうちで簡単イタリアン♪	7月12日～3月28日(6回)	各12人	延べ73人
有名店の料理人が教える! おうちで簡単本格中華♪	3月4日	各12人	12人
若者の居場所づくりに関する事業			
巨大絵馬に合格メッセージを書こう!	2月4日奉納		
勉強スペース応援DAY	通年(月4～5回, 延べ51日)		延べ585人
小中学生のためのプログラミング教室	9月29日～3月2日(4回)	10人	延べ22人
利用者親睦会	6月25日		10団体25人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
七夕イベント	7月7日	200人	200人
青年センターフェスティバル2018	9月2日		1,000人
はこだてカルチャーナイト2018	9月28日		地震のため中止
青年戦隊クリーンレンジャー	9月30日		15人
第14回地球まつり	10月20日		400人
クリスマスライブ	12月9日		120人
初笑い! 夢助落語大会	1月14日		70人
第8回ミニ四駆競技大会	3月24日	60人	32人
青年団体交流 スポーツ大会	3月31日		27人

⑤ 亀田青少年会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
菓子教室(桜のモンブランづくり)	4月15日	8組	21人
折紙教室(こいのぼり・かぶとづくり)	4月22日	8組	12人
花壇づくり	4月29日		5人
キャンドルナイト	6月30日	20組	36人
生物教室(亀田川のいきものをさがそう)	7月22日	20組	47人
手芸教室(ビーズアクセサリーづくり)	11月11日	8組	6人
折紙教室(クリスマスかざりづくり)	12月17日	8組	16人
クリスマスケーキづくり	12月24日	8組	23人
教養講座			
冬休みものづくり教室(ペットボトルランプづくり)	1月5日	8組	33人
イカ墨染色教室	1月6日	8組	21人
冬休みものづくり教室(パステル和アート)	1月14日	8組	23人
折紙教室(おひなさまづくり)	2月17日	8組	9人
指導者の養成および団体活動の育成に関すること			
卓球教室	毎週		延べ2,570人
空手教室	毎週		延べ94人
英語教室	毎週		延べ635人
絵画教室	隔週		延べ34人
職業・交友・健康その他の生活相談に関すること			
子ども会議	3月30日		2人
子どもの広場	毎月		延べ623人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
余暇活動に必要な施設および設備の提供ならびにその指導に関すること			
じゃんけん大会	毎月		延べ38人
〇×クイズ大会	毎月		延べ44人
逆じゃんけん大会	毎月		延べ40人
お誕生会	毎月		延べ252人
コミュニティ・スペース(江差開陽丸見学)	6月16日		41人
七夕まつり	7月7日		431人
ラジオ体操会	7月26日～8月1日		延べ714人
子ども朝活	7月27日～8月1日		延べ170人
コミュニティ・スペース(縁日体験)	8月18日		58人
超子どもセンター祭	10月14日		125人
もちつき大会	12月1日		123人
コミュニティ・スペース(クリスマス会)	12月15日		64人
その他			
利用団体懇談会	3月30日		4人

⑥ 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
学校開放事業(校庭, スポーツ, 遊泳)	通年 遊泳開放は夏休み期間の土日		61,330人
海水浴場の開設 (入舟町前浜海水浴場)	7月～8月		3,053人
函館マラソン('18)	7月1日	8,000人	7,139人
コミュニティランニング('18)	10月8日	400人	272人

⑦ 箱館奉行所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
奉行に変身・記念撮影	5月26日, 6月30日, 10月27日, 11月24日, 12月29日, 1月1日, 1月26日, 2月23日, 3月3日		717人
カフェ&トーク「幕末珈琲を味わう」	6月3日		21人
和の講座「つまみ細工で小物づくり」	7月7日		15人
箱館奉行所 開館記念事業	7月29日		250人
兵糧庫特別公開	8月1日～31日		16,632人
兵糧庫の解説付見学会	8月4日		57人
奉行所で秋を楽しむ～奉行所再現劇～	9月30日		90人
松前神楽公開講演	10月13日		150人

⑧ 博物館

事業名	実施時期	定員	参加者数
博物館講座			
春の美術鑑賞会 蠣崎 波響	4月7日, 8日, 12日	各20人	70人
博物館講座			
旧函館博物館一号公開	5月27日		298人
夏休み自由研究 「博物館子供探検隊」	7月26日	10人	6人
夏休み自由研究 「日本画でうちわづくり」	7月27日	10人	4人
展示解説セミナー 企画展「北の昆布展」	7月28日, 8月11日		41人
夏休み自由研究 「黒曜石で矢じりを作ろう」	8月2日	15人	14人
夏休み自由研究 「大森浜の貝で標本箱を作ろう」	8月8日	15人	20人
企画展共催体験講座 「昆布産地体験バスツアー」	8月9日	40人	23人
企画展共催料理教室1	8月11日	20人	18人
企画展共催料理教室2	8月18日	20人	20人
旧函館博物館一号公開	8月19日		328人
企画展共催料理教室3	8月25日	20人	20人
企画展共催料理教室4		20人	20人
企画展共催料理教室5	9月1日	20人	20人
企画展共催料理教室6		20人	20人
展示解説セミナー 企画展「新収蔵資料・アイヌ絵展」	9月29日		22人
秋の美術鑑賞会 蠣崎 波響	9月30日	10人	8人
体験! 日本画教室	10月7日, 14日, 21日	8人	7人
思い出の青函連絡船	10月20日	15人	中止
SPレコードを聴いてみよう!	11月2日	15人	10人
企画展 「北の昆布展」	7月10日～9月9日		(入館者数) 3,054人
古文書調査	4月11日～10月4日	17回開催	119人
博物館おもてなし講座			
展示解説	通年	5人以上のグループ	327人
バックヤードツアー	通年	5人以上のグループ	90人
見せます!お宝公開!	4月1日～11月4日開館日	5人以上のグループ	89人
函館博物館見学	4月1日～11月4日開館日	5人以上のグループ	25人

⑨ 市立函館博物館郷土資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
朗読会	4月～3月毎月第4土曜日		350人
講談会	4月～3月	毎月30人	177人
水引BOOKMARK体験	7月～2月		14人
絵本の読み聞かせ	7月21日		11人
木工クラフトで箸と箸置き作り	7月31日	20人	7人
開店記念祭	12月1日, 2日		37人
ペン画体験	2月24日, 3月2日	各10人	7人

⑩ 中央図書館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
絵本等の読み聞かせ	通年(357回)		5,210人
えほんふれあい事業	通年(48回)		1,240人
子どもの読書週間イベント	4月29日 5月5日		親子20組 60人
郷土の歴史講座	5月19日 6月23日	各回150人	138人 150人
古文書解説講座	5月20日～9月23日	50人	50人
市民文芸作品の募集	募集 7月1日～9月30日 表彰式・作品集配布: 3月16日～		118人
七夕イベント「お話と工作会」	7月7日		親子20組
こどもレファレンス講座	7月21日		児童10人
こども1日図書館員	7月30日, 7月31日	24人	11人
函館市図書館を使った調べるコンクール作品募集	8月2日～9月25日		35人
小学生!夏休み工作会	8月4日		100人
夏休みこわ～いお話会	8月5日		156人
初心者のための読み聞かせ講座	9月11日	50人	81人
秋の読書週間イベント	10月27日 11月1日 11月3日 11月10日		23人 150人 12人 150人
図書館deクリスマス	12月22日 12月23日		親子20組 150人 180人
新春企画「お楽しみ袋」貸出	1月4日		50人
図書館ボランティア養成講座(令和元年度募集)	2月23日	10人	9人
ひな祭りイベント 「親子で図書館へ お話会と工作」	3月3日		親子20組

⑪ 縄文文化交流センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
常時体験講座			
ミニチュア土器づくり	通年		471人
縄文ペンダントづくり			708人
縄文編み(初級)			37人
縄文編み(上級)			25人
組紐アクセサリーづくり			362人
拓本とり			23人
土笛づくり			92人
カックウの顔づくり			245人
縄文土器パズル			790人
おもしろ土製品づくり			65人
縄文体験定期講座			
縄文染め第1回 「春の縄文染め」	5月13日	20人	12人
縄文染め第2回 「秋の縄文染め」	11月4日	20人	6人
春の自然観察会	5月27日	10人	7人
秋の自然観察会	10月21日	10人	9人
縄文土器づくり体験第1回 「土器づくり」	9月9日	20人	6人
縄文土器づくり体験第2回 「縄文土器野焼き体験」	10月13日	20人	6人
縄文体験キッズプログラム第1回 「縄文釣り体験」	6月3日	10人	7人
縄文体験キッズプログラム第2回 「縄文釣り体験」	6月10日	10人	7人
縄文体験 「竪穴住居の模型を作ってみよう！」	8月5日	20人	12人
縄文体験 「石器づくり体験」	9月30日	10人	7人
期間限定講座			
GW限定「オリジナルしおりづくり」	5月3日～6日	400人	400人
夏休み限定「夏の手仕事～漁網づくり」	8月11日～8月12日	20人	1人
冬休み限定「冬の手仕事～かごづくり」	12月23日～24日	20人	3人
春休み限定「JOMONクイズラリー」	3月24日～3月31日	50人	50人
企画展「南かやべ～発掘調査のあゆみ～掘っちゃいました！縄文時代」	11月2日～12月16日		(入館者数) 1,412人
国宝「中空土偶」帰国特別企画 ①写真展「縄文の使者国宝「中空土偶」の活躍」 ②ミニ展示「おかえりなさい！カックウ」	12月24日～1月24日		(入館者数) 432人

⑫ 市民会館 ～平成29年11月から耐震等改修工事のため休館中～

⑬ 芸術ホール〔ハーモニー五稜郭〕

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
キッズフェスティバル2018	5月3日	500人	1,386人
財団創立30周年記念/芸術ホール開館20周年記念 セキスイハイム presents 三浦文彰×辻井伸行デュオ・リサイタル	7月14日	600人	712人
ざいだん出前コンサート	7月31日	120人	170人
らふらっとコンサート(5回)	8月27日～12月3日	200人	259人
財団創立30周年記念/芸術ホール開館20周年記念 リサイタル・シリーズ SPECIAL(2事業) ※ プレイベント2回含む	9月17日～12月22日	1,100人	1,381人
2019スプリング・コンサート 大隅雅人&福田善亮トランペット・デュオ・コンサート	2月11日	320人	498人
財団創立30周年記念/芸術ホール開館20周年記念 「星屑の町～完結篇」	3月15日	500人	806人
参加創造型事業			
函館市民文化祭(5事業)	11月1日～17日		4,081人
育成学習型事業			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ (2事業)	4月1日～3月31日	530人	225人
ボックスステージツアー(2回)	5月3日, 11月11日	100人	128人
ざいだん「邦楽こども教室」	6月9日～2月17日	18人	18人
北海道舞台塾 ダンスワークショップ	1月18日, 1月19日	—	25人
奨励型事業			
函館芸術ホール開館20周年記念 平成30年度 函館新人演奏会～音楽の新しい風～	6月24日	200人	219人
ピアノ・コンサート・フォー・ユー	1月14日	200人	168人
HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL ※ プレイベント1回含む	1月13日, 1月27日	500人	971人
市民美術展 第19回「はこだて・冬・アート展」(2事業)	2月24日～3月3日	—	1,227人

⑭ 北洋資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
親子体験教室「貝殻でつくろう」	5月3日	80人	278人
第24回 函館の「海と港」児童絵画展	7月29日～8月5日	500人	315人
財団創立30周年記念 函館市北洋資料館特別展 貴重な北洋の貝～高川コレクション～	10月11日～11月30日	—	1,680人
冬休み特別企画「クイズで知ろう☆北洋漁業」	1月6日	30人	12人

⑮ 北方民族資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験学習講座(2講座)	4月～3月	—	483人
北方民族資料館バックヤードツアー	4月～11月	955人	920人
夏休み自由研究 「親子で、北方民族文様の切り紙細工をしよう」	7月29日	20人	19人
北方民族資料館講座(3講座)	9月～10月	60人	52人
文化の日企画 「函館市北方民族資料館ツアー」	11月3日	20人	15人
冬休み自由研究 「親子でムックリをつくろう」	12月22日	20人	21人

⑯ 文学館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
企画展 「啄木の短歌～その変遷を辿る～」	4月8日～10月2日	—	11,231人
文学の夕べ(4回)	5月22日～9月11日	200人	107人
中庭テラス読み聞かせ会	6月27日	20人	18人
夏休み自由研究「クイズ・石川啄木と函館」	7月14日～8月26日	60人	20人
函館・盛岡啄木交流かるた大会(2回)	7月28日・2月16日	36人	45人
特別企画「谷村志穂自著を読む5」	8月11日	50人	57人
石川啄木講座「啄木と智恵子～オーロラの友情」	8月18日	150人	64人
企画コーナー 「宇江佐真理～没後3年に寄せて～」	9月8日～11月11日	—	2,735人
連続講座「函館・文学の散歩道」(3回)	9月22日～11月24日	150人	62人
文学館講演会 「宇江佐真理を語る～没後3年に寄せて～」	11月10日	120人	130人
文学の夕べ特別企画 「朗読で綴る函館の文学vol.14」	2月23日	50人	32人

⑰ 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
旧函館区公会堂プロムナード・コンサート(18回)	5月9日～9月12日	—	1,932人
旧函館区公会堂親子一日館長	7月28日	親子3組(6人)	親子3組(6人)
公会堂コンサート(25回)	5月27日～9月30日	3,000人	1,878人
高校生によるお茶会	9月17日	200人	200人

⑱ 函館アリーナ

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スポーツ教室(7教室)	4月～3月	600人	529人
コナミ担当事業スポーツ教室(15教室)	4月～3月	—	9,255人
健康体操教室	6月2日, 3日	230人	206人
NEC ロケッツバレーボール教室	6月16日	300人	303人
フットサルFリーグ公式戦 「日本女子フットサルリーグ2018」	6月30日, 7月1日	8,000人	822人
エスポラーダ北海道とボールで遊ぼう フットサル教室	6月30日	—	28人
MATCH DAY DUARIG F リーグ 2018/19 第3節「エスポラーダ北海道VSバルドラール浦安」	7月1日	4,000人	1,562人
トップアスリートによる競技力向上スポーツ教室	9月1日, 2日	80人	80人
函館市地域スポーツ指導員育成研修会	10月9日～11月21日	240人	154人
ふわふわアドベンチャーツアー ハロウィンパーティー in 函館アリーナ	10月20日, 21日	4,000人	6,052人
JTB BADMINTON S/JLEAGUE 2018 函館大会	12月23日	1,000人	1,572人
北都銀行バドミントンチーム講習会	12月24日	—	60人
バスケットボールBリーグ公式戦 「レバンガ北海道VSサンロッカーズ渋谷」	3月30日, 31日	3,000人	4,730人
理事長杯ソフトバレーボール大会	3月10日	700人	318人
函館市介護予防教室「転ばない!からだづくり教室」	11月～2月	30人	30人

⑲ 市民プール

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ワンポイントレッスン	4月～3月	—	840人
水泳教室(16教室)	4月～3月	3,380人	2,479人
市民プール活性事業 ～水中運動で100歳まで元気に!～	6月29日	200人	90人
第29回市民プールまつり	9月2日	800人	550人
函館市介護予防教室「泳がない!プール教室」	11月～3月	20人	20人
第22回市民水泳記録会	12月9日	200人	186人
着衣水泳体験研修会	3月29日	80人	57人

⑳ 千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
2018 プロ野球パ・リーグ公式戦 「北海道日本ハムファイターズ VS 埼玉西武ライオンズ」	7月5日	12,000人	雨天中止
第10回オーシャンスタジアム杯少年野球大会	10月20日～28日	320人	368人

⑳ 千代台公園庭球場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
テニス教室(2期)	5月～10月	180人	153人

㉑ 千代台公園陸上競技場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
千代台公園みどりのリサイクル	5月16日	—	60人
■第23回ざいだんフェスティバル ■グリーンパークみんなであそぼ!	8月19日	—	13,500人

㉒ 市民スケート場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
フィギュアスケート教室(4教室)	12月27日～29日	110人	110人
スケート場初すべりお年玉プレゼント	1月2日	400人	379人
スケート場イベントデー	1月20日, 27日	400人	400人
外国人観光客向けスケート体験事業	2月4日～8日	50人	4人
スケート場感謝デー	2月11日	400人	400人

㉓ 戸井教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
戸井地区ふれあい学園	5月～7月・11月～3月 (6回)		延べ184人
大間町との交流事業(大間町音楽祭参加)	11月3日		7人
4地区交流パークゴルフ大会 (恵山・榎法華・南茅部地区と共催)	10月4日		戸井地区参加者 12人
戸井地区文化祭	10月14日		354人
道南駅伝競走大会	10月21日		118チーム 592人
体験教室「押し花絵」	9月26日		14人
新春書き初め会 (恵山・榎法華地区と共催)	1月8日		戸井地区参加者 20人
少年体育事業			
小学生水泳教室	7月31～8月3日(4回)	40人	実24人
バドミントン大会	12月15日		21ペア42人
一般体育事業			
玉入れ大会	5月16日	20チーム	8チーム58人
ゲートボール大会	6月7日		7チーム36人
ゲートボール交流会	12月～2月(4回)		延べ72人

㊸ 恵山教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
第7期(後期) 恵山ふれあいいきいき大学	5月～3月(年7回)	60人	延べ195人
恵山地区春季パークゴルフ大会	6月8日		25人
夏休みプール	8月1～3日, 8月15～17日		延べ19人
小学生水泳教室	8月8, 9, 10日	30人	延べ39人
4地区交流パークゴルフ大会 (戸井・榎法華・南茅部地区と共催)	10月4日		恵山地区参加者 9人
恵山地区文化祭	10月20日		延べ478人
小学生バドミントン教室	11月26～28日	20人	延べ22人
新春書き初め会(戸井・榎法華地区と共催)	1月8日		恵山地区参加者 10人
小学生ミニバレーボール大会(恵山・戸井地区)	2月16日		5チーム27人
冬季ゲートボール大会(恵山・戸井地区)	3月1日		8チーム39人

㊸ 榎法華教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験教室事業			
マジック・トリック	11月10日	40人	19人
バレンタインチョコを作ろう	2月2日		9人
第2回とどほつけ小・中・ふれあいいきいき運動会事業	5月26日		延べ108人
第27回風間浦・榎法華友好地域子ども交流事業	8月7日～8日		榎法華地区参加者 17人
健康推進事業「恵山登山」(春・秋)	6月23日, 9月8日 (9月中止)	各30人	延べ21人
第24回新春書き初め会(戸井・恵山地区と共催)	1月8日		榎法華地区参加者 1人
生涯スポーツ普及事業			
4地区交流パークゴルフ大会 (戸井・恵山・南茅部地区と共催)	10月4日		榎法華地区参加者 5人
高齢者ふれあいいきいき学級事業			
健康講座「軽運動」	7月5日, 3月7日		延べ22人
文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	12月27日		24人
榎法華地区文化祭事業			
榎法華地区文化祭(3年に1回開催)	次回H31年度		—

㊸ 南茅部教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
南茅部地区文化祭事業			
南茅部地区文化祭	11月3日, 4日		出展615点 来館193人
青少年事業			
親子わくわくキャンプ	7月31日, 8月1日	30人	34人
親子でおもち作り&餅つき大会	12月28日	30人	22人
函館市南茅部沿岸漁業大学事業			
資格取得講座			
小型移動式クレーン運転技能資格取得講座	5月22日~24日	20人	7人
二級小型船舶操縦士資格取得講座	5月30日, 31日, 6月12日~15日	12人	8人
高齢者専科講座			
暮らしと電気~再生可能エネルギーを学ぶ~	9月12日	40人	35人
専修課程講座			
「ナマコ・海鼠・海參」-その現在・過去・未来	11月22日	100人	54人
「道南太平洋海域におけるスケトウダラ資源調査結果と今後の資源予測について	2月19日	70人	35人
女性専科講座			
地域の食材を利用した健康料理	3月20日		19人
地域教養講座			
古部女性部開設講座	2月9日		21人
木直女性部開設講座	2月27日		11人
尾札部女性部開設講座	2月28日		18人
川汲女性部開設講座	3月2日		21人
安浦女性部開設講座	2月27日		10人
白尻女性部開設講座	3月1日		19人
大船女性部開設講座	3月2日		21人
磨光小学校開設講座	12月~2月(4回)		63人
白尻小学校開設講座	11月22日		17人
南茅部高校共催開設講座	12月6日		15人
漁協青年部開設講座	12月16日		79人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
南茅部地域大会			
野球大会	5月12日		4チーム 50人
少年野球大会	8月18日		中止
マラソン大会	9月8日		中止
ソフトバレーボール大会	10月18日		6チーム27人
小学生フットサル大会	12月1日		中止
スキー大会	2月3日		21人
4地区交流パークゴルフ大会 (戸井・恵山・榎法華地区と共催)	10月4日		南茅部地区参加者 8人
一般水泳教室	4月～10月(46回)	20人	延べ245人
少年少女水泳教室	4月～10月(69回)	30人	延べ2,196人
ちびっ子水遊び教室	4月～10月(65回)	20人	延べ599人

2 社会教育・スポーツ施設の概要

(1) 社会教育施設の概要一覧

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学 習 活 動 拠 点 施 設	函館市公民館	S 22. 5. 3	1, 177. 03㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建(本館), レンガ造2階建および木造平屋建(別館), 敷地1, 302. 11㎡ ≪概要≫ 講堂(353. 76㎡/282人), 第1集会室(59. 79㎡/50人), 第2集会室(57. 62㎡/40人), 第3集会室(29. 23㎡/15人), 陶芸実習室(27. 12㎡/16人), ロビー, 事務室 他
	函館市 亀田公民館	S 38. 6. 29	489. 24㎡	≪構造≫ 木造モルタル2階建, 敷地657. 62㎡ ≪概要≫ 講堂(158. 67㎡/80人), 第1集会室(33. 06㎡/20人), 第2集会室(39. 75㎡/30人・和室), 第3集会室(52. 93㎡/30人・和室) 調理室(40. 47㎡/24人), 事務室 他
	函館市戸井 西部総合センター	H 28. 4. 1	818. 09㎡	≪構造≫ 鉄骨造平屋建, 敷地27, 168. 00㎡ ≪概要≫ 集会ホール, 研修室, 和室1・2, 調理室, 事務室 他
	函館市戸井 生涯学習センター	H 10. 4. 1	694. 62㎡	≪構造≫ 木造一部鉄骨造平屋建, 敷地3, 119. 05㎡ ≪概要≫ 講堂, 研修室(A, B, C), 茶室, 調理実習室, 工房
	函館市戸井 総合学習センター	S 53. 10. 1	1, 628. 00㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地1, 483. 44㎡ ≪概要≫ 大会議室, 小会議室, 研修室, 研修会議室, 青年研修室, 調理実習室
	函館市榎法華 総合センター	S 55. 9	1, 444. 25㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建 ≪概要≫ 大ホール, 研修室(第1, 第2, 第3), 会議室, 調理実習室 視聴覚室, プレイルーム, 控室
	函館市 南茅部総合センター	S 47. 9. 2	1, 409. 69㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建, 敷地3461. 48㎡ ≪概要≫ 講堂(298. 57㎡/384人), 第1会議室(35. 52㎡/30人) 第2会議室(35. 52㎡/30人), 第1研修室(67. 46㎡/45人) 第2研修室(88. 63㎡/70人), 調理室(72. 88㎡/24人) 図書室(56. 43㎡/20人), ロビー, 事務室 他
	函館市 青年センター	S 44. 5. 17	1, 786. 20㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造2階建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館) 敷地2, 360㎡ ≪概要≫ 体育館(540㎡), 音楽視聴覚室(46㎡/15人), 調理実習室(44㎡/15人), 第1クラブ室(59㎡/24人), 第2クラブ室(30㎡/15人), 会議室(84㎡/48人), 相談室(22㎡), 和室(14畳/10人), ロビー(163㎡), 談話コーナー(41㎡), 事務室 他
	函館市青少年 研修センター (ふるる函館)	H 8. 7. 21	2, 178. 48㎡	≪構造≫ 木造2階建(宿泊棟), 鉄骨造平屋建(研修棟・体育館) 鉄筋コンクリート造平屋建(浴室棟), 敷地8, 395. 02㎡ ≪概要≫ 研修室(大研修室/120人, 中研修室/50人, 小研修室/30人) 体育館(445. 50㎡), 宿泊室(洋室12室/80人, 和室2室/40人) 食堂(120人), メモリアルホール 他
函館市 亀田青少年会館	S 47. 4. 3	514. 05㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造平屋建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館), 敷地3, 372. 12㎡ ≪概要≫ 体育室(286. 00㎡), 研修室(63. 90㎡/30人), 事務室 他	

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学習活動拠点施設	函館市中央図書館	H17. 11. 27	7,687.13㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階地上2階建 《概要》 エントランススペース(629.48㎡), 開架スペース(2,921.53㎡), 視聴覚ホール(287.44㎡/152人), レファレンスコーナー(552.41㎡), 読書テラス(137.89㎡) 大研修室(105.38㎡/50人), 中研修室(50.82㎡/30人), 小研修室29.65㎡/10人, ボランティアルーム(3室/計60.09㎡), 開架書庫(504.72㎡), 貴重資料室(36.45㎡) 他
	函館市千歳図書館	H15. 4. 4	551.29㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建(187.84㎡) 《概要》 開架書架(363.45㎡), 書庫, 事務室 他
	函館市湯川図書館	S 57. 11. 15	110.20㎡	《概要》 開架書架(68.0㎡), 読書コーナー(2.0㎡) 児童コーナー(12.0㎡), 事務室(12.0㎡) 他
	函館市旭岡図書館	H2. 1. 12	181.32㎡	《概要》 開架書架(115.40㎡), 読書コーナー(4.0㎡) 児童コーナー(8.0㎡), 事務室(14.3㎡) 他
	函館市港図書館	H8. 4. 2	255.59㎡	《概要》 開架書架(187.13㎡), 事務室(15.23㎡) 他
	函館市桔梗配本所	S 53. 5. 25	26.00㎡	《概要》 児童コーナー(26.00㎡)
学習活動援助施設	市立函館博物館 (現博物館)	S 41. 4. 28	2,502.39㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地900.00㎡ 《概要》 展示室(1,175.66㎡), 収蔵庫(291.16㎡), 研究室(115.31㎡) 図書室(38.55㎡), 集会室(78.53㎡), 事務室(52.10㎡) 他
	市立函館博物館 郷土資料館	S 44. 11. 1	286.75㎡	《構造》 耐火煉瓦造2階建, 敷地191.99㎡
	函館市重要文化財 旧函館区公会堂	S 58. 4. 27	1,900.12㎡	平成30年10月から保存修理工事のため休館中
	函館市北洋資料館	S 57. 9. 16	665.34㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造平屋建, 敷地(芸術ホール敷地内) 《概要》 展示室(334.80㎡) 他
	函館市文学館	H5. 4. 1	1,026.86㎡	《構造》 煉瓦および鉄筋コンクリート造陸屋根3階建, 敷地970.80㎡ 《概要》 展示室(624.93㎡), 収蔵庫(30.18㎡), 資料保存室(53.97㎡) 事務室 他
	函館市 北方民族資料館	H5. 4. 1	3,043.11㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造地下1階付陸屋根4階建, 敷地1,735.74㎡ 《概要》 展示室(613.82㎡), 収蔵庫(346.70㎡), 研修室(74.40㎡) 事務室 他 ※(H元・11・3函館市北方民族資料館・石川啄木資料館として開館)
	箱館奉行所	H22. 7. 29	979.40㎡	《構造》 木造平屋建(一部:太鼓櫓5層)
	函館市縄文文化交流センター	H23. 10. 1	1,733.43㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建, 敷地7,140.65㎡ 《概要》 展示(4室), 体験学習室, 図書資料室, 多目的スペース, 事務室他
函館市南北海道 教育センター	S 49. 9. 1	1,946.35㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造2階建, 敷地3,608.70㎡ 《概要》 会議室4, 研修室2, 音楽室, 資料室, 理科室2, 視聴覚研修室 録音室, 語学室, 技術室 他	
芸術活動・観覧施設	函館市民会館	S 45. 7. 1		平成29年11月から耐震等改修工事のため休館中
	函館市芸術ホール (ハーモニー五稜郭)	H10. 5. 9	5,945.71㎡	《構造》 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建(一部鉄筋コンクリート造) 敷地13,068.50㎡ 《概要》 ホール(固定席708席, 移動席130席, 車イス席4席), 楽屋3室, ギャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室(1号・27㎡/2号・20㎡), 会議室(56㎡), 録音調整室(10㎡), 事務室 他

函館市公民館・亀田公民館

1 施設の概要

(1) 公民館

- ・設 立 昭和22年5月3日
- ・所 在 地 函館市青柳町12番17号
(TEL22-3320・FAX22-8196)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(本館),
レンガ造2階建及び木造平屋建(別館)
- ・敷地面積 1,302.11㎡
- ・建物延面積 1,177.03㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 282人(固定席)
第1集会室 ～ 50人(机30人, 椅子50人)
第2集会室 ～ 40人(机24人, 椅子40人)
第3集会室 ～ 15人(机10人, 椅子15人)
陶芸実習室 ～ 16人

(2) 亀田公民館

- ・設 立 昭和38年6月29日
- ・所 在 地 函館市富岡町1丁目18番3号
(TEL・FAX41-2445)
- ・構 造 木造モルタル2階建
- ・敷地面積 760.00㎡
- ・建物延面積 489.24㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 80人(机 50人, 椅子80人)
第1集会室 ～ 20人(机 10人, 椅子20人)
第2集会室 ～ 30人(座卓26人, 座 30人)
第3集会室 ～ 30人(座卓24人, 座 30人)
調 理 室 ～ 24人

(3) 開館時間, 休館日

- ・開 館 時 間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 月曜日(月曜が祝日の時は火曜日), 国民の祝日,
年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

社会教育法に基づき地域住民の実生活に即する教育, 学術および文化に関する各種事業を実施し, 地域住民の教養の向上, 健康増進, 情操の純化を図り生活文化の振興, 社会福祉の増進に寄与するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館としてその機能発揮に努める。また, 勤労者向けの講座や, 人づくりを主眼とした講座を重視しながら地域住民に社会教育, 生涯教育の浸透を図る。

3 主要事業

- ・公民館講座, 高齢者大学青柳校, 異世代音楽交流会, 公民館コンサート ほか
- ・亀田公民館講座, 異世代フラダンス交流会, ざいだん地域講習会 ほか

4 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
公 民 館	25,398人	25,205人	30,788人
亀田公民館	16,423人	15,178人	15,622人
計	41,821人	40,383人	46,410人

函館市戸井西部総合センター

1 施設の概要

- ・設 立 平成28年4月1日
- ・所 在 地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 27,168.00㎡ (戸井運動広場用地内)
- ・建物延面積 818.09㎡
- ・建物内容 集会ホール (207.48㎡), 研修室 (83.72㎡)
和室1 (22.79㎡), 和室2 (23.60㎡)
調理室(53.34㎡), 事務室(24.44㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 年末年始 (12月29日～1月3日)

2 施設の特徴

市民の生涯学習やコミュニティ活動, また, 郷土資料の展示や災害時の避難所などの機能を併せ持った施設。

3 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動, および地域における集会の場を提供し, 施設の機能発揮を図る。

4 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	6,733人	6,993人	7,127人

函館市戸井生涯学習センター

1 施設の概要

- ・設 立 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町33番地2 (TEL82-2234)
- ・構 造 木造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 3,119.05㎡
- ・建物延面積 694.62㎡
- ・建物内容 講堂 (223.56㎡), 研修室A (34.02㎡)
研修室B (28.35㎡), 研修室C (102.06㎡)
茶室(34.02㎡), 工房(34.02㎡), 調理実習室(45.36㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日～1月3日)

2 施設の特徴

陶芸の工房や茶室を備えた, 各種教室などに使用される市民の生涯学習活動施設。

3 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動, および地域における集会の場を提供し, 学習センター施設の機能発揮を図る。

4 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	2,432人	3,396人	1,926人

函館市戸井総合学習センター

1 施設の概要

- ・設 立 昭和53年10月1日
- ・所 在 地 函館市浜町308番地1 (TEL82-3111)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 1,483.44㎡
- ・建物延面積 1,628.00㎡
- ・建物内容 大会議室(496.4㎡),
研修会議室(244.75㎡),
青年研修室(57.75㎡), 研修室(52.5㎡),
小会議室(58.85㎡), 調理実習室(57.75㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始(12月29日～1月3日)

2 施設の特徴

ステージ照明を備えた大会議室や, ステージ付の和室(研修会議室)があり, 文化祭や各種講演会開催のほか, 地域の集会等にも利用される施設。

3 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し, もって市民の生涯学習活動の振興と学習センター施設機能の発揮を図る。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	1,450人	1,764人	1,376人

函館市椴法華総合センター

1 施設の概要

- ・設 立 昭和55年9月
- ・所 在 地 函館市新浜町156番地1 (TEL86-2451・FAX86-2838)
- ・構 造 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建
- ・敷 地 椴法華支所用地内
- ・建物延面積 1,457.17㎡
- ・建物内容 大ホール 440.00㎡(内舞台100.00㎡) 固定席無し 収容人数 約450人
第1研修室 和室46.74㎡ 収容人数 約30人
第2研修室 洋室56.26㎡ 収容人数 約20人
第3研修室 和室36.85㎡ 収容人数 約15人
会 議 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
視 聴 覚 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
調理実習室 90.20㎡ 調理実習台7台設置(内1台講師用) 収容人数 約24人
プレイルーム 34.10㎡ 収容人数 約10人
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 日曜日および土曜日, 国民の祝日, 年末年始(12月29日～1月3日)

2 施設の特徴

函館市椴法華支所と隣接し、椴法華地域の市民が集会等に利用しやすいよう、大ホール等様々な広さの研修室を備え、平成23年度には、利用者の安全性や利便性の向上を図るため、自動ドアやエレベーター、障がい者用トイレを設置するなど、バリアフリー化改修工事を行い、高齢者や障がい者対応の施設。また、生涯学習関係事業や行政関係事業等、各種事業の会場としても利用されている。

3 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し、もって市民の生涯学習活動の振興に資する。

4 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	3,862人	3,739人	1,479人

函館市南茅部総合センター

1 施設の概要

- ・設 立 昭和47年9月2日
- ・所 在 地 函館市川汲町1520番地4 (TEL25-3789・FAX25-3790)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
- ・敷地面積 3,461.48㎡
- ・建物延面積 1,409.69㎡
- ・建物内容 講 堂 : 384人 (椅子384人)
第1会議室 : 30人 (椅子 30人) , 第2会議室 : 30人 (椅子 30人)
第1研修室 : 45人 (椅子 45人) , 第2研修室 : 70人 (椅子 70人)
調理室 : 24人, 図書室 : 20人
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休 館 日 土・日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日~1月3日)

2 施設の特徴

南茅部地域の中心部に位置し、講堂、会議室、調理室、図書室等を備え、同地域の社会教育行政の中心的役割を果たしている。

3 運営の方針

函館市民憲章ならびに函館市教育目標に基づき、総合センターが学習の場、ふれあいの場、憩いの場として市民の生涯にわたる自主的な社会教育活動を促進するとともに、生涯学習体制の確立を目指し、社会連帯意識の向上を図り、明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす総合センターとして、その機能発揮に努める。

4 主催事業 (南茅部教育事務所事業)

- 文化振興事業 — 南茅部地域文化祭
- 青少年事業 — 親子わくわくキャンプ, 親子でおもちゃ作り&もちつき大会
函館市南茅部沿岸漁業大学事業 (外郭団体)
- 沿岸漁業大学事業 — 資格取得講座, 女性専科講座, 高齢者専科講座, 市民教養講座, 専修課程講座

5 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	6,708人	5,697人	7,224人

函館市青年センター

1 施設の概要

- ・設 立 昭和44年5月17日
- ・所 在 地 函館市千代台町27番5号(TEL51-3390)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建(本館)
鉄骨造平屋建(体育館)
- ・敷地面積 2,360㎡
- ・建物延面積 1,786.20㎡
- ・建物内容 体育館, 会議室, 第1クラブ室,
第2クラブ室, 音楽視聴覚室,
調理実習室, 和室, ロビー,
談話コーナー, 相談室, 事務室

2 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 水曜日(夜間臨時開館実施), 年末年始(12月31日～1月3日)

3 運営の方針

- ・青少年の教養の向上, 健康の増進ならびに情操の純化を図る。
- ・函館市における青少年の交流・情報発信・学習育成・余暇活動の拠点となるべく努める。
- ・サークル活動や社会活動にすでに参加し, もしくは参加しようとしている青少年へのサポートやアドバイスを行う。
- ・青少年の健全育成に不可欠な幅広い年代層との交流を促進するため, 広く一般にも施設や主催講座を開放する。
- ・施設の知名度向上および利用促進のため, 各種団体等の事業および市民による活動発表等に積極的に施設を貸し出す。

4 施設の特徴

函館市の中心部, 各種スポーツ施設のある千代台公園の入口に位置し, 交通至便で若者がふれあい, 語らい, 憩う場として気軽に利用できる体育館や活動室を備えた勤労青少年の活動施設。

5 利用対象

- ・勤労青少年(15歳以上29歳未満は無料)
- ・一般市民(勤労青少年の利用がない場合, 有料で利用できる)
- ・ロビーは一般市民も無料で利用できる。

6 主催事業

教養講座, 国際交流事業, 青年センターフェスティバル, 若者の居場所づくり事業 他

7 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
主催(共催)事業	5,134人	4,645人	5,389人
青年利用	15,115人	12,815人	12,766人
一般利用	49,551人	46,435人	42,594人
計	69,800人	63,895人	60,749人

函館市青少年研修センター（ふるる函館）

1 施設の概要

- ・設 立 平成8年7月21日
- ・所 在 地 函館市谷地頭町5番14号
(TEL23-5961・FAX23-1315)
- ・構 造 木造2階建（宿泊棟）
鉄筋コンクリート造平屋建（浴室棟）
鉄骨造平屋建（研修棟・体育館）
- ・敷地面積 8,395.02㎡
- ・建物延面積 2,178.48㎡
- ・建物内容 宿泊室（収容人員120名）
洋室宿泊室：4名定員2室, 6名定員8室,
12名定員2室
和室宿泊室：20名定員2室
研修室：大研修室120名, 中研修室50名,
小研修室30名, 体育館, 食堂, メモリアルホール等
- ・休 館 日 月曜日, 祝日, 年末年始（12月29日～1月3日）, 器材点検日（随時）

2 施設の特徴

「青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の場」としての施設。函館山東側山麓に位置し、周囲には立待岬や函館公園などがあり、歴史的建造物の点在する西部地区にも徒歩で行けるなど、歴史学習や自然観察など利用目的に合わせ、幅広い研修が可能。

3 運営の方針

次に掲げる事項に留意して運営を行うものとする。

- ・立地条件を生かした特色ある事業や運営を行うよう努める。
- ・利用者の年齢および利用目的に応じた運営を行うよう努める。
- ・広く青少年教育関係者の理解と協力を得るよう努める。
- ・民間有志指導者（ボランティア）の協力を得るよう努める。
- ・社会教育関係機関との連携に努める。
- ・利用者の安全に努める。

4 利用対象

原則として小学生以上で、具体的な研修計画を有し、引率者（指導者）がいる5人以上の団体とする。

5 研修活動

① 主催事業

- ・青少年向け宿泊型プログラム（野外体験, ボランティア体験, 国際交流等）
- ・青少年向け日帰型プログラム（自然体験, 工作体験, 国際交流, 郷土教育等）
- ・一般市民, 指導者向け青少年活動に関わる研修講座（救命救急講習等）
- ・一般市民, ボランティア希望者向けボランティア育成に関わる研修講座（ボランティア体験学習）
- ・その他（ふるる祭）

② 施設利用者向けプログラム

- ・各種体験プログラム（自然体験, 工作体験, 歴史体験等）
- ・各種食育プログラム（郷土料理, お菓子, 野外炊事等）

6 施設の利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
宿泊利用者数	13,141人	13,074人	13,069人
日帰利用者数	15,071人	11,716人	15,526人
合 計	28,212人	24,790人	28,595人

函館市亀田青少年会館

1 施設の概要

- ・設 立 昭和47年4月3日
- ・所 在 地 函館市亀田本町19番21号
(TEL41-4383)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造平屋建（本館）
鉄骨造平屋建（体育館）
- ・敷地面積 3,372.12㎡
- ・建物延面積 514.05㎡
- ・建物内容 体育室，研修室，ロビー，事務室等

2 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日，年末年始（12月31日～1月3日）

3 運営の方針

- ・地域社会を取り巻くいろいろな問題を解決するため，子ども達の居場所づくりを推進し，子ども達の育ちを喜びあえる地域社会づくりを目指す。
- ・季節毎の行事・ものづくり教室・レクリエーションを通して，子ども達や保護者が楽しく利用できる施設として運営する。
- ・体育室をバスケットタイムとして開放することで，中高生・勤労青少年の利用を促す。
- ・町会活動と連携を図り，地域と一体となった運営を行うことで，地域コミュニティの再生を図る。

4 主催・共催事業

- ・花壇づくり
- ・ものづくり教室
- ・スポーツ教室（卓球など）
- ・文化教室（英語など）
- ・お誕生会や季節毎の行事（七夕・クリスマス・ひなまつりなど） など

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
主 催 事 業	13,665人	12,937人	11,046人
共 催 事 業	5,144人	3,701人	3,333人
優 先 利 用	13,742人	10,005人	9,975人
一 般 利 用	5,784人	5,833人	6,912人
計	38,335人	32,476人	31,266人

函館市中央図書館

1 施設の概要

(1) 中央図書館

- ・設 立 平成17年11月27日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町26番1号
(TEL35-5500 FAX35-5525)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地下1階地上2階建
- ・敷地面積 11,707.81㎡
- ・建物延面積 7,687.13㎡
- ・収蔵冊数 750,018冊

(2) 各図書室等

- ・千歳図書室 (函館市千歳町15番10号 TEL23-9811 蔵書数: 41,977冊)
- ・湯川図書室 (函館市湯川町2丁目40番13号 TEL57-4120 蔵書数: 22,757冊)
- ・旭岡図書室 (函館市西旭岡町2丁目51番地12 TEL50-2340 蔵書数: 16,182冊)
- ・港図書室 (函館市港町2丁目7番1号 TEL43-8211 蔵書数: 23,996冊)
- ・桔梗配本所 (函館市桔梗4丁目1番18号 TEL47-1510 蔵書数: 7,808冊)
- ・移動図書館 (ともしび号 TEL35-5500 蔵書数: 16,931冊)

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 中央図書館 午前9時30分～午後8時 (視聴覚ホール・研修室は午後9時)
各図書室 午前10時～午後5時
旭岡図書室 午後1時～午後5時
桔梗配本所 午後1時～午後4時45分 (土曜日および学校の長期休業日は午前10時開館)
- ・休館日 中央図書館 水曜日, 年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)
各図書室 月曜日(桔梗配本所は日曜日), 祝休日,
年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)

2 運営の方針

図書館においては, 今後ますます進展する情報化社会において, 市民の学習意欲の高揚に即応できるよう「親しまれ, 信頼される図書館」づくりを基本方針とし, 多様な市民要求に応えられるよう, 適切な資料の収集充実に努める。また, より高密度な奉仕体制をめざして, 逐次地域図書館施設, 移動図書館車による図書館奉仕網の整備促進と他の関係機関および関連施設との連携に努め, 生涯学習の推進に資する。

3 サービス体制

- ・個人貸出し— 市民在住者および通勤通学者を対象に貸出 (貸出期間-2週間)
- ・予約制度— 読みたい本の予約とリクエストができる
- ・レファレンス— 調査研究や図書・読書に関する相談
- ・複写サービス— 図書館資料の複写サービスのため複写機を設置
- ・障害者サービス— 視力障害者に対する点字図書, 録音テープの貸出

4 図書館資料利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
貸出人数 (総数)	311,434人	299,405人	293,466人
貸出冊数 (総数)	1,271,020冊	1,228,329冊	1,222,233冊
蔵書数 (総数)	867,664冊	881,717冊	879,669冊

市立函館博物館

1 施設の概要

(1) 博物館

- ・設 立 明治12年5月25日
- ・所 在 地 函館市青柳町17番1号
(TEL23-5480・FAX23-0831)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 900㎡
- ・建物延面積 2,502.39㎡
- ・常設展示 北海道の旧石器時代を代表する樽岸の石器
市内各遺跡等の発掘資料, 志海苔古銭
ブラキストンの石斧, 箱館戦争関係資料
高松凌雲の医療器具, 明治の函館博物館資料
各種絵画および美術工芸品

(2) 郷土資料館 (旧金森洋物店)

- ・設 立 昭和44年11月1日
- ・所 在 地 函館市末広町19番15号
(TEL・FAX23-3095)
- ・構 造 耐火煉瓦造2階建
- ・敷地面積 191.99㎡
- ・建物延面積 286.75㎡
- ・常設展示 明治13年の金森洋物店建築時を再現し,
明治のハイカラ文化, 伝統的建造物群を紹介

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 (4月1日～10月31日)午前9時～午後4時30分
(11月1日～3月31日)午前9時～午後4時
- ・休館日 月曜日, 祝日, 毎月の最終金曜日, 年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

総合博物館として, 市民の生涯学習推進, 調査研究, レクリエーションに資するため, 博物館体制の充実および博物館活動の促進を図り, 教育・学術文化の発展に努める。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
企 画 展	「北の昆布展」	7月10日～9月9日
博 物 館	自然, 考古, 歴史, 民俗, 民族, 美術 14講座	5月～11月

4 入館状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
博 物 館	10,313人	9,583人	11,655人
郷 土 資 料 館	5,603人	7,346人	7,117人
計	15,916人	16,929人	18,772人

函館市重要文化財旧函館区公会堂

※平成30年10月から保存修理工事のため休館中

1 施設の概要（保存修理工事前）

- ・開館 昭和58年4月27日
(明治43年9月20日公会堂として開堂)
- ・所在地 函館市元町11番13号 (TEL22-1001・FAX22-8284)
- ・構造 木造2階建棧瓦葺(本館)
木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟)
- ・敷地面積 7,631.10㎡
- ・建物延面積 1,900.12㎡
- ・重要文化財指定 昭和49年5月21日

2 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日), 午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・臨時開館 午前9時～午後3時(1月1日～1月3日)
- ・休館日 年末(12月31日), 館内整理日(随時)

3 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・北方民族資料館, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

4 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

令和元年度(2019年度)は保存修理工事のため未実施

5 入館状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	141,618人	123,945人	80,825人
団体利用	32,790人	28,161人	13,708人
計	174,408人	152,106人	94,533人

※平成30年度は休館になる前までの実績

函館市北洋資料館

1 施設の概要

- ・開館 昭和57年9月16日
- ・所在地 函館市五稜郭町37番8号 (TEL55-3455・FAX55-3586)
- ・構造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 665.34㎡

2 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時 (4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時 (11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始 (12月31日～1月3日), 館内整理日 (随時)

3 入館料

- ・一般～100円, 学生・生徒・児童～50円
(団体10人以上は一般～80円, 学生・生徒・児童～40円)

4 展示の内容

展示室は334㎡で3つのコーナーに分かれ, 約500点を展示

- ・むかしの北方漁業
漁業の始まりから北方民族漁業, 和人の進出とニシン・サケ漁, 樺太・南千島の漁業開発, そして明治時代までを実物・写真などで紹介している。
- ・北洋漁業の歩み
北洋漁業の概要をはじめ, カニ網, サケ・マス流し網, 底びき網の各漁業, そして北洋基地「函館の歴史」などを実物・模型・写真を使って立体的に展示している。
- ・200海里時代とこれからの北洋漁業
これからの漁業の将来展望を50枚のスライドを使い解説するマルチ映像, 北洋のサケなどの漁場をボタン操作で確認できる模型を展示している。
- ・その他, 荒海を独航船で行く「3分間北洋航海体験室」がある。

5 主催事業 (文化・スポーツ振興財団事業)

- ・貝殻でつくろう!, 函館の「海と港」児童絵画展, 冬休み特別企画「クイズで知ろう☆北洋漁業」

6 入館状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	11,518人	12,578人	13,111人
団体利用	1,937人	1,751人	1,493人
計	13,455人	14,329人	14,604人

函館市文学館

1 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
- ・所在地 函館市末広町22番5号
(TEL22-9014・FAX22-9065)
- ・構造 煉瓦および鉄筋コンクリート造
陸屋根3階建
- ・敷地面積 970.80㎡
- ・建物延面積 1,026.86㎡

2 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

3 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 北方民族資料館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

4 展示内容

- ・1階展示ホール＝函館ゆかりの作家たち
函館の歴史的歩みを背景に、明治期以降の日本文学史の流れの中で、北海道・函館文学をみつめ、函館の風土性、郷土性が生み出した著名な作家たちを紹介する。
[主な作家～高橋掬太郎, 久生十蘭, 長谷川海太郎, 亀井勝一郎, 井上光晴, 梁川剛一, 辻仁成, 佐藤泰志, 宇江佐真理ほか]
- ・2階展示ホール＝漂泊の詩人石川啄木
函館生活から始まる北海道漂泊時代、啄木が生まれ育った漁民・盛岡時代、そして独自の文学を形成した在京時代と、啄木26年と2ヶ月の生涯を詳しく紹介し、特別展示室では、今まで公開される機会の少なかった啄木の自筆資料を展示している。
[日記, ノート類, 宮崎郁雨あて書簡など]

5 主催事業

- ・石川啄木講座, 連続講座「函館・文学の散歩道」, 文学館講演会, 文学の夕べ, 中庭テラス読み聞かせ会, 企画展 他

6 入館状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	18,151人	16,996人	13,797人
団体利用	963人	888人	769人
計	19,114人	17,884人	14,566人

函館市北方民族資料館

1 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
(平成元年11月3日函館市北方民族資料館
・石川啄木資料館として開館)
- ・所在地 函館市末広町21番7号
(TEL22-4128・FAX 22-8874)
- ・構造 鉄筋コンクリート造地下1階
付陸屋根4階建
- ・敷地面積 1,735.74㎡
- ・建物延面積 3,043.11㎡

2 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

3 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

4 展示内容

明治の初め、開拓使等が収集した市立函館博物館旧蔵資料、北方民族学の世界的研究者・馬場脩、児玉作左衛門が収集した、国指定重要有形民俗文化財を含むアイヌ・ウィルタなどの北方民族資料を中心に収蔵。展示ホールと1～7の展示室に「装いの美学」「北の神々」「暮らしの中の手仕事」「北方民族HAKODATE COLLECTION」「あそびの世界」「アイヌ民族学の先駆者たち」「アイヌ絵の世界」のテーマ別に資料を展示する。アイヌ民族文様を刺繍・彫刻した衣装や生活用具、母から娘へと受け継がれてきたアイヌの首飾り(タマサイ)、大陸との交易で手に入れた山丹服(蝦夷錦)、アリュート民族がラッコ猟などに使用した三人乗りの皮舟(バイダルカ)など、300点を超える貴重な資料を見ることができる。

5 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・北方民族資料館講座, 体験学習講座, バックヤードツアー 他

6 入館状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	27,460人	26,251人	25,195人
団体利用	2,888人	2,810人	3,127人
計	30,348人	29,061人	28,322人

箱館奉行所

1 施設の概要

- ・設 立 平成22年7月29日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町44番3号
- ・構 造 木造平屋建（一部：太鼓櫓は5層）
- ・建物延面積 979.40㎡
- ・開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後6時
11月1日～3月31日 午前9時～午後5時
- ・休 館 日 12月31日～1月3日

2 施設の特徴

建築当時と同じ位置に、建築資材の産地や種類、部材の寸法や仕上げ、工法までも精密に再現。

3 入館料

- 一 般 個人500円、団体（20名以上）400円
- 学生・生徒・児童 個人250円、団体（20名以上）200円

4 運営の方針

五稜郭跡および箱館奉行所の歴史を紹介することにより、もって市民の文化的向上に寄与する。

5 展示の内容

日本伝統建築による建物再現、五稜郭と箱館奉行所の歴史解説、建築関連出土遺物の展示 等

6 入館状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	179,032人	160,905人	150,086人

函館市縄文文化交流センター

1 施設の概要

- ・設 立 平成23年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町551番地1
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・建物延面積 1,733.43㎡
- ・開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後5時
11月1日～3月31日 午前9時～午後4時30分
- ・休館日 毎週月曜日（月曜が休日の場合は、その日に最も近い平日）、毎月最終金曜日、
年末年始（12月29日～1月3日）

2 施設の特徴

国宝「中空土偶」ほか市内の縄文時代の遺跡から出土した遺物を展示・公開する登録博物館であり、「道の駅」機能も備えている（「道の駅」縄文ロマン南かやべ）。

3 入館料

- 一 般 個人300円、団体（20名以上）240円
- 学生・生徒・児童 個人150円、団体（20名以上）120円

4 運営の方針

函館市の縄文時代の貴重な文化遺産を市民共有の歴史的資産として次代に引き継ぎ、それらを活用して地域間交流や各種事業を展開することにより、文化財の保護とともに、個性豊かなまちづくりならびに地域振興に寄与することを目的とする。

5 展示の内容等

- ・国宝「中空土偶」をはじめ、市内の縄文時代の遺跡から出土した土器や石器等の遺物を展示
- ・土器づくりや縄文編み等の体験学習の実施および定期講座の開催

6 入館状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	19,688人	19,795人	18,752人

函館市民会館

※平成29年11月から耐震等改修工事のため休館中

1 施設の概要（改修前）

- ・設 立 昭和45年7月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番1号
(TEL57-3111・FAX57-3115)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階地上3階建
- ・建物延面積 7,277.33㎡
- ・建物内容 大ホール 固定席1,370席
(車いす使用席12席含む)
楽屋5室, 舞台243㎡
小ホール 椅子500席
大会議室 椅子300席
展示室(展示用360㎡)
小会議室1号(応接室風72㎡・30人)
小会議室2号(円卓会議室風72㎡・26人)
和室(28畳・40人), 事務室, 応接室等

2 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

3 運営の方針

優れた舞台芸術の発表や鑑賞の場として, 市民の文化意識の高揚を図るとともに, ホールとして市民に親しまれ活用される運営に努める。また, 市民の創造的な文化活動を助長する事業を展開・推進することにより, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業を行う。

4 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

耐震等改修工事のため未実施

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大ホール	104,340人	75,959人	—
小ホール	45,105人	32,066人	—
大会議室	19,090人	14,731人	—
その他諸室	28,515人	18,104人	—
計	197,050人	140,860人	—

※平成29年度は休館になる前までの実績

函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）

1 施設の概要

- ・設 立 平成10年5月9日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町37番8号
(TEL55-3521・FAX55-3586)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階
地上4階建（一部鉄筋コンクリート造）
- ・建物延面積 5,945.71㎡
- ・建物内容 ホール 目的に応じて音楽舞台と
多目的舞台に転換
音楽舞台 [最大幅17m×高さ11m×奥行9.5m] 712席
多目的舞台[プロセニウム幅13.8m×高さ6～8m(可動式)×奥行12.5m,全幅30m] 842席
(各車イス使用席4席含む)
楽屋3室
ギャラリー(400㎡),リハーサル室(182㎡),練習室1号(27㎡),練習室2号(20㎡),
録音調整室(10㎡),会議室(楽屋として使用可56㎡),
オープンギャラリー,カフェテラス,事務室,応接室 等

2 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)

3 運営の方針

市民の芸術・文化活動の創作,発表の場,質の高い音楽演奏などを提供する場として,地域の芸術・文化振興の核となる運営に努める。また,ギャラリーやオープンギャラリーなどの施設を有効に活用し,市民会館とあわせ,市の活性化とまちづくりに寄与するとともに,市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業の実施に努める。

4 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業～キッズフェスティバル,リサイタル・シリーズ,スプリング・コンサート 他
- ・参加創造型事業～市民文化祭(展示部門,舞台部門)
- ・育成学習型事業～函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ,演劇ワークショップ,バックステージツアー 他
- ・奨励型事業～HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL,市民美術展「はこだて・冬・アート展」 他

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ホ ー ル	57,468人	65,907人	94,197人
リハーサル室	10,471人	10,227人	12,155人
ギ ャ ラ リ ー	18,812人	17,172人	20,024人
そ の 他 諸 室	7,553人	8,460人	17,223人
計	94,304人	101,766人	143,599人

(2) スポーツ施設の概要一覧

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
千代台公園陸上競技場	千代台町 22-24	S36.10.29 (H11.3改修)	31,200	20,400	第2種公認 全天候トラック9レーン スタンド収容人員15,000人
野球場					
千代台公園野球場	千代台町 22-26	S26.7.4 (H6.3改修)	23,400	13,650	両翼99.1m, 中堅122m スタンド収容人員20,000人
新川公園野球場	上新川町 18	S23	8,158	6,700	スタンド収容人員100人
根崎公園野球場	高松町 29	S49.9.1	12,100	11,000	スタンド収容人員450人 ダッグアウト(2ヶ所)各15㎡
西桔梗野球場	西桔梗町 252-27	H19.5.1	24,032	10,600	両翼99m, 中堅115m ダッグアウト(2ヶ所) 照明設備 スタンド収容人員270人
運動広場					
根崎公園少年運動広場	高松町 581	S57.10.25	6,090	4,950	少年野球・少年サッカー
函館市 戸井運動広場	小安町 525-1	S61.4.1	27,168		多目的グラウンド, テニス・ゲートボールコート
函館市 恵山運動広場	川上町 511	S54.6.9	9,207.5		グラウンド
函館市 南茅部運動広場	川汲町 1657(効)	H元4.1	35,889.91		野球場, グラウンド, 管理棟, 駐車場
球技場					
函館フットボールパーク	日吉町4丁目 7-1(効)	H27.4.1 (名称変更) ※新規施設につ いてはH27.8.1供 用開始	92,336.02	30,612	天然芝サッカーグラウンド2面, 人工芝多目 的グラウンド2面, フットサルコート3面, クラブハウス
根崎公園ラグビー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	20,400	13,500	スタンド収容人員3,000人
庭球場					
函館市 青柳市民庭球場	青柳町 9	S15.8.1	2,380	1,600	クレイコート2面, 更衣室, トイレ
千代台公園庭球場	千代台町 27-2	S43.4.1 (H3~5改修)	12,900	7,600	砂入人工芝10面, 夜間照明設備 クラブハウス
NHK広場テニスコート	富岡町3丁目 21	S49.8.20	2,400	1,400	アスファルトコート2面
函館フットボールパーク	日吉町4丁目 7-1	H27.4.1 (名称変更)	3,864	3,400	クレイコート5面
函館市 南茅部市民庭球場	白尻町 327-3	H2.10.1	3,562	1,672	ゴムチップウレタンコート2面

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
総合体育館					
函館アリーナ	湯川町1丁目 32-2	H27.8.1	23,665.35		メインアリーナ2,860㎡ 収容人員5,000人
函館市 恵山総合体育館	川上町 506	S49.4.1	1576.33		アリーナ, 控室, 幼児コーナー
函館市南茅部 スポーツセンター	白尻町 604-1	S59.7.1	2,291.90		アリーナ, 研修室兼柔剣道室 研修室兼トレーニング室, 控室
プール					
函館市民プール	千代台町 22-25	S46.7.20 (S61.6改修)	6,701.01		50m×21m 8コース (日本水泳連盟公認) 25m×16m 7コース
函館市 南茅部プール	尾札部町 1608-1	H10.4.1	1,667.08		25m×13m 6コース 低学年プール, ジャグジープール
千代台公園弓道場	千代台町 27-8	S32.8.28 (H12.7改修)	512		道場169㎡ 的数5ヶ 射程距離28m
根崎公園アーチェリー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	4,140		射場2,700㎡ 的数14ヶ 射程距離90m
海水浴場					
函館市 入舟町前浜海水浴場	入舟町 22番地先	S55		3,000	遊泳区域60m×50m トイレ, 更衣室
函館市 白尻スキー場	白尻町 593-1	H2.1.10		25,000	ロープ塔 (第1・第2ゲレンデ) ロッジ 92.74㎡
函館市民スケート場	金堀町 10-8	H3.1.13 (H14.3改修)	5,024.4 (氷面積)	5,024.4 (氷面積)	スピードスケートリンク(1周250m) サブスケートリンク(29m×60m) 貸スケートコーナー

千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

1 施設の概要

- ・開 設 昭和26年7月4日
(全面改修 平成6年5月28日供用開始)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番26号
(TEL53-3210・FAX31-7460)
- ・施設面積 23,400㎡
- ・施設概要 グラウンド 13,650㎡
 - ・両翼99.1m, 中堅122m, 内野(クレイ), 外野(芝生), スタンド
 - ・収容人員 約20,000人
内野メインスタンド 鉄筋コンクリート造3階建
内野スタンド 盛土階段スタンド
外野スタンド 盛土芝生スタンド
 - ・主要諸室 事務室, 本部席, 審判席, 放送席, 役員席, 医務室,
公式記録員席, 会議室, ロッカールーム
シャワー室, トイレ, ブルベン, 運営準備室

2 供用期間

5月1日～10月31日

3 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・オーシャンスタジアム杯少年野球大会

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	42,537人	47,412人	30,719人

西 桔 梗 野 球 場

1 施設の概要

- ・開 設 平成19年5月1日
- ・所 在 地 函館市西桔梗町252番地27
(TEL・FAX49-3384)
- ・施設面積 24,032㎡
- ・施設概要 グラウンド 10,600㎡
 - ・両翼99m, 中堅115m, スタンド
 - ・収容人員 約270人 照明設備
 - ・主要諸室 事務室, ロビー, 更衣室
トイレ, 物品庫

2 供用期間等

5月1日～11月第2日曜日まで
供用時間 午前5時から午後10時まで

3 運営の方針

スポーツ振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	12,130人	9,347人	10,920人

函 館 市 戸 井 運 動 広 場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和61年4月1日
- ・所 在 地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・施設面積 27,168㎡
- ・施設概要 多目的グラウンド1面, テニスコート2面, ゲートボールコート2面, ランニングロード500m

2 供用期間等

4月1日～11月30日
供用時間 午前9時～午後5時30分
休 場 日 月曜日, 国民の祝日の翌日

3 運営の方針

市民がそれぞれの年齢と体力に応じてスポーツを楽しむと共に, 憩いの場として活用し, 心身ともに健康で明るい生活を送れるよう開放する。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	1,884人	1,742人	758人

函館市恵山運動広場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和54年6月9日
- ・所 在 地 函館市川上町511番地
- ・施設面積 9,207.50㎡
- ・施設概要 野球グラウンド1面, 器具室, トイレ

2 供用期間等

- 供用期間 1月4日～12月28日
- 供用時間 日の出から日没まで
- 休 場 日 月曜日・休日の翌日
1月1日～1月3日, 12月29日～12月31日

3 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与する。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用 者 数	423人	427人	132人

函館市南茅部運動広場

1 施設の概要

- ・開 設 平成元年4月1日
- ・所 在 地 函館市川汲町1657番地ほか (TEL25-5967)
- ・施設面積 35,889.91㎡
- ・施設概要 野球場 面積14,000㎡ 両翼90m,
中堅110m内野(クレイ), 外野(芝生)
スタンド 収容人員 約700人
 - 〔 内野スタンド 鉄筋コンクリート造(200人)
 - 〔 外野スタンド 盛土芝生スタンド(500人)
 本部室, ダッグアウト,
グラウンド(クレイ)
 - 〔 収容人員 約500人, 面積11,200㎡
 - 〔 トラック 300m×6, サッカー1面, ソフトボール2面,
管理事務室, トイレ, 休憩所, 器具庫

2 供用期間等

- 4月第4土曜日～10月第4日曜日
- 供用時間 午前5時～日没

3 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野 球 場	2,623人	3,193人	1,610人
グラウンド	2,659人	3,062人	1,987人
計	5,282人	6,255人	3,597人

函館フットボールパーク

1 施設の概要

- ・開 設 平成27年4月1日
- ・所 在 地 函館市日吉町4丁目7番1号, 19番1号
(TEL・FAX54-1960)
- ・施設面積 92,336.02㎡
- ・施設概要 天然芝サッカーグラウンド
2面(105m×68m),
人工芝多目的グラウンド2面(105m×68m)
※うち1面夜間照明有
フットサルコート3面(38m×18m, 人工芝) ※夜間照明有
テニスコート5面(クレー)
第1クラブハウス(鉄骨造2階建)335.36㎡
事務室, 大多目的室, シャワー室, トイレ(男女・身障者用), 器具庫, 物品庫
第2クラブハウス(木造2階建)453㎡
事務室, ロッカールーム, 中多目的室, 小多目的室, シャワー室, トイレ(男女・身障者用)
更衣室(木造平屋)25.6㎡
倉庫(軽量鉄骨造平屋)49.5㎡
駐車場276台(第1クラブハウス南側44台, テニスコート南・西側30台, 第2クラブハウス北側151台,
人工芝多目的グラウンドC東側51台)
ランニングコース(約800m)

2 供用期間等

- | | |
|---|---|
| 天然芝サッカーグラウンド | 5月1日から10月31日まで・午前8時から日没まで |
| 第1クラブハウス | 5月1日から11月30日まで・午前8時から日没まで |
| 人工芝多目的グラウンド [*] , フットサルコート, 第2クラブハウス | 3月1日から12月28日まで・午前8時から午後9時まで
※一部施設は日没まで |
| テニスコート | 5月1日から11月30日まで・午前8時から日没まで |

3 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
球技場	93,056人	82,957人	87,657人
庭球場	3,588人	1,046人	0人
計	96,644人	84,003人	87,657人

※平成30年度庭球場については、改修工事に伴い供用を中止していたため実績なし

根崎公園ラグビー場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番（根崎公園内）
- ・施設面積 20,400㎡
- ・施設概要 プレー面積13,500㎡（芝）
スタンド（3,000人収容）
更衣室，物品庫，ゴールポスト

2 供用期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

3 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	10,000人	9,680人	8,960人

千代台公園庭球場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和43年4月1日(改修 平成3～5年)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番2号
(TEL・FAX31-6993)
- ・施設面積 12,900㎡
- ・施設概要 テニスコート
砂入人工芝コート10面（プレー面積7,600㎡）
移動式ベンチ40基，審判台10基
夜間照明
メタルハイドランプ（1000W×80個）
4灯用12基，8灯用4基(いずれも電撃殺虫器付)
平均照度 800ルクス
放送設備
スピーカー8基，CDダブルカセットデッキ，マイクセット一式
観覧席
盛土コンクリート階段スタンド（ベンチ式席），収容人員 約800人
クラブハウス
構造：鉄骨造2階建，面積：1階148.55㎡，2階140.77㎡，延べ289.32㎡
主要諸室
ロッカー室(男女各1)，男子トイレ(大1小2)，女子トイレ(4)，シャワー室(男3基女1基)
大会運営室（サービスカウンター付）

2 供用期間等

4月1日～11月第2日曜日

供用時間 午前6時～午後5時（日中）
午後5時～午後10時（夜間）

3 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・テニス教室

4 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	58,131人	56,478人	57,772人

函館市南茅部市民庭球場

1 施設の概要

- ・開 設 平成2年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町327番地3
- ・施設面積 3,562㎡
- ・施設概要 テニスコート（プレー面積1,672㎡）
全天候型（ゴムチップウレタン塗装）2面

2 供用期間等

4月第4土曜日～11月第3日曜日
供用時間 午前9時～日没

3 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

4 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	58人	39人	21人

函館アリーナ

1 施設の概要

- ・設 立 平成27年8月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番2号
(TEL57-3141・FAX57-3142)
- ・構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建
- ・敷地面積 23,665.35㎡
- ・建物延面積 15,693.70㎡
- ・建物内容

メインアリーナ	2,860㎡	収容人員5,000人	固定席	2,120席
			仮設席	3,000席
サブアリーナ	1,035.95㎡	収容人員1,000人	固定席	208席
			仮設席	800席
武道館	963.79㎡	収容人員 800人	固定席	60席
			仮設席	700席
トレーニングルーム	201.85㎡			
多目的会議室	343㎡			
スタジオ	370㎡			

控室、役員室、応接室、更衣室、シャワー室、選手ラウンジ、カフェラウンジ、事務室等

2 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始（12月31日～1月3日）、器材点検日（随時）

3 運営の方針

市民にスポーツおよび文化活動の場を提供するとともに、各種の大会、コンベンションその他の催事を通じて人や地域の交流を促進し、もって市民の健康で豊かな生活の実現ならびにスポーツおよび文化の振興に寄与する。

4 主催事業（文化スポーツ振興財団・コナミスポーツ主催事業）

- ・スポーツプログラム～ボディコンバット、X55、メガダンス 他
- ・スポーツ教室～親子体育、ジュニア室内サッカー、ヒップホップダンス 他
- ・フットサルFリーグ公式戦、バスケットボールBリーグ公式戦、ふわふわアドベンチャーツアー、NECバレーボール教室、市民スポーツ研修会 他

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	89,706人	85,483人	86,078人
専用利用	335,183人	257,290人	282,258人
計	424,889人	342,773人	368,336人

函館市恵山総合体育館

1 施設の概要

- ・開 設 昭和49年4月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地(TEL・FAX84-2031)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
- ・敷地面積 12,084.92㎡
- ・建物延面積 1,576.33㎡
- ・建物内容 体育館(936㎡), 更衣室(男女別),
談話ホール, 幼児コーナー, 事務室等

2 供用期間

1月4日～12月28日

3 供用時間, 休館日

- ・供用時間 午前9時30分～午後4時30分(日・木・土・休日)
午前9時30分～午後8時30分(火・水・金)
- ・休館日 月曜日・休日の翌日, 1月1日～1月3日, 12月29日～12月31日

4 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与する

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	4,661人	3,656人	5,045人

函館市南茅部スポーツセンター

1 施設の概要

- ・開 設 昭和59年7月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町604番地1 (TEL・FAX25-5039)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 2,291.90㎡
- ・建物内容 アリーナ(949.39㎡)
研修室兼トレーニング室(73.5㎡)
研修室兼柔剣道室(230㎡) 更衣室(男女別), 事務室, 控室

2 供用時間, 休館日

- ・供用時間 午前9時～午後9時(日曜日のみ午後5時まで)
- ・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

3 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	1,659人	1,375人	1,529人
団体利用	11,105人	9,209人	10,331人
計	12,764人	10,584人	11,860人

函館市民プール

1 施設の概要

- ・設 立 昭和46年7月20日
(昭和61年 屋内50mプール改修)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番25号
(TEL52-7452・FAX52-7657)
- ・構 造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
2階建一部地階
- ・敷地面積 8,886.54㎡
- ・建物延面積 6,701.01㎡
- ・建物内容 管理棟, 事務室, 会議室, クラブ室
ロビー, シャワー室, 更衣室等
25mプール棟~25×16m×7コース
50mプール棟~50×21m×8コース
15mプール (15m×6m)
幼児プール (変形 67㎡)
採暖室, シャワー室, 監視員室, 放送室
医務室, ロビー, 会議室, 観客席 (固定席600席) 等

2 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前10時~午後9時
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

3 運営の方針

市民皆泳をめざし、水泳活動の拠点として施設の機能と役割を果たす効果的な運営を図る。

① 管理運営目標

- ・安全管理体制の強化 ・施設, 設備の整備拡充
- ・指導体制の充実強化 ・広報, 公聴活動の促進

② 主催事業目標

- ・水泳知識と技術の普及 ・市民皆泳の推進

③ 施設利用目標

- ・余暇時間の健全な活用と個人利用の拡充 ・クラブの育成と拡充

4 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

市民水泳教室, 市民水泳プラス教室, 水中ウォーキング教室, ウォータビクス教室, 市民プールまつり, 市民水泳記録会, 着衣水泳体験研修会 他

5 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
個人利用	32,711人	28,677人	29,421人
回数券利用	9,181人	7,972人	7,551人
団体利用	10,676人	9,518人	9,976人
その他	76,871人	68,035人	68,196人
計	129,439人	114,202人	115,144人

函館市南茅部プール

1 施設の概要

- ・開 設 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市尾札部町1608番地1
(TEL・FAX63-2269)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 1,667.08㎡
- ・建 物 内 容 一般用プール 25×13m×6コース,
低学年用プール, ジャグジープール,
更衣室, ミーティング室, トレーニング室, 事務室

2 供用期間等

- ・供用期間 4月1日から10月31日まで
- ・供用時間 午後1時～午後6時(水曜日および金曜日にあつては午後8時まで)
- ・休 館 日 月・火曜日

3 運営の方針

スポーツの振興を図り, もつて市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

4 施設の利用状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	8,281人	10,088人	10,178人

千代台公園弓道場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和32年8月28日
(一部改修 平成12年4月～7月)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番8号(TEL53-4322)
- ・施設面積 512㎡
- ・施設内容 建築面積 射場・待機場他169㎡, 的場30㎡
的数5ヶ, 射程距離28m

2 供用期間等

通年(1月4日～12月28日)ただし, 毎週水曜日は休場日
供用時間 午前9時～午後9時

3 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人員	9,482人	9,371人	9,131人

根崎公園アーチェリー場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番
- ・施設面積 4,140㎡
- ・施設内容 射場 2,700㎡, 的数14ヶ
射程距離 90m, スタンド(1,000人収容)
更衣室, 物品庫

2 供用期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

3 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人員	1,173人	1,076人	1,227人

函館市入舟町前浜海水浴場

1 施設の概要

- ・開 設 昭和55年
- ・所 在 地 函館市入舟町22番地先
- ・施設規模 60×50m, 水深0～3m
- ・付帯施設 トイレ（男女各2）, 更衣室（男女各1）, 監視所, 駐車場（約20台）

2 開設期間等

・平成30年7月26日～8月19日

・令和 元年7月25日～8月18日

※遊泳時間は午前10時～午後4時まで

3 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

4 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人員	6,415人	2,279人	3,053人

函館市白尻スキー場

1 施設の概要

- ・開 設 平成2年1月10日
- ・所 在 地 函館市白尻町593番地1 (TEL25-5797)
- ・施設面積 25,000㎡
- ・施設内容 第1ゲレンデ 13,000㎡
第2ゲレンデ 12,000㎡
斜度 最高 約30度, 最低 9度
簡易リフト 第1リフト 170m
第2リフト 206m
ナイター照明6柱, ロッジ(木造平屋造)92.74㎡

2 供用期間等

- 12月第4土曜日～3月第3日曜日 供用時間 午前9時～午後9時
ただし, リフト運行時間: 午後1時(日曜日および祝日にあつては午前9時)～午後9時

3 運営の方針

- スポーツの振興を図り, もつて市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

4 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	1,770人	1,476人	969人

函館市民スケート場

(文化・スポーツ振興財団)

1 施設の概要

- ・設 立 平成3年1月13日
(全面改修 平成14年12月14日供用開始)
- ・所 在 地 函館市金堀町10番8号
(TEL54-5233・FAX54-5616)
- ・構 造 仮設式アイスパネル屋外組立解体式
- ・氷 面 積 5,024.4㎡
- ・施設内容 スピードスケートリンク(1周250m)
サブスケートリンク(29m×60m)
休憩所(屋内・外), 貸スケートコーナー等

2 開設期間等

- ・開設期間 12月中旬～翌年2月中旬
- ・開場時間 土・日・祝日, 公立小中学校の冬休み期間 午前10時～午後7時
その他の日 正午～午後7時
時間外開場(専用使用の場合に限る) 午後7時～午後10時
- ・休 場 日 12月31日, 1月1日

3 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・フィギュアスケート教室, スケート場初すべりお年玉プレゼント, スケート場イベントデー

4 施設の利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人員	32,038人	26,536人	27,583人

(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況

(単位:人)

分類	施設名	28年度	29年度	30年度	備考		
社会教育施設	学習活動拠点施設	公民館	25,398	25,205	30,788		
		亀田公民館	16,423	15,178	15,622		
		戸井西部総合センター	6,733	6,993	7,127		
		戸井生涯学習センター	2,432	3,396	1,926		
		戸井総合学習センター	1,450	1,764	1,376		
		椴法華総合センター	3,862	3,739	1,479		
		南茅部総合センター	6,708	5,697	7,224		
		青年センター	69,800	63,895	60,749		
		青少年研修センター	28,212	24,790	28,595		
	亀田青少年会館	38,335	32,476	31,266			
	学習活動援助施設	中央図書館(移動図書館含)	224,465	215,709	227,202		
		千歳図書室	23,460	22,961	23,203		
		美原図書室	21,824	19,663	0		
		湯川図書室	18,912	18,119	18,790		
		旭岡図書室	4,074	4,065	4,641		
		港図書室	10,468	10,324	10,356		
		桔梗配本所	8,231	8,564	9,274		
		博物館	10,313	9,583	11,655		
		郷土資料館	5,603	7,346	7,117		
		重要文化財旧函館区公会堂	174,408	152,106	94,533	H30.10月~休館中	
		北洋資料館	13,455	14,329	14,604		
		文学館	19,114	17,884	14,566		
		北方民族資料館	30,348	29,061	28,322		
		道立函館美術館	51,438	53,921	50,089	総観覧者数	
		箱館奉行所	179,032	160,905	150,086		
	縄文文化交流センター	19,688	19,795	18,752			
	大船遺跡	8,874	9,648	8,388			
	芸術活動観覧施設	市民会館	197,050	140,860	—	H29.11月~休館中	
		芸術ホール	94,304	101,766	143,599		
	スポーツ施設	陸上競技場	千代台公園陸上競技場	104,494	111,728	128,186	
		野球場	千代台公園野球場	42,537	47,412	30,719	
			新川公園野球場	12,284	12,435	12,673	
根崎公園野球場			14,086	14,028	12,998		
西桔梗野球場			12,130	9,347	10,920		
運動広場			根崎公園少年運動広場	4,280	4,550	5,600	
球技場		戸井運動広場	1,884	1,742	758		
		恵山運動広場	423	427	132		
		南茅部運動広場	5,282	6,255	3,597		
庭球場		函館フットボールパーク	93,056	82,957	87,657		
		根崎公園ラクビー場	10,000	9,680	8,960		
総合体育館		青柳市民庭球場	6,836	7,061	4,690		
		千代台公園庭球場	58,131	56,478	57,772		
		NHK広場テニスコート	780	916	617		
		函館フットボールパーク	3,588	1,046	0		
		南茅部市民庭球場	58	39	21		
プール		函館アリーナ	424,889	342,773	368,336		
		恵山総合体育館	4,661	3,656	5,045		
アーチェリー場		南茅部スポーツセンター	12,764	10,584	11,860		
		函館市民プール	129,439	114,202	115,144		
弓道場	南茅部プール	8,281	10,088	10,178			
	千代台公園弓道場	9,482	9,371	9,131			
アーチェリー場	根崎公園アーチェリー場	1,173	1,076	1,227			
海水浴場	函館市入舟町前浜海水浴場	6,415	2,279	3,053			
スキー場	函館市臼尻スキー場	1,770	1,476	969			
スケート場	函館市民スケート場	32,038	26,536	27,583			

3 学校開放事業の概要

(1) スポーツ開放事業

ア 開放の目的

市立学校の施設を学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ活動等に開放し、青少年の健全な育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。

イ 開放の区分

- (ア) 校庭開放 ～ 児童および幼児（幼児にあつては、保護者の付添いのあるもの）の遊び場としての利用に供するため、グラウンドおよび体育館を開放するもの
- (イ) 遊泳開放 ～ 児童および生徒の団体であつて、成人の責任者の引率するものの遊泳に供するほか、児童および生徒の遊泳に支障のない範囲で、函館市内に在住または勤務する者の団体であつて、成人の責任者の引率するものの遊泳に供するため、プールを開放するもの
- (ウ) スポーツ開放 ～ 函館市内に在住または勤務する者の団体であつて、成人の責任者の引率するものが行うスポーツおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの

ウ 開放する学校

(ア) 校庭開放（14校）

小学校 青柳、あさひ、北星、港、千代田、柏野、深堀、北日吉、高丘、北昭和、昭和、北美原、鍛神、東山

(イ) 遊泳開放（20校）

小学校 青柳、あさひ、北星、八幡、万年橋、港、中島、駒場、上湯川、旭岡、東、桔梗、中の沢、昭和、中央、北美原、神山、東山、本通、南本通

(ウ) スポーツ開放（50校）

小学校 弥生、青柳、あさひ、中部、北星、八幡、万年橋、港、中島、千代田、柏野、大森浜、駒場、深堀、日吉が丘、北日吉、上湯川、鱒川、石崎、桔梗、中の沢、北昭和、昭和、亀田、赤川、中央、北美原、鍛神、神山、東山、本通、南本通、戸井西、日新、えさん、椴法華、磨光、大船

中学校 青柳、港、巴、深堀、湯川、戸倉、赤川、桔梗、亀田、五稜郭、日新、椴法華

エ 開放時間帯

- | | | |
|------------|-----------------|-------------------------|
| (ア) 校庭開放 | 土曜日 | 午後1時～午後4時 |
| | 日・祝日(春・夏・冬休み含む) | 午前10時～午後1時
午後1時～午後4時 |
| (イ) 遊泳開放 | 夏休み期間中の土曜日 | 午後1時～午後3時 |
| | 夏休み期間中の日曜日 | 午前10時～正午
午後1時～午後3時 |
| (ウ) スポーツ開放 | 月曜日～土曜日(祝日を除く) | 午後6時～午後9時 |

オ 管理体制

開放校に学校開放主事と学校開放管理指導員を置く。

学校開放管理指導員は、教育委員会、学校開放主事の命を受けて、利用者の指導および事故防止等の業務に従事する。

(2) 文化開放事業

ア 開放の目的

文化活動（音楽・芸能・文学・芸術等）などを行うグループ・サークルに対し、練習や活動の場を提供する。

イ 開放する学校および諸室（11校）

小学校（8校）

あさひ小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室，多目的教室

八幡小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室

大森浜小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室

石崎小学校 ～ 家庭科室，図書室・多目的教室，音楽室

中の沢小学校 ～ 家庭科室，音楽室，多目的教室

昭和小学校 ～ 音楽室，視聴覚室，図工室

鍛神小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，多目的教室

弥生小学校 ～ 音楽室，視聴覚室，多目的ホール，図工室

中学校（3校）

港中学校 ～ 図書室，多目的ホール

深堀中学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，作法室(和室)
多目的ホール

五稜郭中学校 ～ 図書室，音楽室，視聴覚室

ウ 開放期間および開放時間帯

12月29日～1月3日と新学期準備期間（3月下旬～4月上旬，詳細は年度により異なる）を除き通年開放。ただし，学校諸行事が優先。

月～金曜日（水曜日を除く） 午後6時～午後9時

土・日曜日および祝日 午前9時～正午

午後1時～午後4時

午後6時～午後9時

エ 管理体制

開放時に学校開放管理員1名を置く。（業務委託）

(3) 学校図書館地域開放事業

ア 開放の目的

子どもたちや地域住民の読書活動の充実や地域の教育力の向上を図るため、保護者、地域住民、学校司書等が連携・協働し、学校図書館を開放する。

イ 開放する学校、開放期間および開放時間帯（3校）

学校司書が配置された市内小・中学校のうち、巴中学校、青柳中学校、五稜郭中学校の学校図書館について、学校運営協議会委員や在校生保護者等を対象に試験開放した。

巴中学校

2月1回，3月1回（月曜日）午後1時30分～午後3時まで

青柳中学校

2月1回，3月2回（水曜日）午後1時30分～午後3時まで

五稜郭中学校

2月1回，3月1回（月曜日）午後1時45分～午後3時まで

(3) 学校開放状況の推移

校庭開放・スポーツ開放

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開放校数	53校	53校	53校
校庭開放	15校	15校	15校
スポーツ開放	53校	53校	53校
校庭・スポーツ開放	15校	15校	15校
利用人員	72,195人	70,488人	61,330人
開放回数	7,195回	7,100回	6,273回

遊泳開放

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開放校数(実施校数)	21校(0校)	21校(0校)	21校(0校)
利用人員	0人	0人	0人
開放回数	0回	0回	0回

文化開放

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開放校数	11校	11校	11校
利用回数	1,712回	1,701回	1,457回
利用人員	21,503人	20,907人	19,059人

Ⅲ 学校教育

1	市立学校施設一覧	88
2	児童・生徒	93
3	学校保健	95
4	学校安全	96
5	学校給食	97
6	就学援助	98
7	特別支援	100
8	函館市南北海道教育センター	101

1 市立学校施設一覽

(1) 小学校

学 校 名	学級数		児童数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 弥 生	7	2	183	9	4,721	1,137	8,355	3,374	11,729
2 青 柳	8	2	220	3	5,058	1,265	7,721	2,666	10,387
3 あさひ	6	3	171	10	4,402	1,084	4,719	4,182	8,901
4 中 部	6	2	137	7	4,183	835	4,707	6,595	11,302
5 北 星	6	2	107	2	3,354	875	6,835	3,094	9,929
6 八 幡	12	4	369	13	5,532	1,000	9,891	4,043	13,934
7 万年橋	6	2	128	3	3,376	956	6,994	4,670	11,664
8 港	14	3	436	19	5,797	1,018	8,580	9,820	18,400
9 中 島	6	1	150	5	3,523	1,062	5,602	5,156	10,758
10 千代田	6	1	78	1	3,640	1,004	8,258	5,022	13,280
11 柏 野	12	2	343	8	5,388	952	8,150	5,453	13,603
12 大森浜	14	4	443	23	4,629	1,044	9,509	9,669	19,178
13 駒 場	6	2	193	10	4,965	998	11,395	14,915	26,310
14 深 堀	8	3	224	21	4,270	829	7,611	8,621	16,232
15 日吉が丘	12	2	360	2	5,815	899	9,766	8,107	17,873
16 北日吉	12	2	293	7	3,993	789	13,397	7,507	20,904
17 湯 川	12	2	327	6	5,790	796	10,587	7,200	17,787
18 高 丘	11	2	277	11	3,604	752	10,118	6,410	16,528
19 上湯川	6	2	125	3	5,003	855	11,835	8,000	19,835
20 旭 岡	7	2	178	6	5,117	749	11,004	10,794	21,798
21 鱒 川	3	1	16	2	671	(併)	9,946	4,670	14,616
22 東	6	2	77	2	3,179	612	9,914	7,015	16,929
23 石 崎	2	1	6	3	1,968	825	30,441	8,190	38,631
24 桔 梗	22	3	713	20	4,586	1,057	8,923	5,076	13,999
25 中の沢	12		323		3,024	678	6,498	4,813	11,311
26 北昭和	7	2	198	6	3,462	652	8,549	7,750	16,299
27 昭 和	14	5	415	22	6,183	922	15,095	10,799	25,894
28 亀 田	11	3	288	18	5,773	778	12,872	5,080	17,952
29 赤 川	6	2	87	7	3,173	942	8,092	3,469	11,561
30 中 央	8	2	213	6	5,622	867	10,249	9,588	19,837
31 北美原	21		680		4,816	895	7,851	9,161	17,012
32 鍛 神	12	5	316	35	5,524	793	12,013	9,426	21,439
33 神 山	12	3	290	14	4,315	1,002	7,958	6,546	14,504
34 東 山	13	3	408	12	4,413	770	9,115	6,317	15,432
35 本 通	12	3	314	8	5,535	945	9,059	17,229	26,288
36 南本通	7	2	189	6	3,138	772	4,993	8,024	13,017
37 戸井西	3		30		1,604	748	11,230	11,220	22,450
38 日 新	3		21		2,997	747	7,545	4,886	12,431
39 えさん	5	2	56	5	2,958	708	10,221	14,026	24,247
40 樞法華	3		15		2,329	652	9,810	5,416	15,226
41 磨 光	6	3	110	7	3,629	1,329	19,436	8,789	28,225
42 臼 尻	3	2	34	3	2,406	586	14,124	10,411	24,535
43 大 船	3	1	16	2	1,526	570	9,462	5,357	14,819
小 学 校 計	371	90	9,557	347	174,991	36,749	428,430	318,556	746,986

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域学校連携施設を含む。

令和元年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	ランチ ルーム	学 校 開 放				学 校 名
						校庭	遊泳	スポーツ	文化	
ガスFF	遠赤外線放射			子	○			○	○	弥 生
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス	○	子		○	○	○		青 柳
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○	○	あさひ
蒸気	ダクト式高温風			子	○			○		中 部
ガスFF	ダクト式高温風	ステンレス		親		○	○	○		北 星
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独			○	○	○	八 幡
温水	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		万年橋
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独		○	○	○		港
温水	遠赤外線放射	コンクリート		単独			○	○		中 島
温水	遠赤外線放射			親		○		○		千代田
温水	遠赤外線放射			単独		○		○		柏 野
ガスFF	遠赤外線放射			単独				○	○	大森浜
温水	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独			○	○		駒 場
ポット式灯油	ダクト式高温風			子		○		○		深 堀
ポット式灯油	ダクト式高温風			子				○		日吉が丘
電気	ダクト式高温風			子		○		○		北日吉
ガスFF	遠赤外線放射			親						湯 川
電気	ダクト式高温風			子		○				高 丘
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		上湯川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		親	○		○			旭 岡
灯油FF	遠赤外線放射			子				○		鱒 川
灯油FF	ダクト式高温風	鋼製		子			○			東
灯油FF	遠赤外線放射			親				○	○	石 崎
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		桔 梗
電気	遠赤外線放射	FRP	○	子			○	○	○	中の沢
電気	遠赤外線放射			子		○		○		北昭和
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○	○	昭 和
ガスFF	ダクト式高温風			親				○		亀 田
灯油FF	遠赤外線放射			子				○		赤 川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		中 央
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		単独		○	○	○		北美原
ガスFF	ダクト式高温風			親		○		○	○	鍛 神
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親			○	○		神 山
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製		親		○	○	○		東 山
ガスFF	遠赤外線放射	鋼製		子			○	○		本 通
温水	ダクト式高温風	ステンレス	○	子			○	○		南本通
灯油FF	温水			子				○		戸井西
電気	温水			子				○		日 新
温水	温水			子				○		えさん
温水	温水			子				○		榎法華
温水	温水			子				○		磨 光
ポット式灯油	遠赤外線放射			子						臼 尻
ポット式灯油	遠赤外線放射			子				○		大 船
										小学校計

(2) 中学校

学 校 名	学級数		生徒数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 青 柳	9	2	292	9	4,317	1,161	11,560	9,522	21,082
2 港	6	2	180	3	4,342	1,200	11,391	9,221	20,612
3 巴	17	3	582	17	7,822	1,697	10,927	11,755	22,682
4 深 堀	8	1	248	1	5,960	947	11,033	12,248	23,281
5 湯 川	9	4	268	20	6,172	1,136	15,142	8,709	23,851
6 戸 倉	9	2	292	5	5,088	1,201	12,658	10,364	23,022
7 旭 岡	3		104		3,569	972	11,704	10,681	22,385
8 鱒 川	2	2	10	4	721	679	(併)	(併)	(併)
9 銭亀沢	3	2	50	4	2,683	719	11,252	18,067	29,319
10 赤 川	10	3	319	17	4,840	1,128	7,511	11,952	19,463
11 桔 梗	15	1	512	4	4,405	908	9,691	10,321	20,012
12 亀 田	16	3	547	15	6,997	1,115	17,058	19,647	36,705
13 五稜郭	14	3	494	20	5,407	1,231	11,592	13,763	25,355
14 本 通	16	3	561	16	6,559	1,040	12,557	15,240	27,797
15 北	7	1	230	2	4,311	1,005	6,913	12,023	18,936
16 潮 光	3	1	18	1	2,624	1,104	9,369	7,134	16,503
17 日 新	3		15		2,747	983	21,524	8,926	30,450
18 恵 山	3		36		2,365	770	10,267	10,573	20,840
19 椴法華	3	1	20	1	2,762	761	9,858	12,405	22,263
20 尾札部	3		61		4,450	808	11,175	19,059	30,234
21 白 尻	3	1	31	2	2,413	735	13,897	16,572	30,469
中 学 校 計	162	35	4,870	141	90,554	21,300	237,079	248,182	485,261

(3) 高等学校

学 校 名	学 級 数	生 徒 数	校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
					建物敷地	グラウンド	計
市立函館	20	792	9,229	3,270	38,399	51,580	89,979

(4) 幼稚園

学 校 名	学 級 数	園 児 数	園舎保有面積 ㎡	園 地 面 積 ㎡			園 舎 暖 房
				建物敷地	グラウンド	計	
戸 井	3	17	661	6,614	1,051	7,665	電気

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域連携施設を含む。

令和元年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	学 校 開 放				学 校 名
					校庭	遊泳	スポーツ	文化	
ガスFF	遠赤外線放射			子			○		青 柳
温水	遠赤外線放射			子			○	○	港
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		巴
ガスFF	ダクト式高温風			親			○	○	深 堀
ガスFF	遠赤外線放射			子			○		湯 川
灯油FF	遠赤外線放射			親			○		戸 倉
蒸気	ダクト式高温風			子					旭 岡
灯油FF	遠赤外線放射			子					鱒 川
蒸気	遠赤外線放射			子					銭亀沢
灯油FF	ダクト式高温風			子			○		赤 川
温水	ダクト式高温風			親			○		桔 梗
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		亀 田
ガスFF	遠赤外線放射			子			○	○	五稜郭
ガスFF	遠赤外線放射			子					本 通
温水	ダクト式高温風			親					北
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製	○	子					潮 光
電気	温水			子			○		日 新
温水	温水			子					恵 山
温水	温水			親			○		椴法華
ポット式灯油	遠赤外線放射			子					尾札部
ポット式灯油	遠赤外線放射			子					白 尻
									中学校計

校舎暖房	体育館暖房
ガスFF	遠赤外線放射

2 児童・生徒

(1) 市立小学校児童の推移

(各年度5月1日現在)

年度	小 学 校						
	学校数	普通学級		特別支援学級		計	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数(再掲・新入学児童数)
H18	48	493	13,378	42	126	535	13,504 (2,145)
H19	48	477	13,023	48	137	525	13,160 (2,097)
H20	48	470	12,729	51	146	521	12,875 (2,018)
H21	47	459	12,461	53	155	512	12,616 (1,950)
H22	47	454	12,110	60	179	514	12,289 (1,970)
H23	46	447	11,923	64	192	511	12,115 (1,927)
H24	46	440	11,492	71	199	511	11,691 (1,775)
H25	46	425	11,186	71	210	496	11,396 (1,843)
H26	46	421	10,825	71	220	492	11,045 (1,709)
H27	46	409	10,611	73	243	482	10,854 (1,752)
H28	46	396	10,326	76	254	472	10,580 (1,655)
H29	46	388	10,052	85	279	473	10,331 (1,611)
H30	46	382	9,887	94	325	476	10,212 (1,666)
R元	43	371	9,557	90	347	461	9,904 (1,488)

(2) 市立中学校生徒の推移

(各年度5月1日現在)

年度	中 学 校						
	学校数	普通学級		特別支援学級		計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
H18	28	215	6,817	21	73	236	6,890
H19	28	219	6,764	21	79	240	6,843
H20	28	216	6,527	20	78	236	6,605
H21	28	208	6,349	20	69	228	6,418
H22	28	204	6,209	27	77	231	6,286
H23	28	200	6,084	28	77	228	6,161
H24	28	200	6,012	31	89	231	6,101
H25	28	192	5,843	32	103	224	5,946
H26	28	185	5,675	33	119	218	5,794
H27	28	185	5,470	34	128	219	5,598
H28	26	182	5,342	35	143	217	5,485
H29	25	175	5,234	34	142	209	5,376
H30	21	167	5,017	33	139	200	5,156
R元	21	162	4,870	35	141	197	5,011

(3) 中学校卒業生の進路状況

(各年5月1日現在)

卒業年	卒業者数	進学者数		各種学校等入学者数		就職者数		その他	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
H18	2,760	2,734	99.1	4	0.1	4	0.1	19	0.7
H19	2,578	2,556	99.1	1	0.1	1	0.1	20	0.8
H20	2,672	2,648	99.1	1	0.1	5	0.1	18	0.7
H21	2,558	2,529	98.9	-	-	4	0.1	25	1.0
H22	2,538	2,505	98.7	4	0.2	6	0.2	23	0.9
H23	2,448	2,432	99.3	2	0.1	2	0.1	12	0.5
H24	2,368	2,339	98.8	2	0.1	1	0.1	26	1.1
H25	2,088	2,062	98.8	4	0.2	2	0.1	20	0.9
H26	2,011	1,995	99.2	4	0.2	1	0.05	11	0.5
H27	1,990	1,968	98.9	4	0.2	3	0.2	15	0.8
H28	1,929	1,913	99.2	-	-	6	0.3	10	0.5
H29	1,858	1,843	99.2	-	-	3	0.2	12	0.6
H30	1,821	1,800	98.9	2	0.1	4	0.2	15	0.8
H31	1,816	1,802	99.2	2	0.1	2	0.1	10	0.6

(4) 令和元年度 研究モデル校の紹介

<学力向上>

学 校 名	機 関	年 度	研 究 領 域	研 究 主 題
北 中	市・局	30～元	学 習 指 導	『生き抜く力』を育む学習指導の工夫 ～主体的・対話的で深い学びを追究した授業づくり～

<道徳教育>

学 校 名	機 関	年 度	研 究 領 域	研 究 主 題
戸 倉 中	市	元～2	道 徳	新学習指導要領に対応した、主体的な学びにつながる指導の工夫
高 丘 小	市	元～2	道 徳	主体的に考え、心豊かに生きる子どもの育成 ～道徳教育の充実に向けた取り組みを通して～
上 湯 川 小	市	元～2	道 徳	自分の考えをもち、進んで他者と伝え合おうとする子どもの育成 ～主体的・対話的で深い学びへとつながる「特別の教科 道徳」の実践～

(5) 外国語指導助手活用事業

外国語指導助手による市立学校における児童生徒への訪問授業および教師の研修等を行い、子どもたち一人ひとりの国際理解の基礎を培うとともに、英語教育の充実を図ることを目的に平成5年度から各学校へ派遣しており、現在は8名体制で実施している。

3 学校保健

平成30年度 定期健康診断時の児童・生徒の疾病等状況

小学校

(単位：人，%)

区 分		人数	構成比
在籍者数		10,159	—
歯・口腔	受検者数	9,630	—
	う歯（処置済）	2,372	24.6
	う歯（未処置）	3,784	39.3
	歯列・咬合	538	5.6
	顎関節	24	0.2
	歯垢の状態	624	6.5
	歯肉の状態	527	5.5
眼	受検者数	9,949	—
	疾病・異常の者	439	4.4
耳鼻咽喉	受検者数	5,294	—
	耳疾患	198	3.7
	鼻腔・副鼻腔疾患	487	9.2
	咽喉頭疾患	104	2.0
結核	受検者数	10,204	—
	要精検者数	0	0.0
	結核患者	0	0.0
尿	受検者数	10,168	—
	蛋白検出	11	0.1
	糖検出	3	0.03
心臓	受検者数	1,659	—
	精密検査	34	2.0
皮膚	受検者数	9,992	—
	皮膚疾患	221	2.2
脊柱胸郭四肢	受検者数	9,992	—
	異常のある者	33	0.3
その他	把握しているアレルギー疾患		
	ぜん息	219	
	アトピー性皮膚炎	172	
	アレルギー性鼻炎	349	
	アレルギー性結膜炎	290	
	食物アレルギー	181	

中学校

(単位：人，%)

区 分		人数	構成比
在籍者数		5,160	—
歯・口腔	受検者数	4,811	—
	う歯（処置済）	1,282	26.6
	う歯（未処置）	1,912	39.7
	歯列・咬合	523	10.9
	顎関節	51	1.1
	歯垢の状態	721	15.0
	歯肉の状態	817	17.0
眼	受検者数	4,887	—
	疾病・異常の者	472	9.7
耳鼻咽喉	受検者数	1,959	—
	耳疾患	31	1.6
	鼻腔・副鼻腔疾患	113	5.8
	咽喉頭疾患	11	0.6
結核	受検者数	5,124	—
	要精検者数	1	0.02
	結核患者	0	0.0
尿	受検者数	5,032	—
	蛋白検出	9	0.2
	糖検出	1	0.02
心臓	受検者数	1,577	—
	精密検査	49	3.1
皮膚	受検者数	4,994	—
	皮膚疾患	164	3.3
脊柱胸郭四肢	受検者数	4,994	—
	異常のある者	34	0.7
その他	把握しているアレルギー疾患		
	ぜん息	62	
	アトピー性皮膚炎	163	
	アレルギー性鼻炎	107	
	アレルギー性結膜炎	418	
	食物アレルギー	117	

(注)： 構成比は各受検者数に対する割合

4 学校安全

(1) 平成30年度独立行政法人日本スポーツ振興センター加入・給付状況

(加入者数はH30.5.1現在)

内 訳		学校種別	小 学 校 (46校)	中 学 校 (21校)	高 校 (1校)	幼 稚 園 (2園)	計
加入 内 訳	加入者数		10,204	5,153	875	27	16,259
	掛金額(A)		9,043,420	4,467,905	1,631,875	7,965	15,151,165
給 付 内 訳	医療費 給付対象(B)		9,820	4,865	875	27	15,587
	件数(C)		539	804	209	1	1,553
	給付金額(D)		4,165,321	8,570,651	2,813,656	10,640	15,560,268
	給付率($\frac{C}{B} \times 100$)		5.5	16.5	23.9	3.7	10.0
	平均給付額($\frac{D}{C}$)		7,728	10,660	13,463	10,640	10,020
障 害	件数		0	0	0	0	0
	給付金額		0	0	0	0	0
死 亡	件数		0	0	0	0	0
	給付金額		0	0	0	0	0
合 計	件数		539	804	209	1	1,553
	給付金額(E)		4,165,321	8,570,651	2,813,656	10,640	15,560,268
	掛け金に対する給付率 ($\frac{E}{A} \times 100$)		46.1	191.8	172.4	133.6	102.7

※ 負傷・疾病給付金額には、継続給付金額を含む。

5 学校給食

(1) 調理方式

(単位：校、人)

区 分	小 学 校		中 学 校		計		
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	児童・生徒数	
単 独 校 方 式	9	3,556	0	0	9	3,556	
親 子 共 同 調 理 場 方 式	親学校	11	2,718	7	2,471	18	5,189
	子学校	23	3,635	14	2,535	37	6,170
	計	34	6,353	21	5,006	55	11,359
合 計	43	9,909	21	5,006	64	14,915	

当市の学校給食は、全校完全給食で、単独校（自校）方式、親子共同調理場方式を学校の実情にあわせて実施している。

親子共同調理場方式とは、調理施設のある学校（親）から調理施設のない学校（子）へ温食等を運搬する方式である。

(2) 給食費の推移

(単位：円)

区 分	年 度	1食あたり平均単価					実施 回数	年 間 給食費	月 額 給 食 費
		学年	主食	牛乳	副食	計			
小 学 校	29	2～5	65.75	45.46	139.15	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
	30	2～5	68.48	45.78	136.10	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
	31	2～5	70.12	47.67	132.57	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
中 学 校	29	1～2	77.55	45.46	187.38	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525
	30	1～2	81.10	45.78	183.60	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525
	31	1～2	82.90	47.67	179.82	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525

6 就学援助

(1) 就学援助費支給内容（平成30年度，年額）

（単位：円）

区 分		小 学 校		中 学 校	
給 食 費		1・6年	45,570	1・2年	57,740
		2～5年	46,320	3年	55,250
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年		12,990		24,590
	その他の学年		15,220		26,820
新入学児童生徒学用品費等			40,600		47,400
体育実技用具費	柔道		—	上限	7,510
	剣道		—	上限	51,940
	スキー	上限	26,020	上限	37,340
	スケート	上限	11,590	上限	11,590
宿泊校外活動費		上限	3,620	上限	6,100
修学旅行費			実費		実費
通学費			実費		実費
医療費			実費		実費

(2) 給食扶助

（単位：人，%，円）

年度	学校別	児童生徒数（A）	該当人員（B）	$(B) \div (A) \times 100$	扶助総額
29	小学校	10,331	2,496	24.2	110,953,821
	中学校	5,376	1,446	26.9	80,053,695
	計	15,707	3,942	25.1	191,007,516
30	小学校	10,212	2,670	26.1	118,108,412
	中学校	5,156	1,486	28.8	82,252,456
	計	15,368	4,156	27.0	200,360,868

(3) 学用品等扶助

(単位：円)

年度	学校別	学用品費等扶助		新入学児童生徒学用品等扶助費		修学旅行扶助費		通学扶助費		計	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
29	小学校	2,508	36,796,819	783	25,139,800	515	14,660,428	26	705,610	3,832	77,302,657
	中学校	1,462	40,050,385	908	34,579,200	559	30,634,872	22	645,975	2,951	105,910,432
	計	3,970	76,847,204	1,691	59,719,000	1,074	45,295,300	48	1,351,585	6,783	183,213,089
30	小学校	2,685	38,525,576	434	16,829,800	551	15,418,787	16	496,840	3,686	71,271,003
	中学校	1,507	38,512,550	551	25,247,400	579	32,615,794	28	678,794	2,665	97,054,538
	計	4,192	77,038,126	985	42,077,200	1,130	48,034,581	44	1,175,634	6,351	168,325,541

※平成29年度の新入学児童生徒学用品等扶助費は、入学前支給が実施されたため、5月と3月に支給した人員と金額の合計。

(4) 医療扶助

(単位：円)

年度	学校別	トラコーマ及び結膜炎		中耳炎		慢性副鼻腔炎およびアデノイド		う 菌		伝染性の皮膚疾患 (白癬・疥癬・膿痂疹)	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
29	小学校	3	7,180	1	4,340	4	17,260	151	1,521,020	—	—
	中学校	1	2,240	1	3,160	3	38,680	67	620,260	—	—
	計	4	9,420	2	7,500	7	55,940	218	2,141,280	—	—
30	小学校	1	6,180	6	25,930	2	20,000	192	2,334,680	—	—
	中学校	1	3,450	3	53,550	2	12,920	99	1,229,630	—	—
	計	2	9,630	9	79,480	4	32,920	291	3,564,310	—	—

年度	学校別	寄 生 虫		計	
		人員	金額	人員	金額
29	小学校	—	—	159	1,549,800
	中学校	—	—	72	664,340
	計	—	—	231	2,214,140
30	小学校	—	—	201	2,386,790
	中学校	—	—	105	1,299,550
	計	—	—	306	3,686,340

(5) 特別支援教育就学扶助

(単位：円)

平成29年度						平成30年度					
小学校		中学校		計		小学校		中学校		計	
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
169	4,374,991	67	3,344,172	236	7,719,163	184	5,053,981	68	3,208,598	247	8,262,579

7 特別支援

(1) 特別支援学級の設置状況（令和元. 5. 1現在）

小学校

学校名	障がい別	知的障がい		自閉症・情緒		肢体不自由		病弱	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
弥生		1	4	1	5				
青柳		1	1	1	2				
あさひ		1	1	2	9				
中部		1	2	1	5				
北星		1	1	1	1				
八幡		1	3	2	9	1	1		
万年橋		1	1	1	2				
港		1	6	2	13				
中島				1	5				
千代田				1	1				
柏野		1	3	1	5				
大森浜		2	13	2	10				
駒場		1	4	1	6				
深堀		1	7	2	14				
日吉		1	1	1	1				
北日吉		1	3	1	4				
湯川		1	2	1	4				
高丘		1	3	1	8				
上湯川		1	2	1	1				
旭岡		1	4	1	2				
鱒川				1	2				
東		1	1	1	1				
石崎				1	3				
桔梗		1	8	2	12				
北昭和		1	2	1	4				
昭和		2	11	1	8	1	2	1	1
亀田		1	2	2	16				
赤川		1	4	1	3				
中央		1	3	1	3				
鍛神		1	6	4	29				
神山		1	4	2	10				
東山		1	3	2	9				
本通		1	2	1	5	1	1		
南本通		1	2	1	4				
えさん		1	2	1	3				
磨光		1	5	1	1	1	1		
白尻		1	1	1	2				
大船		1	2						
計		36	119	49	222	4	5	1	1

中学校

学校名	障がい別	知的障がい		自閉症・情緒		肢体不自由		病弱	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
青柳		1	4	1	5				
港		1	1	1	2				
巴		1	8	2	9				
深堀		1	1						
湯川		2	9	2	11				
戸倉		1	2	1	3				
鱒川		1	2	1	2				
銭亀沢		1	1	1	3				
赤川		2	9	1	8				
桔梗				1	4				
亀田		1	4	2	11				
五稜郭		1	6	2	14				
本通		1	7	2	9				
北				1	2				
潮光				1	1				
鍛法華				1	1				
白尻				1	2				
計		14	54	21	87				

(2) 交流教育の推進

- ・ 函館盲学校との交流 ～ 亀田小学校，五稜郭中学校，戸倉中学校
- ・ 函館聾学校との交流 ～ 深堀小学校，深堀中学校
- ・ 函館養護学校との交流 ～ 旭岡小学校，旭岡中学校

(3) 行事

- ・ 小・中別合同学習
- ・ 教育福祉合同作品展（含即売会）

9 函館市南北海道教育センター

1 施設の概要

- ・設 立 昭和49年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目38番38号 (TEL57-8251・FAX57-6232)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨造2階)
- ・敷地面積 3,608.70㎡
- ・建物延面積 1,946.35㎡

2 事業の概要

(1) 研究事業

当面する教育課題を解決するため、地域の教育センターの独自性を生かした基礎的で実践的な調査・研究を行い、学校教育の充実発展に寄与する。

ア 教育方法部…各教科等における学習指導の充実に向けた研究

イ 教育相談部…教育相談の機能を生かした子どもへの効果的な支援の在り方についての研究

ウ 教育支援部…一人ひとりの子どもの社会的な自立に向けた効果的な支援の在り方等についての研究

(2) 研修事業

教職員および教育関係者の資質を高めるため、教職員の法定研修をはじめ地域の教育課題や今日的課題を踏まえた各種研修等を実施し、教育に関する専門性と指導力の向上に努める。

(3) 教育相談事業

子どものよりよい成長を願い、適応および進路や適性に関する教育相談を行い、適切な指導と援助に努める。

適応指導教室「やすらぎ学級」において一人ひとりの子どもの望ましい成長を支援する。

(4) その他

研修室等の貸館、知能検査用具の貸し出し、研究に関する資料の貸し出し等を行う。

3 平成30年度事業のまとめ

(1) 研究事業

- ア 教育方法に関する研究 ・「主体的・対話的で深い学びの現実に向けた授業づくり」
- イ 教育相談に関する研究 ・「開発的な生徒指導を活かした自己指導能力の育成」
- ウ 教育支援に関する研究 ・「すべての子どもに対する支援の質の向上を目指した校内支援体制や校内研修の在り方」

(2) 研修事業

ア 基本研修の実施状況

研 修 名	受 講 者 数 (人)		
	小学校	中学校	計
初任段階教員研修(1～5年次)	45	29	74
中堅教諭等資質向上研修	3	5	8
学校運営研修会	5	3	8
主幹教諭研修会	18	16	34

イ 専門研修の実施状況

区 分	研修数	受講者数(人)	日程
管理職研修	2	137	2
教科等研修	5	181	5
課題別研修	3	115	3
特別支援教育研修	2	371	2
計	12	804	12

ウ 担当者研修・協議会の実施状況

研 修 名	受講者数(人)
道徳教育推進教師等研究協議会	81
特別支援学級担当教諭研究協議会	52
特別支援教育支援員研修会	62
栄養教諭研究協議会	21
小・中学校教育課程研究協議会	77
小・中学校教務担当者研究協議会	62
特別支援教育コーディネーター研究協議会	109
期限付き教諭等研修会	13

エ 教育講演会の実施状況

講 演 会 名	参加者数(人)
特別支援教育講演会	254

(3) 教育相談の実施状況

内 訳	相談回数
学 習	3
発 達	12
生 活	964
進 路	131
計	1,110

(4) 貸館状況

区 分	件数	利用人数	備 考
函館市教育委員会	51	1,600	合同校長会等
函館市内教育研究会等	77	3,138	校長会, 教頭会, 研修会等
その他	13	305	発明クラブ等
計	141	5,043	

IV 資 料 編

1	函館市教育の沿革概要	103
2	函館市内の指定文化財	121
3	市立学校・幼稚園一覧	128
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	132

1 函館市教育の沿革概要

嘉永元年 (1848)	○佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村堂」開設
〃 3年 (1850)	○森菊三郎が内潤町に「猿山塾」を開設, 読み方, 書き方を教授
〃 4年 (1851)	○本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年 (1854)	○ペリー来航, 日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年 (1866)	○富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設, 読み方, 書き方, 算術を教授
明治2年 (1869)	○蝦夷地を北海道, 箱館を函館と改称し, 開拓使を設置
〃 3年 (1870)	○柳田藤吉が「郷学校」(のちに郷塾と改称)を会所町に設け, 漢・英を教授
〃 4年 (1871)	○官立函館学校(本道最初の官立学校)創設, 漢・英二学を教授(官員の子弟のみ)
〃 5年 (1872)	○学制公布 ○函館病院附属医学所で教授開始 ○官立函館学校へ一般人の入学許可 ○私立戸井教育所開設
〃 6年 (1873)	○官立函館学校を「露学校」と改称(翌年, 官立松陰学校に, のち元町学校) ○露国宣教師, 元町に正教学校を開校 ○本道最初の中学校である官立変則中学校(3か年制)を富岡町に設立
〃 7年 (1874)	○変則中学校を富岡学校と改称, 14歳以上19歳以下の者が入学 ○米国メソジスト監督教会員が元町で「日々(にちにち)学校」を開始(現遺愛学院の前身)
〃 8年 (1875)	○函館最初の官立小学校である会所学校が開校(6歳以上13歳以下の児童)
〃 9年 (1876)	○官立小学教科伝習所を会所学校に開設(本道における師範学校の前身) ○公立松陰学校開校(最初の公立小学校)
〃 10年 (1877)	○公立内潤学校開校 ○私学愛陶舎, 鶴岡学校設立 ○私立夜学の弁天学校, 金蘭学校, 行余学校, 松濤学校(女子夜学校の最初)など開校(ともに小学校ではなく, 日用簡易の学科教授)
〃 11年 (1878)	○公立住吉学校(現青柳小学校の前身), 公立宝学校, 公立常盤学校, 公立亀田学校が開校 ○日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始(現白百合学園高等学校の前身)
〃 12年 (1879)	○函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 ○函館における最初の夜間小学校である私立淳風学校が開校 ○私立函館商船学校, 公立上湯川学校が開校 ○函館公園内に開拓使仮博物館が落成(前年着工の函館公園完成) ○小学教科伝習所附属小学校開校(会所学校廃止)
〃 13年 (1880)	○私立臥牛学校開校 ○公立石崎学校, 公立湯川学校, 公立宇賀学校が開校 ○官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 ○小学教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 ○図書館の先駆, 思斉会が発足(翌年, 書籍館となり一般公開) ○戸井教育所を廃止, 公立戸井学校, 公立白浜学校, 公立瀬田来学校を開校 ○撥法華簡易学校開業 ○公立尻岸内学校, 根田内校, 古武井教育所開校
〃 14年 (1881)	○私立若山学校, 沢学校, 藤村学校など開校 ○官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設

明治14年	(1881)	○函館教育協会（のちの函館教育会）発足
〃 15年	(1882)	○私立福田学校，一貴学校が開校 ○私立遺愛女学校開校（現遺愛女子高等学校，現校舎は明治41年落成） ○公立弥生学校開校 ○私立東川学校開校（同年，公立に編入して公立東川学校となる） ○開拓使を廃止，三県（函館，札幌，根室）を設置 ○函館県に教育令実施 ○公立函館女学校開校（翌年，公立女子小学校と改称） ○私立高砂学校開校（翌年，私立高砂小学校と改称，明治17年公立に編入） ○この年，函館の人口36,419人，学齢児童5,049人，就学児童2,014人，未就学児童2,945人 ○公立小安学校開校（戸井）
〃 16年	(1883)	○函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置，満3歳からの幼児20名を収容（函館における最初の幼稚園） ○函館県小学校校則，函館県小学校教則実施 ○函館商船学校が県立に移籍（のち官立となり，東京商船学校函館分校となる） ○公立幸小学校開校，公立東川学校を公立東川小学校に改称 ○私立商業学校が開校
〃 17年	(1884)	○私立商業学校内に私立末広小学校開設 ○元町ハリストス教会内に私立正教女学校裁縫場開設（のちの正教女学校の創始） ○函館師範学校に教員講習場を設け，県内郡区の教員を対象に講習会開催 ○函館公園内に博物場第二号館開設 ○白浜学校，小安学校を合併し，小安学校とした。（戸井）
〃 18年	(1885)	○函館師範学校内に県立函館女学校創立 ○私立皇漢英学講習所，私立五島学舎，私立函館学校開校，嘯山私塾開設 ○戸井小学校新築
〃 19年	(1886)	○私立聖保禄女学校（現白百合高等学校）が開校 ○私立豊川小学校，浜野小学校，堀川小学校，巴小学校が開校 ○県が廃止され，札幌に北海道庁を設置 ○札幌・函館の師範学校を廃止，改めて札幌に北海道師範学校を設置 ○函館に当分，北海道師範学校分校を設置 ○日浦簡易小学校開校
〃 20年	(1887)	○公立住吉，東川，高砂，幸の4小学校を私立小学校とする ○庁立函館商業学校開校 ○私立函館学校内に私立函館幼稚園開設 ○北海道師範学校函館分校廃校（師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称）
〃 21年	(1888)	○公立函館書籍館開館 ○私立六和女学校開校（現大谷高等学校の前身） ○榎法華簡易小学校 校舎改築
〃 22年	(1889)	○公立函館女学校開校（高等学校に類する女学校，修業年限4か年，ほかに別科として16歳以上の女子が入学） ○私立函館学校廃校（高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍） ○高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校 ○聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校 ○古武井教育所を根田内（恵山）小学校に合併
〃 23年	(1890)	○元町正教女学校に西洋裁縫科設置 ○私立恵似小学校開校（真宗大谷派北海道慈恵会設立）
〃 24年	(1891)	○官立函館商船学校新築落成，東京商船学校函館分校と改称

明治25年	(1892)	○亀尾小学校開校 ○英人ネトルシップ, 元町に「旧土人学校」を開設 ○私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校 ○戸井小学校鎌歌分校設置
〃	26年 (1893)	○公立函館女学校を公立函館女子高等小学校と改称
〃	28年 (1895)	○米人シャーロツテ・ドレバー, 函館訓盲会を設立 (現函館盲・聾学校の前身) ○庁立函館商業学を廃止し, 庁立函館尋常中学校 (現函館中部高等学校の前身) を開校, 商業専修科併設 ○楯法華簡易小学校を楯法華尋常小学校と改称
〃	29年 (1896)	○私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
〃	30年 (1897)	○公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校 (幸・宝小学校の改称)
〃	31年 (1898)	○住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
〃	32年 (1899)	○函館尋常中学校商業専修科を廃止, 元町に庁立函館商業学校を新設・開校
〃	33年 (1900)	○函館区に初めて7名の学務委員設置 (公民2, 区会議員3, 教員2) ○戸井小学校鎌歌分校が独立し, 鎌歌小学校となる。
〃	34年 (1901)	○東京商船学校函館分校廃止, 庁立函館商船学校が開校 (のち七重浜に移転) ○庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称 (明治39年現時任町に移転) ○戸井, 瀬田来両尋常小学校を合併し, 日新尋常小学校と改称
〃	35年 (1902)	○私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
〃	36年 (1903)	○函館区中部方面の学齢児童増加, 宝, 東川, 住吉, 高砂, 亀田の各小学校で二部授業開始 ○若松尋常高等小学校開校 ○古武井教育所を根田内 (恵山) 小学校から分離し, 古武井小学校を開校
〃	38年 (1905)	○庁立函館高等女学校開校 (現函館西高等学校の前身) ○宝小学校に宝補習夜学校を付設
〃	39年 (1906)	○私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
〃	40年 (1907)	○小学校令改正, 義務教育6か年制開始
〃	41年 (1908)	○市立函館幼稚園が栄町に設立 (昭和7年愛国婦人会函館幼稚園, 昭和18年函館幼稚園として市立に移管)
〃	42年 (1909)	○弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催 (函館初の展覧会) ○函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置 (渡辺熊四郎の寄付) ○私立函館図書館が函館公園内に設置・開館
〃	43年 (1910)	○公会堂落成・開堂 (相馬哲平氏の寄付)
〃	44年 (1911)	○公立函館工業補習学校が青柳町に開校 (大正9年新川町に新校舎に移転)
〃	45年 (1912)	○新川尋常小学校開校
<hr/>		
大正2年	(1913)	○公立第二東川尋常小学校が開校 ○私立遺愛幼稚園が開園 ○五稜郭跡, 函館区に貸与 (翌年6月, 公園として一般公開)
〃	3年 (1914)	○北海道函館師範学校開校 (現北海道教育大学函館校の前身)
〃	5年 (1916)	○函館図書館五階建書庫落成 (相馬哲平氏の寄付)
〃	6年 (1917)	○公立千代ヶ袋尋常小学校開校 ○函館教育会主催, 学童水泳会 (七重浜, 水泳学校の最初) ○小熊育英資金創始 (小熊幸一郎氏の寄付) ○公立第一尋常夜学校 (第二東川小学校内), 公立第二尋常夜学校 (新川小学校内) 開校 ○函館慈恵院附属大森小学校開校
〃	7年 (1918)	○最初の区視学, 任命
〃	8年 (1919)	○楯法華尋常小学校 校舎新築落成

大正 9 年 (1920)	○公立松風尋常高等小学校落成，授業開始（翌10年開校式） ○榎法華尋常小学校高等科を併置，榎法華尋常高等小学校と改称
〃 10年 (1921)	○千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 ○函館教育会主催第一回児童安全デー開催（児童の交通安全を強調） ○函館教育会主催第一回林間学校開設（最初の林間学校・大正15年から市が主催） ○区立函館工業学校開校（翌年庁立，現函館工業高等学校の前身） ○公立巴尋常小学校開校
〃 11年 (1922)	○函館支庁を渡島支庁と改称 ○函館区が函館市となり，区立小学校は市立小学校と改称 （当時，市内の市立尋常高等小学校は，弥生，函館女子，住吉，宝，東川，松風，若松，千代ヶ岱，亀田の9校，市立尋常小学校は，幸，常盤，第二東川，高砂，巴，新川の6校，私立小学校は，鶴岡尋常小学校，函館慈恵院附属大森小学校の2校） ○五稜郭跡が国の史跡に指定
〃 12年 (1923)	○函館中学校に夜間中学校が開校 ○函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和18年廃刊） ○私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
〃 13年 (1924)	○谷地頭尋常高等小学校，弥生女子尋常高等小学校が開校 ○私立函館大妻技芸学校開校 （蓬萊町に開校，翌年松風町，昭和4年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
〃 14年 (1925)	○私立遺愛第二幼稚園開園 ○函館市学校衛生婦会発足 ○尻岸内小学校，根田内（恵山）小学校に高等科を設置
〃 15年 (1926)	○函館市主催第一回林間学校，五稜郭公園内で開催 ○市教育課内に学校衛生主事を設置
昭和 2 年 (1927)	○万年橋尋常小学校開校 ○函館教育会主催，ベストロッチ百年祭記念座談会開催（五島軒） ○私立函館図書館が市立移管（新築して翌年7月開館） ○大森尋常高等小学校開校
〃 3年 (1928)	○柏野尋常小学校開校 ○市立函館商工実修学校（商業部，工業部，女子商業部）開校
〃 4年 (1929)	○弥生女子尋常高等小学校ほか7校（谷地頭，住吉，東川，第二東川，松風，千代ヶ岱，巴）の高等科を廃止，市内高等科の女児全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年3月）に収容し，授業開始 ○国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
〃 5年 (1930)	○谷地頭，住吉，汐見，新川の4小学校に虚弱児童の養護学級設置 ○私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） ○私立函館大谷幼稚園開園
〃 6年 (1931)	○函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
〃 7年 (1932)	○函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 ○第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 ○函館学校歯科医師会創設 ○函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集，発行 ○函館市小学校診療所を松風小学校に開設
〃 8年 (1933)	○中島尋常小学校開校
〃 9年 (1934)	○四稜郭が国の史跡に指定 ○志苔館跡が国の史跡に指定

昭和9年	(1934)	○函館大火により、罹災学童18,046名、死亡学童218名
〃 10年	(1935)	○坂本市長「函館市教育是」発表 ○函館放送局が学校放送を開始 ○官立函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） ○庁立函館商船学校が廃止され、新たに庁立函館水産学校が開校 ○私立竜谷幼稚園開園 ○第一回北洋漁業視察小学校教員団9名出発 ○第一回「港まつり」挙行
〃 11年	(1936)	○住吉尋常小学校を青柳尋常小学校、大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 ○的場尋常高等小学校開校 ○私立函館第二大谷幼稚園開園
〃 12年	(1937)	○宝・松風・若松・新川の4小学校が尋常小学校となり、高等科廃止 ○大森尋常小学校開校 ○私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 ○東川青年学校開校
〃 13年	(1938)	○弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
〃 14年	(1939)	○湯川町が函館市に合併 尋常高等小学校2校(湯川・亀尾)、尋常小学校3校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管 ○昭和技芸学校を私立昭和女子高等技芸学校（旧制中学校）と改称 ○私立函館経理学校が開校（現函館大学付属有斗高等学校の前身）
〃 15年	(1940)	○函館市立中学校が開校（旧函館東高等学校、現市立函館高等学校の前身）
〃 16年	(1941)	○国民学校令、国民学校施行規則が公布され、小学校は国民学校と改称 ○八幡国民学校開校、的場青年学校開校 ○太平洋戦争爆发 ○榎法華尋常高等小学校を榎法華国民学校と改称
〃 17年	(1942)	○谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 ○市教育課に体育主事設置
〃 18年	(1943)	○函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 ○市立函館幼稚園開園（愛国婦人会函館幼稚園が市立移管）
〃 19年	(1944)	○寅沢国民学校が廃校 ○函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
〃 20年	(1945)	○市内国民学校初等科児童が集団疎開（亀尾、鱒川、銭亀沢、石崎、島川、市渡、駒ヶ岳、大沼、森、濁川、大野、清水、知内、湯里、吉岡、福島、松前等の学校、寺院その他へ分散宿泊） ○ポツダム宣言を受諾、終戦 ○谷地頭国民学校が廃止され、同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
〃 21年	(1946)	○放出物資によるミルク補食給食開始 （11月～幸小学校、翌年～高盛、千代ヶ岱、常盤、東川小学校） ○榎法華小学校 校舎新築
〃 22年	(1947)	○教育基本法、学校教育法が公布（教育制度改革、六三三制発足） ○函館市新学制実施協議会を結成 ○国民学校の名称が小学校と改称 ○新制中学校、公立13校（的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭）国立1校（附属）私立3校（遺愛・大谷・白百合） ○函館市公民館開館（旧青年会館） ○函館市学校図書館研究会発足（全国で最初） ○小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置（戸井） ○榎法華中学校開校

昭和22年 (1947)	○尻岸内小学校, 恵山小学校, 古武井小学校, 日浦小学校に新制中学校を併置
〃 23年 (1948)	○函館教育会が解散 (函館文化会が継承) ○万年橋中学校を大川中学校と改称 ○新制高等学校が発足 ○高盛中学校, 松風中学校, 青柳中学校が開校 ○教育委員会法公布 ○市立函館図書館第一分館開設 ○市立函館博物館開設 (市立図書館内) ○日米文化センターが開設 ○椴法華中学校校舎新築落成
〃 24年 (1949)	○第一回函館市成人祭実施 ○レッド・ページにより, 6名の教員に休職発令 ○亀田村字港地区が函館市に合併 (港小学校が市立移管) ○弥生中学校を船見中学校と改称 ○時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校 ○私立函館藤幼稚園が開園 ○北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称
〃 25年 (1950)	○函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称 ○駒場小学校・千代田小学校が開校 ○愛宕中学校が開校 ○高盛中学校を光成中学校, 松風中学校を松川中学校, 中島中学校を中央中学校に改称 ○函館白百合幼稚園が開園 (昭和39年元町より当時亀田町本通に移転) ○青柳中学校を谷地頭中学校と改称し, 北海道第二師範学校女子部跡に移転 ○港小学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○柏野小学校に養護学級 (3学級) を設置 ○第一回函館市教育宝くじ発売 ○函館市文化賞規則制定 (文化の日, 第一回授与式举行)
〃 26年 (1951)	○函館昭和女子高等技芸学校移転 (西川町→東川町) し, 昭和竜谷技芸高等学校に改称 ○千代ヶ岱公園に市営野球場が完成 ○第一回成人学校開校 ○函館市奨学資金条例制定 ○私立函館ちとせ幼稚園が開園 ○日新中学校独立校舎竣工 (戸井) ○尻岸内第一中学校開校 (日浦中学校と尻岸内中学校の統合) ○尻岸内第二中学校開校 (恵山中学校と古武井中学校の統合)
〃 27年 (1952)	○文部省モデルスクールの新川中学校が落成 ○谷地頭中学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○函館市学校給食研究会発足, 給食用パン代補助開始 ○函館市教育委員会が発足 ○私立めぐみ幼稚園開園 (昭和49年本町より桔梗町に移転, 桔梗めぐみ幼稚園と改称) ○潮光中学校独立校舎竣工 (戸井) ○国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定
〃 28年 (1953)	○函館市教育委員会公報, 創刊号を発行 ○函館市新学制実施協議会を改め, 函館市学校教育審議会発足 ○函館商科短期大学開校 ○函館大妻技芸高等学校移転 (高砂町→川原町) ○公立戸井高等学校開校

昭和29年	(1954)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回函館山市民ハイキング大会実施 ○尻岸内第二中学校を東光中学校に校名変更 ○尻岸内第一中学校を尻岸内中学校に校名変更
〃	30年 (1955)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市視聴覚ライブラリーを設置 ○谷地頭小学校開校 ○谷地頭中学校を潮見中学校と改称 ○第一回水泳学校開催（七重浜） ○市立函館博物館五稜郭分館が開館
〃	31年 (1956)	<ul style="list-style-type: none"> ○金堀小学校開校 ○私立国華幼稚園，私立ひまわり幼稚園が開園
〃	32年 (1957)	<ul style="list-style-type: none"> ○港中学校開校 ○函館市教育目標および教育課程を編成 ○函館市学校教育の重点を設定 ○函館市教育研究所を設置 ○私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校） ○私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園
〃	33年 (1958)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回市民体育祭開催（千代ヶ岱公園陸上競技場） ○港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置 ○私立函館若葉幼稚園開園 ○古武井小学校新校舎落成
〃	34年 (1959)	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和38年，若松小の特殊学級廃止） ○函館市青少年保護育成事務局発足 ○函館市青少年補導センター発足 ○アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定
〃	35年 (1960)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市青少年問題協議会発足 ○函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を開設 ○私立ラ・サール高等学校開校 ○私立函館第三大谷幼稚園開園 ○尻岸内中学校新校舎落成
〃	36年 (1961)	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀中学校開校 ○弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成 ○亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校 ○私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園 ○昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称 ○函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称 ○安全都市宣言
〃	37年 (1962)	<ul style="list-style-type: none"> ○五稜中学校開校 ○函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を五稜中学校に移管 ○函館市文化財保護条例公布・施行 ○国立函館工業高等専門学校開校
〃	38年 (1963)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館大谷女子短期大学開校 ○函館北高等学校開校 ○市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」（肢体不自由）を開設 ○柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置 ○的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和48年廃止）

昭和38年	(1963)	○村立戸井高等学校独立校舎竣工
〃 39年	(1964)	○日吉が丘小学校開校 ○完全給食（A型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の25小学校，亀尾・鱒川の2中学校） ○昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転 ○万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級（精神薄弱）を開設
〃 40年	(1965)	○函館市立道南青年の家が落成 ○市内初の学校プールを金堀小学校に設置 ○函館大学開校 ○松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○学校給食センター落成（恵山地区）
〃 41年	(1966)	○市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設） ○中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称） ○市立函館博物館本館開館 ○銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校，石崎小学校，宇賀小学校，銭亀沢中学校が市立移管） ○私立函館短期大学附属幼稚園開園
〃 42年	(1967)	○学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため，初の学校開放実施（新川小学校） ○函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置 ○亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定 ○戸井村学校給食開始 ○戸井中央公民館開館 ○第1回戸井村文化祭開催
〃 43年	(1968)	○桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○戸井青少年会館開館 ○尻岸内小学校に特殊学級を開設 ○恵山小学校につつじ小公園を設置 ○尻岸内町郷土博物館開館
〃 44年	(1969)	○函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転 ○函館市青年センター開館 ○梁川交通公園開設 ○昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称 ○市立函館博物館郷土資料館開館
〃 45年	(1970)	○町立北海道恵山高等学校開校（古武井小学校仮校舎） ○上湯川小学校開校 ○西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合） ○函館市民会館開館 ○第一回新成人海外派遣実施
〃 46年	(1971)	○深堀小学校開校 ○大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置 ○函館市民プール開館 ○太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定

昭和46年	(1971)	○戸井高等学校が全日制となる。
		○南茅部町青少年会館開館
〃 47年	(1972)	○東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合）
		○函館市働く婦人の家開館
		○戸井郷土館開館
		○南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館
〃 48年	(1973)	○新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置
		○戸倉中学校開校
		○市立日吉幼稚園開園
		○亀田市が函館市と合併 （亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校，鍛神小東山分校， 桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入，私立太陽の子幼稚園，私立大谷短期大学 附属幼稚園，私立函館白百合学園幼稚園，私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる）
		○私立函館白百合学園中学校休校
		○東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井）
		○北海道恵山高等学校，実習用漁艇「第一えさん」竣工
〃 49年	(1974)	○私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し，花園大谷幼稚園として開園
		○函館市南北海道教育センター開所
		○函館市民体育館開館
		○旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定
		○総合体育館および町民プール落成（恵山地区）
		○北海道恵山高等学校新校舎落成
〃 50年	(1975)	○北日吉小学校開校
		○本通中学校開校
		○「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級（精神薄弱）を開設
		○重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足
		○著保内野で中空土偶発見
		○北海道恵山高等学校，実習用漁艇「第五えさん」竣工
〃 51年	(1976)	○北昭和小学校開校
		○高丘小学校開校
		○万年橋幼稚園開園
		○日吉が丘小学校に特殊学級（情緒障がい）を設置
		○「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級（精神薄弱）を設置
		○市立函館図書館赤川通分室開館
		○第一回函館市婦人大学講座開設
		○第一回市民美術公募展開催
		○国立函館大学誘致促進期成会発足
		○戸井高等学校道立移管
〃 52年	(1977)	○西中学校開校（船見中学校と愛宕中学校の統合）
		○市立函館図書館上湯川児童図書室開館
		○私立第2太陽の子幼稚園開園
		○第1回はこだて放送文化セミナー開設
		○総合センター（戸井総合学習センター）開館
		○恵山小学校新校舎落成
〃 53年	(1978)	○中部小学校が開校（新川小学校と松風小学校の統合）
		○東山小学校が開校
		○函館東高等学校校舎改築に着手（計画年度昭53～58）
		○市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設

昭和53年 (1978)	<ul style="list-style-type: none"> ○見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施 ○日新小学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 校舎改築落成 ○日浦小学校新校舎落成
〃 54年 (1979)	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡小学校開校 ○北美原小学校開校 ○私立函館ひかり幼稚園開園 ○北海道五稜郭養護学校開校 (青柳小学校特殊学級(肢体不自由), 旭中学校特殊学級(肢体不自由), 柏野小学校特殊学級(病弱虚弱), 五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止) ○市立小・中学校に米飯給食を導入(週1回) ○移動図書館車(ともしび号)運行開始 ○土偶が国の重要文化財に指定 ○北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事实施 ○権現台場遺跡発掘調査実施(昭54～55年度) ○函館市道立高等学校誘致促進期成会発足 ○私立函館あおい幼稚園が開園 ○日新中学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 屋内体育館改築落成 ○週1回の米飯給食を開始(恵山地区) ○総合体育館付設テニスコート完成(恵山地区)
〃 55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川中学校開校 ○私立函館三育小学校開校 ○銭亀沢中学校校舎改築 ○重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手(昭55～57年度) ○第1回函館子どもの船開設 ○第1回函館市民健康マラソン大会開催 ○特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手(昭55～56年度) ○函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁庁舎保存修理工事着手(昭55～56年度) ○函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設 ○函館市に道立高等学校の新設決定, 昭和58年度開校 〔北海道教育長期総合計画(後期実施計画)〕 ○函館市学校教育の重点を改訂 ○楳法華総合センター開館 ○東光中学校新校舎落成 ○週2回の米飯給食を開始(恵山地区) ○東光中学校体育館落成
〃 56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡中学校開校 ○湯川中学校分教場新築工事着手(翌年市立北中学校として開校) ○私立湯川明照幼稚園廃止 ○私立ききょう幼稚園開園 ○私立高丘幼稚園開園 ○特別史跡五稜郭跡一の橋, 二の橋修理工事完成 ○函館市総合文化センター基本計画策定 ○第1回函館子どもの祭典開催 ○戸井西幼稚園開園(戸井地区)
〃 57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ○北中学校開校 ○凌雲中学校開校(中央中学校と松川中学校の統合)

- 昭和57年 (1982)
- 北洋資料館開館
 - 教育委員会施行30周年記念事業
〔文化講演会, 函館市教育委員会のあゆみ刊行(編集昭和57年度～59年度)〕
 - 「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足
 - 市立函館図書館湯川配本所開館(湯川支所内)
 - 銭亀沢中学校校舎改築
 - 北海道五稜郭養護学校校舎落成
 - 北海道函館養護学校校舎落成
 - 楳法華中学校改築
 - 古武井小学校新校舎落成
 - 尻岸内小学校の体育館, 音楽および理科の特別教室落成
 - 北海道恵山高等学校の定時制課程の生徒募集を停止し, 全日制課程, 漁業経営科1学級40名をもって昭和58年4月1日に開校する許可
 - 東光中学校のグラウンド整備工事完成
- // 58年 (1983)
- 南本通小学校開校
 - 北海道函館稜北高等学校開校
 - 義務教育施設整備目標策定(昭59～平5年度)
 - すずらん留守家庭児童会開設(上湯川小学校内)
 - 西部地区伝統的建造物群調査実施
 - 函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定
 - 北海道恵山高等学校全日制課程漁業経営科第一回入学式
- // 59年 (1984)
- 桔梗中学校開校
 - 函館大谷高等学校が男女共学開始
 - 核兵器廃絶平和都市宣言
 - 南茅部町スポーツセンター(南茅部スポーツセンター)開設
- // 60年 (1985)
- 函館市教育委員会30年誌発行
 - 千代田小学校校舎改築(昭59～60年度)
 - サイベ沢遺跡発掘調査完了(昭59～60年度)
 - 町民運動広場(戸井運動広場)完成(戸井地区)
 - ふれあい高齢者大学開設(恵山地区)
 - 尻岸内小学校新校舎落成
- // 61年 (1986)
- 中の沢小学校校舎・屋体改築
 - 湯川小学校校舎・防音改築(昭58～61年度)
 - 北海道立函館美術館開館
 - 市民プール50mプール改築(昭59～61年度)
 - ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了(昭59～61年度)
 - 北海道恵山高等学校全日制課程普通科第一回入学式
- // 62年 (1987)
- 北海道恵山高等学校定時制課程閉課記念式典挙行
 - 北星小学校校舎・屋体新築(昭61～62年度)
 - 尻岸内中学校体育館に暖房設備を設置
 - 尻岸内中学校新校舎落成
- // 63年 (1988)
- 史跡志苔館跡環境整備事業完了(昭58～62年度)
 - 函館市学校教育の重点を改訂
 - 北星小学校開校(巴小学校と若松小学校の統合)
 - 義務教育施設整備計画〔木造校舎・屋内運動場改築事業(平元～7年度)〕策定
 - 駒場小学校火災焼失(1月25日), 建設着手
 - 亀田中学校校舎改築(昭62～63年度)

昭和63年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> ○第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ○陣川町遺跡発掘調査完了(昭62～63年度) ○重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) ○函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 ○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 ○南茅部町民運動公園(南茅部運動広場)開設
平成元年 (1989)	<ul style="list-style-type: none"> ○財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 ○駒場小学校改築 ○柏野小学校校舎改築(昭和63～平成元年度) ○権現台場遺跡発掘調査実施 ○第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季),自転車競技(秋季)を開催 ○函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 ○伝統的建造物群保存地区保存事業開始 ○国際観光都市宣言 ○町民プールの温水化工事を実施(恵山地区) ○古武井小学校児童通路の緑化事業および芝生植栽工事完成
〃 2年 (1990)	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校開校(青柳小学校と谷地頭小学校の統合) ○桔梗小学校改築(平成元～2年度) ○亀田小学校改築(平成元～2年度) ○「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託(平成2～3年度) ○「第4回ツール・ド・北海道」開催 ○特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 ○史跡四稜郭環境整備事業完了 ○箱館奉行所復元詳細調査実施 ○南茅部町民白尻スキー場(現白尻スキー場)開設 ○南茅部町民テニスコート(現南茅部市民庭球場)開設 ○ふるさとの民話集第一号完成(恵山地区) ○尻岸内中学校グラウンド整備工事完成
〃 3年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川小学校改築 ○万年橋小学校改築(平成2～3年度) ○湯川中学校改築(平成2～3年度) ○第1回函館ハーフマラソン大会開催 ○函館市青少年芸術教育奨励事業開始 ○豊原2遺跡発掘調査実施(平成3～5年度) ○小・中学校へのコンピュータ導入
〃 4年 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> ○潮見中学校改築(平成3～4年度) ○市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 ○中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 ○「スポーツ健康都市宣言」制定
〃 5年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ○宇賀の浦中学校開校(旭中学校と新川中学校の統合) ○函館市文学館開館(北方民族資料館は単独館化) ○中島小学校改築(平4～5年度) ○八幡小学校改築(平4～5年度) ○外国人英語指導助手導入
〃 6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> ○千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)全面改修

平成6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> ○「第8回ツール・ド・北海道」開催 ○石倉貝塚発掘調査実施（平成6～8年度） ○港小学校改築（平成5～6年度） ○港中学校改築（平成5～6年度） ○「いきいき長寿都市宣言」制定 ○社会科副読本「わたしたちのまち恵山」完成（恵山地区） ○古武井小学校の児童を対象に恵山町初のバイキング給食を開始
〃 7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> ○神山小学校開校 ○金堀小学校改築（平成6～7年度） ○深堀中学校改築（平成6～7年度） ○外国人英語指導助手増員（2名体制） ○湯川ネット式海水浴場開設
〃 8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習部設置（社会教育部を改組） ○社会教育施設整備基本計画策定 ○生涯学習推進基本構想策定 ○鱒川小中学校改築 ○石崎小学校改築 ○鍛神小学校改築（平成7～8年度） ○桐花中学校改築（平成7～8年度） ○外国人英語指導助手増員（3名体制） ○函館市青少年研修センター（ふるる函館）開所 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始（平成8～9年度） ○大船C遺跡（現大船遺跡）発掘調査実施（平成8～13年度，17～18年度）
〃 9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立函館大学付属女子高等学校を私立函館大学附属柏稜高等学校と改称（男女共学） ○私立函館白百合学園中学校再開 ○第2次義務教育施設整備計画策定 ○函館市日吉サッカー場完成 ○港小学校プールに上屋設置 ○本通中学校屋内体育館改修（7月6日火災による） ○中の沢小学校上屋付プール完成 ○第2回北海道生涯学習フェスティバル開催 ○「一男女共同参画社会をめざすーはこだてプラン21」策定 ○小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始 ○潮光中学校新校舎完成
〃 10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> ○「戦後学校教育の五十年」の発行 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続（2名体制） ○函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）完成 ○ウィークエンド・サークル活動推進事業開始 ○美原図書館夜間開館試行 ○駒場小学校上屋付プール完成 ○青柳小学校プールに上屋設置 ○「第12回ツール・ド・北海道」開催 ○長野県南佐久郡白田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結 ○戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設 ○戸井幼稚園開園（戸井東幼稚園と戸井西幼稚園の統合） ○鎌歌小学校を閉校し，日新小学校に統合 ○戸井西小学校開校（汐首小学校と小安小学校の統合）

平成10年	(1998)	○戸井生涯学習センター開館 ○南茅部町民プール（南茅部プール）開館
〃	11年 (1999)	○函館市千代台公園陸上競技場全面改修 ○北美原小学校，赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○南本通小学校プールに上屋設置 ○瀬戸川1遺跡発掘調査実施（平成11～12年度） ○私立函館ラ・サール中学校開校 ○函館市千代台公園弓道場火災焼失(10月30日) ○南茅部町立古部小学校廃校 ○南茅部町立磯谷小学校廃校 ○古部体育館，古部グラウンド，磯谷体育館，磯谷グラウンド開設
〃	12年 (2000)	○湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて3校体制に） ○外国人英語指導助手増員（5名体制に） ○函館市千代台公園弓道場改修 ○郷土資料館（旧金森洋物店）改修 ○中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定 ○豊原4遺跡発掘調査実施（平成12～13年度） ○垣ノ島A遺跡発掘調査実施（平成12～21年度）
〃	13年 (2001)	○教育委員会事務局を生涯学習部・学校教育部の2部制に（管理部を廃止） ○女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） ○特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 ○「第15回ツール・ド・北海道」開催 ○旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 ○旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 ○柏野小学校，中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○湯川中学校肢体不自由特殊学級開設 ○大船遺跡が国の史跡に指定
〃	14年 (2002)	○亀尾小学校特認校に指定 ○中部小学校，港中学校に弱視特殊学級開設 ○東小学校に知的障がい特殊学級開設 ○桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 ○学校完全週5日制施行 ○学校評議員制度導入 ○あさひ小学校開校（大森小学校と東川小学校の統合） ○市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 ○志海苔古銭と大甕，函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に ○中央図書館プロポーザルコンペ実施 ○市立函館図書館第1分館廃止
〃	15年 (2003)	○市立はこだて幼稚園開園（函館幼稚園と松風幼稚園の統合） ○市立函館図書館千歳図書室開設 ○蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） ○あさひ小学校，高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設 ○北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定

- 平成16年 (2004)
- 「第18回ツール・ド・北海道」開催
 - えさん小学校開校（尻岸内小学校，恵山小学校，古武井小学校，日浦小学校の統合）
 - 戸井町，恵山町，榎法華村，南茅部町が函館市と合併
（戸井西・日新・えさん・榎法華・木直・磨光・臼尻・大船の8小学校，潮光・日新・尻岸内・東光・榎法華・尾札部・臼尻の7中学校，恵山高校，戸井幼稚園が函館市立として編入，道立戸井高校，道立南茅部高校の2高校が函館市内となる）
 - 国指定史跡大船遺跡，国指定重要文化財土偶が市に移管（南茅部）
 - 名勝旧岩船氏庭園（香雪園）保存修理事業実施（平成16～21年度）
 - 函館市スポーツ振興計画策定
 - 市立函館図書館上湯川児童図書室閉館
- // 17年 (2005)
- 八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設
 - 旭岡小，鍛神小，戸倉中に知的障がい特殊学級開設
 - 深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設
 - 尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設
 - 恵山中学校開校（尻岸内中学校と東光中学校の統合）
 - 函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転
 - 市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館
 - 遺愛学院（旧遺愛女学校）本館が国の重要文化財に追加指定
 - 大船遺跡発掘調査実施
 - 垣ノ島遺跡発掘調査実施
 - 市民体育館天井改修工事のため休館（6/30～12/17）
 - 函館市中央図書館開館
 - 北星小，駒場小，港中，臼尻小，恵山中に知的障がい特殊学級開設
 - 昭和小学校改築（平成17～19年度）
- // 18年 (2006)
- 函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定
 - 函館市文化芸術振興条例施行
 - 函館公園が国の登録記念物に指定
 - ブラキストンの大形磨製石斧，高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定
 - 放送大学函館学習室開設（函館大学内）
 - 特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手（平成18～22年度）
 - 弥生小，千代田小，港小，桔梗小，本通小，南本通小に情緒障がい特殊学級開設
 - 高丘小に知的障がい特殊学級開設
 - 的場中に肢体不自由特殊学級開設
 - 「縄文シティサミットinはこだて」，「縄文市民サミット」開催
- // 19年 (2007)
- 函館市西桔梗野球場開設
 - 市立函館高等学校開校（函館東高等学校と函館北高等学校の統合）
 - 土偶が国宝に指定
 - 函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定
 - 外国人英語指導助手増員（6名体制に）
 - 市立函館高等学校改修
 - 市立函館博物館五稜郭分館閉館
 - 万年橋小，日吉が丘小，昭和，鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設
 - 北日吉小，えさん小に知的障がい特別支援学級開設
 - 東山小に肢体不自由特別支援学級開設
- // 20年 (2008)
- 北日吉小，鱒川小，榎法華小，本通中に情緒障がい特別支援学級開設
 - 桔梗小，本通中に知的障がい特別支援学級開設
 - 鍛神小，北中に肢体不自由特別支援学級開設
 - 市立万年橋幼稚園，市立日吉幼稚園廃止

平成20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ○南部忠平記念陸上大会開催 ○五稜郭初度設計図と五稜郭平面図が市の有形文化財に指定 ○史跡大船遺跡が世界文化遺産暫定一覧表に登載
〃 21年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道函館恵山高等学校閉校 ○弥生小学校開校（西小学校と弥生小学校の統合） ○八幡小，高盛小，木直小，亀田中，恵山中に知的障がい特別支援学級開設 ○磨光小，潮見中，港中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○日吉が丘小に肢体不自由特別支援学級開設
〃 22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術アウトリーチ事業開始 ○特別史跡五稜郭跡内に箱館奉行所開館 ○重要文化財旧函館区公会堂築100年記念事業の実施 ○金堀小，深堀小，昭和小，神山小，本通小，宇賀の浦中，尾札部中，白尻中に知的障がい特別支援学級開設 ○北星小，高盛小，東小，西中，恵山中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○中島小に肢体不自由特別支援学級開設 ○昭和小，港中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○椴法華中親子学校給食共同調理場供用開始 ○ツール・ド・北海道2010開催 ○第20回記念2010函館ハーフマラソン大会開催
〃 23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> ○垣ノ島遺跡が国の史跡に指定 ○はつらつママさんバレーボール in Hakodate開催 ○赤川小，磨光小，白尻小，港中，的場中，深堀中に知的障がい特別支援学級開設 ○金堀小，駒場小，神山小，東山小，北中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○湯川中に肢体不自由特別支援学級開設 ○磨光小学校開校（磨光小学校と木直小学校の統合） ○縄文文化交流センター開館 ○椴法華総合センター改修 ○日吉が丘小学校・五稜中学校耐震化
〃 24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> ○円空作仏像観音像が市の有形文化財に指定 ○青柳小，北星小，万年橋小，東山小，北中に知的障がい特別支援学級開設 ○八幡小，高丘小，旭岡小，本通小，白尻小，桔梗中，亀田中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○弥生小学校新校舎供用開始 ○凌雲中学校耐震化
〃 25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> ○市制施行90周年記念第29回「平和の日」函館の集い開催 ○青柳小，中島小，石崎小，えさん小，宇賀の浦中，赤川中，潮光中，椴法華中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○本通中に肢体不自由特別支援学級開設 ○青柳小学校，深堀小学校耐震化 ○函館市学校給食基本方針策定 ○旧市立函館図書館書庫改修
〃 26年 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食で「和食の日」開始 ○日吉が丘小，北日吉小，銭亀沢中に知的障がい特別支援学級開設 ○的場中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○昭和小，磨光小に肢体不自由特別支援学級開設 ○鱒川中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○豊原4遺跡出土の足形付土版等一括資料が市の有形文化財に指定 ○函館市公民館改修

- 平成26年 (2014)
- 南茅部総合センター開館（南茅部公民館改修）
 - 千代ヶ岱小・東山小・楳法華小・深堀中耐震化
- // 27年 (2015)
- 北海道戸井高等学校閉校
 - 特別支援教育推進体制の改善
 - 函館市教育支援委員会開設
 - 函館アリーナ開館
 - 函館フットボールパーク開設
 - 北日吉小・湯川小・上湯川小・旭岡小・東小・北昭和小・昭和小・北美原小・鍛神小・本通小・白尻小・大船小・湯川中・旭岡中・銭亀沢中・赤川中・亀田中・本通中・恵山中・戸井幼稚園耐震化
 - 戸井公民館・戸井郷土館・戸井埋蔵文化財展示館・戸井青少年会館閉館
- // 28年 (2016)
- 特別史跡五稜郭跡で平成26年に崩落した石垣の修復完了
 - 戸井西部総合センター開館
 - 五稜郭中学校開校（五稜中学校・大川中学校・桐花中学校の統合）
 - あさひ小，柏野小，上湯川小に知的障がい特別支援学級開設
 - 千代ヶ岱小，赤川中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設
 - 千代田小に肢体不自由特別支援学級開設
 - 北海道豊原4遺跡土坑出土品が国の重要文化財に指定
 - 函館マラソン開催（初のフル・ハーフ同時開催）
 - 第51回全国史跡整備市町村協議会大会開催
 - 函館市いじめ防止基本方針を策定（平成29年2月策定）
- // 29年 (2017)
- 戸倉中学校開校（戸倉中学校と亀尾中学校の統合）
 - 北星小，千代ヶ岱小，中島小，大船小，潮光中に知的障がい特別支援学級開設
 - 上湯川小，鱒川小，南本通小，磨光小，銭亀沢中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設
 - 白尻C遺跡出土の赤彩土器が市の有形文化財に指定
 - 日米親善人形『アリソン』ほか3件が市の有形文化財に追加指定
 - 伝統長唄保存会が国の重要無形文化財長唄の保持者に認定（構成員1名が函館市在住）
 - ツール・ド・北海道2017開催
 - 「縄文シティサミットinはこだて」開催
 - 松前神楽が国の重要無形民俗文化財に指定
 - 函館市民会館 耐震改修工事に伴い休館（平成29年11月～令和2年3月）
 - 「教職員の業務改善のための取組」の策定（平成29年12月策定）
 - 巴中学校校舎・屋内運動場・共同調理場新築
 - 戸倉中学校屋内運動場改築
 - 函館市教育振興基本計画策定
 - 函館市スポーツ推進計画策定
 - 美原図書室・南茅部青少年会館・亀田福祉センター閉館
- // 30年 (2018)
- 学校教育審議会を廃止し，教育振興審議会を設置
 - いじめ防止対策審議会を設置
 - 青柳中学校開校（西中学校・潮見中学校・宇賀の浦中学校の統合）
 - 巴中学校開校（凌雲中学校・光成中学校・的場中学校の統合）
 - 巴中学校親子学校給食共同調理場供用開始
 - 高盛小，東小，石崎小，南本通小，鱒川中に知的障がい特別支援学級開設
 - 東小，楳法華中，白尻中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設
 - 八幡小，本通小に肢体不自由特別支援学級開設

- 平成30年（2018）
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産の国内推薦候補として選定（平成30年度の国内推薦は最終的には「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に決定）
 - 保存修理工事（耐震補強含む）に伴い重要文化財旧函館区公会堂休館（平成30年10月～令和3年3月頃）
 - 北海道胆振東部地震（平成30年9月6日発生）により特別史跡五稜郭跡で崩落した石垣復旧工事着手（平成30年11月～令和元年度）
 - 亀田中および港中で提供された学校給食を原因とする食中毒が発生（平成30年12月18日発生）
 - 旧相馬家住宅主屋および土蔵が国の重要文化財に指定
 - 湯川中学校給食調理場において火災発生（平成31年3月18日発生）
 - 湯川中学校給食調理場の廃止
 - 市立学校に係る部活動の方針を策定（平成31年3月策定）

※上記記載の年は年度を示す。

1 函館市内の指定文化財（令和2年1月1日現在）

(1) 国指定（19件）

種別	名称	所在地	管理・所有者	指定年月日	摘要
国宝	土偶	臼尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H19.6.8	縄文時代後期の土偶であり、高さ41.5cm、幅20.1cm
重要文化財	木造大日如来坐像	住吉町12-23 高野寺	高野寺	S42.6.15	11世紀から12世紀初期の作 明治24年(1891)紀州高野山から付与
	太刀川家住宅店舗	弁天町15-15	個人	S46.12.28	明治34年(1901)初代太刀川善吉が建築 明治末期の開港場商家の典型例
	旧函館区公会堂	元町11-33	函館市	S49.5.21	明治43年(1910)建設の擬洋風建築物
	函館ハリストス 正教会復活聖堂	元町3-13	函館ハリストス 正教会	S58.6.2	大正5年(1916)に建築されたロシアビザン チン様式を基本とする聖堂
	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館 旧宣教師館	杉並町23-11	学校法人 遺愛学院	H13.6.15	明治41年(1908)に建築された洋風木造校舎 と外国人宣教師の洋風住宅 (H16.12.10本館追加指定)
	北海道志海苔 中世遺構出土銭	青柳町17-1 博物館	函館市	H15.5.29	昭和43年、志海苔町で発見された38万枚を 超える埋蔵古銭と大甕・敷板
	大谷派本願寺函館 別院 本堂 鐘楼 正門	元町16-15	宗教法人 真宗大谷派函館別院	H19.12.4	本堂は大正4年(1915)に竣工した国内最初 の鉄筋コンクリート構造の寺院建築。鐘楼 、正門も大正初期に建設された。
	北海道豊原4遺跡 土坑出土品	臼尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H28.8.17	縄文時代早期の土坑から出土した副 葬品と思われる土器・土製品・石器
	旧相馬家住宅 主屋 土蔵	元町33-1	㈱エステート企画	H30.12.25	明治40年代に初代相馬哲平が建築 洋風の応接室を備えた和風住宅
重要無形 文化財	長唄		伝統長唄保存会(うち1名市内在住)	H29.10.2 (認定日)	劇場音楽として発達し純粋な音楽と しても展開をみせた三味線音楽
重要有形 民俗文化財	アイヌの生活用具 コレクション	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S34.5.6	民族学者馬場脩氏が昭和初期に樺太などか ら収集したアイヌ民族資料
重要無形 民俗文化財	松前神楽	函館市 ほか2市21町3村	松前神楽函館連合 保存会他4団体	H30.3.8	主に北海道南部で神職が中心となり 伝承する神楽
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭町 本通1丁目	函館市	S27.3.29	安政4年(1857)武田斐三郎設計により着工 、元治元年(1864)竣工 明治維新箱館戦争の舞台
史跡	四稜郭	陣川町	函館市	S9.1.22	明治2年(1869)五稜郭の背後を固めるため 急造した洋式堡壘
	志苔館跡	志海苔町・赤坂町	函館市	S9.8.9	室町時代中期の小豪族の館
	大船遺跡	大船町	函館市	H13.8.13	縄文時代前期末から中期末までの約千 年間に築いた集落跡
	垣ノ島遺跡	臼尻町	函館市	H23.2.7	縄文時代早期から後期にかけての長期間に わたる集落跡で、大規模な盛土遺構が存在
名勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	見晴町	函館市	H13.8.13	明治時代後半に市内の呉服商により造成さ れた、大規模で本格的な庭園

(2) 国選定（1件）

種別	名称	所在地	選定年月日	摘要
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末広町 伝統的建造物群 保存地区	弥生町, 大町, 元町, 末広町, 豊川町 の各一部	H1.4.21	旧外国公館, 宗教施設および煉瓦造の倉庫 群, 和洋折衷様式の町家など異国情緒豊か な町並み

(3) 国 登 録 (21件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	登 録 年 月 日	摘 要
登録有形	五島軒本店旧館	末広町4-13	㈱五島軒	H9.5.7	昭和9年(1934)建築のレストラン
	北海道教育大学函館校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	八幡町1-2	北海道教育大学	H12.4.28	大正3年(1914)建築の洋風木造校舎
	ブレイリー・ハウス (旧佐田邸)	元町32-43他	個人	H12.4.28	昭和3年(1928)建築の洋風一般住宅
	函館中華会館	大町1-20	(社)函館中華会館	H13.4.24	明治43年(1910)建築の関帝廟形式の集会所
	遺愛学院講堂	杉並町64-1	学校法人遺愛学院	H14.6.25	昭和10年(1935)建築の周囲との調和を図った講堂
	函館大手町ハウス (旧浅野セメント 函館営業所)	大手町5-1	個人	H17.7.12	大正7年(1918)建築の、木造凝洋風社屋
	遺愛学院(旧遺愛女 学校)謝恩館	杉並町64-1	学校法人 遺愛学院	H17.7.12	大正11年(1922)建築、昭和36年2階部分増 築の同窓会会館
	高龍寺本堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治32年(1899)建築、大規模で装飾性豊 かな近代の曹洞宗本堂
	高龍寺開山堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治30年(1897)頃建築、函館市内に残る 煉瓦造建築の古例となる遺構
	高龍寺山門及び袖 塀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年頃(1910)建築、雲龍や獅子等の 彫刻を施す、装飾豊かな門
	高龍寺防火塀	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年(1910)建築、大火が頻発した近 代函館を象徴する遺構
	高龍寺金毘羅堂	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年(1917)建築、高龍寺境内で最も 装飾的な建築のひとつ
	高龍寺水盤舎	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年頃(1917)建築、立体的で充実し た彫刻のある水盤舎
	高龍寺鐘楼	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正11年(1922)建築、水盤舎同様充実し た彫刻のある鐘楼
	高龍寺宝蔵	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正5年(1916)建築、煉瓦造を用いた独 特の形式の蔵
	高龍寺位牌堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	昭和8年(1933)建築、地階を有し、彫刻 に技巧が凝らされた建物
	高龍寺土塀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年(1917)頃建築、山門袖塀の左右 に伸びる土塀
	旧藤澤家住宅主屋	時任町28他	個人	H28.11.29	昭和9年(1932)函館大火後に郊外に 展開した新興住宅地に建つ住宅建築
	函館YWCA会館	松陰町6-2	一般財団法人 函館YWCA	H28.11.29	昭和前期に建設された郊外住宅の趣 きを示す洋風建築
	函館公園こどもの くに空中観覧車	青柳町17	北海興業(株)	R元.12.5	現役で稼働する現存最古の観覧車
登録記念物 (名勝地)	函館公園	青柳町	函館市	H18.1.26	明治12年(1879)開園の和洋折衷型の公園

(4) 道 指 定 (19件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	樽岸出土の石器	青柳町17-1 博物館	函館市	S32.12.20
	夷酋列像粉本	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S34.2.24
	旧金森洋物店	未広町19-15	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館1号	青柳町17-5	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館2号	青柳町17-4	函館市	S38.7.26
	楳法華出土の尖底土器	青柳町17-1 博物館	函館市	S43.3.29
	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	船見町21-11 高龍寺	高龍寺	S43.3.29
	石崎八幡神社の鰐口	青柳町17-1 博物館	石崎八幡神社	S43.3.29
	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	刀 銘源正雄	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	板碑(貞治の碑)	船見町18-14 称名寺	称名寺	S46.3.5
	板碑(戸井町の板碑)	小安町525-1 戸井西隣総合センター	函館市	S46.3.5
	サイベ沢遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	住吉町遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	旧北海道庁函館支庁庁舎	元町12-18	函館市	S60.3.30
	旧開拓使函館支庁書籍庫	元町12-1	函館市	S60.3.30
史跡	恵山貝塚	恵山町	函館市	S42.3.17
	女那川煉瓦製造所跡	川上町	函館市	S42.3.17
	古武井熔鋳炉跡	高岱町	函館市	S42.3.17

(5) 市指定 (89件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双(うち7月~12月は平沢屏山筆, 1月~6月は宮原柳僊模写)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	近藤重蔵書翰	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	菅原透ほか鏝23点, 唐草文ほか小物5点	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心とする恵山式土器一括資料62点(いずれも旧能登川コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉(縄文晩期)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	カムチャツカ出土 マンモス牙	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	セイウチ(海象)剥製	五稜郭町37-8 北洋資料館	函館市	S37.11.3
	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	十一面観音立像	船見町18-14 称名寺	称名寺	S38.11.3
	阿弥陀如来像	船見町18-14 称名寺	称名寺	S38.11.3
	不動明王立像	船見町20-20 真言寺	真言寺	S38.11.3
	梁川八景	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S38.11.3
	唐美人	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	落下コロポックル人の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	蝦夷嶋図説	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S39.11.3
	蝦夷嶋奇観	柏木町	個人	S39.11.3
	維摩	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	アイヌ絵巻	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	蓬萊図	湯川町	個人蔵	S39.11.3
	詩書 榎本武揚筆	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	函館新聞綴込一括	柏木町	個人	S39.11.3
	有舌尖頭器類 73点	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	絹本着色 春雨桜雉図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 巖上鴛鴦図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記 9冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記付録12冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	蝦夷日誌 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷嚳奇観 松浦武四郎写	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	短冊 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	黒百合 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷人亜寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	柏木町	個人	S41.11.3
	伝ゴローニンの書	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S43.12.4
弁天島八千代橋の図	白尻町595 白尻小学校	函館市	S53.2.28	
川汲温泉薬王殿奉納絵馬 竜の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28	

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日	
有形文化財	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 馬の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28	
	巖島神社旧社殿彫刻	白尻町151 巖島神社	宗教法人巖島神社	S53.2.28	
	奉納経神社仏閣順拝帳	川汲町975	個人	S53.2.28	
	飯田屋漁場文書	尾札部町1220	個人	S53.2.28	
	ヲタハマ稲荷文書	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	個人	S53.2.28	
	尾札部稲荷神社文書	尾札部町473 尾札部稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S53.2.28	
	熊泊稲荷文書	大船町316-1 大船稲荷神社	宗教法人 大船稲荷神社	S53.2.28	
	旧イギリス領事館	元町33-14	函館市	S54.11.3	
	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本 (小島家旧蔵・旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S54.11.3	
	伝目定作 釈迦如来坐像	尾札部町	個人	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来立像	木直町	個人	S54.12.7	
	伝目定作 脇侍形菩薩立像	川汲町1520-4 南茅部総合センター	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来坐像	川汲町1520-4 南茅部総合センター	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 恵比須像	大船町	個人	S54.12.7	
	川汲稲荷神社奉納絵馬 『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	川汲町1520-4 南茅部総合センター	宗教法人 尾札部稲荷神社	H12.8.10	
	伝目定作 恵比須大黒神像	安浦町	個人	H12.8.10	
	白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H12.8.10	
	八木B遺跡出土 『注口土器及び下部有孔土器』	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H12.8.10	
	日米親善人形	白尻町595他 白尻小学校他	函館市他	H12.8.10(1件) (H29. 5. 10追 加指定4件)	
	函館八幡宮大神輿	谷地頭町2-5 函館八幡宮	函館八幡宮	H14.6.5	
	ブラキストンの大形磨製石斧	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	高松凌雲の医療器具	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	五稜郭初度設計図	青柳町17-1 博物館	函館市	H20.10.8	
	五稜郭平面図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	H20.10.8	
	円空作仏像観音像	船見町18-14 称名寺	護念山撰取院称名寺	H24.2.8	
	白尻C遺跡出土の赤彩土器	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H29.5.10	
	戸井貝塚出土品	青柳町17-1 博物館	函館市	R元.12.25	
	有形民俗	コディアック・アリユート 3人乗皮舟付かい3本	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S54.11.3
		木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	木直町803 木直稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
		川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	川汲町861 川汲稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
		巖島神社 第1号～第6号棟札	白尻町151 巖島神社	宗教法人 巖島神社	S54.12.7
ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札		大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	個人	S54.12.7	
無形民俗 文化財	安浦駒踊り	安浦町	安浦駒踊り保存会	S53.2.28	
	木直大正神楽	木直町	木直大正神楽 保存会	S53.2.28	
史跡	高田屋嘉兵衛碑	柏野町	函館市	S34.8.1	
	日ノ浜遺跡	高岱町	函館市	S34.8.1	
	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	尾札部町2725	函館市	S53.2.28	
	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	白尻町234-1	函館市	S53.2.28	

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
名勝	恵山	柏野町	国	S34.8.1
	道南金剛	日浦町	国	S34.8.1
	賽の河原	柏野町	国	S34.8.1
天然記念物	恵山高山植物群	柏野町	国	S34.8.1
	恵山断層	柏野町117	函館市	S34.8.1
	イチョウの大樹	白尻町175 覚王寺	宗教法人覚王寺	S53.2.28
	「大船の杉」大樹	大船町526	函館市	S53.2.28
	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	白尻町119	函館市	H16.3.10

3 市立学校・幼稚園一覧

(小学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 弥 生	M15. 4. 1	寺 本 公 彦	23-5285	弥生町4-16	7	2	9
2 青 柳	H2. 4. 1	大 浦 久美子	23-8348	青柳町22-13	8	2	10
3 あさひ	H14. 4. 1	長 瀬 雅 一	22-2181	大森町6-11	6	3	9
4 中 部	S53. 4. 1	大 谷 眞 司	22-2503	新川町30-26	6	2	8
5 北 星	S63. 4. 1	長谷川 秋 美	41-3340	大縄町24-26	6	2	8
6 八 幡	S16. 1. 15	松 浦 一 秀	41-5245	八幡町15-30	12	4	16
7 万年橋	S2. 1. 10	吉 田 敬 三	42-0861	吉川町6-22	6	2	8
8 港	S22. 11. 8	前 田 知 彦	41-5855	港町1丁目22-1	14	3	17
9 中 島	S7. 12. 30	小 林 徹 也	52-1437	中島町30-5	6	1	7
10 千代田	S25. 1. 7	奥 崎 敏 之	52-2518	梁川町23-4	6	1	7
11 柏 野	S3. 3. 2	沢 田 紀 之	51-3877	松陰町5-10	12	2	14
12 大森浜	H31. 4. 1	紺 野 克 典	51-1023	金堀町3-1	14	4	18
13 駒 場	S25. 4. 1	永 澤 篤	52-2364	駒場町1-6	6	2	8
14 深 堀	S46. 2. 1	山 本 良 子	53-7822	深堀町14-2	8	3	11
15 日吉が丘	S39. 4. 1	長谷川 巖	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14
16 北日吉	S50. 4. 1	小 川 祥 子	55-0924	日吉4丁目5-5	12	2	14
17 湯 川	M13. 9. 12	畑 中 雅 昭	57-1759	湯川町3丁目42-1	12	2	14
18 高 丘	S51. 5. 1	坂 内 達 也	57-3381	高丘町3-2	11	2	13
19 上湯川	S45. 2. 1	井 田 隆 幸	57-2211	上湯川町295	6	2	8
20 旭 岡	S54. 4. 1	西 口 昌 司	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	7	2	9
21 鱒 川	M34. 5. 15	阿 部 真 之	50-2911	鱒川町91	3	1	4
22 東	S47. 4. 1	中 島 直 哉	58-2847	銭亀町339	6	2	8
23 石 崎	M13. 4. 2	坂 井 顕 也	58-2525	石崎町438	2	1	3
24 桔 梗	M15. 11. 2	佐々木 正 幸	46-3607	桔梗1丁目13-2	22	3	25
25 中の沢	S42. 9. 15	磯 部 伸 一	47-1302	桔梗5丁目25-5	12		12
26 北昭和	S51. 4. 1	谷 口 光 伸	45-1070	昭和4丁目38-1	7	2	9
27 昭 和	S40. 4. 1	鈴 木 俊 浩	41-4964	昭和1丁目5-5	14	5	19
28 亀 田	M34. 2. 1	榊 博 之	41-3370	富岡町1丁目18-1	11	3	14
29 赤 川	M13. 7. 30	大 場 雅 樹	46-3006	赤川町367	6	2	8
30 中 央	S48. 4. 1	井 岸 撰	46-4910	美原2丁目28-1	8	2	10
31 北美原	S54. 4. 1	新 谷 公 康	46-1370	北美原1丁目9-16	21		21
32 鍛 神	M13. 4. 23	新 山 亨	51-4503	鍛治2丁目46-4	12	5	17
33 神 山	H7. 4. 1	三 浦 務	32-7211	神山町233-1	12	3	15
34 東 山	S53. 4. 1	一 戸 裕 之	53-5531	東山2丁目3-1	13	3	16
35 本 通	S46. 4. 1	鈴 木 敏 文	54-3223	本通1丁目47-2	12	3	15
36 南本通	S58. 4. 1	小 山 みゆき	55-1281	本通3丁目10-1	7	2	9
37 戸井西	H10. 4. 1	藤 森 祐 子	58-2554	小安町548-1	3		3
38 日 新	M13. 10. 18	河 野 哲 郎	82-2030	弁才町279-1	3		3
39 えさん	H16. 4. 1	高 間 猛	84-2341	中浜町79	5	2	7
40 楯法華	M13. 4. 5	鈴 木 恭 朗	86-2051	新八幡町86-1	3		3
41 磨 光	M13. 12. 25	西 谷 さおり	63-2561	尾札部町1609-1	6	3	9
42 白 尻	M11. 11. 10	見 延 誠 一	25-3059	白尻町595	3	2	5
43 大 船	M13. 12. 17	松 浦 宏	25-3161	大船町24	3	1	4
小学校計					371	90	461

令和元年5月1日現在

児童数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
183	9	192	1	14	1	16	1	0		1	弥生
220	3	223	1	14	1	16	1	1		2	青柳
171	10	181	1	18	1	20		0		0	あさひ
137	7	144	1	16	1	18		0		0	中部
107	2	109	1	12	1	14		2		2	北星
369	13	382	1	22	1	24	1	2	2	5	八幡
128	3	131	1	11	1	13		2	2	4	万年橋
436	19	455	1	25	1	27	1	2	2	5	港
150	5	155	1	11	1	13		2	2	4	中島
78	1	79	1	10	1	12		2		2	千代田
343	8	351	1	17	1	19	1	1	2	4	柏野
443	23	466	1	27	1	29	1	2	3	6	大森浜
193	10	203	1	13	1	15	1	2		3	駒場
224	21	245	1	18	1	20	1	1		2	深堀
360	2	362	1	21	1	23	1	2		3	日吉が丘
293	7	300	1	20	1	22	1	2		3	北日吉
327	6	333	1	18	1	20	1	2		3	湯川
277	11	288	1	17	1	19	1	1		2	高丘
125	3	128	1	12	1	14		2		2	上湯川
178	6	184	1	14	1	16	1	1		2	旭岡
16	2	18		6	1	7		1	1	2	鱒川
77	2	79	1	11	1	13		2		2	東
6	3	9	1	6	1	8		1		1	石崎
713	20	733	1	38	2	41	1	2		3	桔梗
323		323	1	16	1	18	1	1		2	中の沢
198	6	204	1	13	1	15	1	2		3	北昭和
415	22	437	1	29	1	31	1	2		3	昭和
288	18	306	1	22	1	24	1	1		2	亀田
87	7	94	1	10	1	12		2		2	赤川
213	6	219	1	17	1	19	1	2		3	中央
680		680	1	30	2	33	1	2		3	北美原
316	35	351	1	23	2	26	1	2		3	鍛神
290	14	304	1	22	1	24	1	2		3	神山
408	12	420	1	23	1	25	1	2		3	東山
314	8	322	1	21	1	23	1	1		2	本通
189	6	195	1	13	1	15	1	1		2	南本通
30		30	1	5	1	7		1		1	戸井西
21		21	1	5	1	7		0		0	日新
56	5	61	1	9	1	11		1		1	えさん
15		15	1	4	1	6		1		1	鍛法華
110	7	117	1	13	1	15		1		1	磨光
34	3	37	1	7	1	9		1		1	白尻
16	2	18	1	6	1	8		1		1	大船
9,557	347	9,904	42	679	46	767	25	61	14	100	小学校計

(中学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 青 柳	H30.4.1	坂 本 昌 昭	23-4295	青柳町10-7	9	2	11
2 港	S32.4.1	長谷川 秀 雄	41-5790	港町2丁目10-1	6	2	8
3 巴	H30.4.1	佐 竹 聡	56-5005	的場町12-7	17	3	20
4 深 堀	S36.4.1	三 浦 佐和子	52-2682	深堀町28-1	8	1	9
5 湯 川	S22.5.1	三 觜 徳 久	59-2008	湯川町2丁目41-1	9	4	13
6 戸 倉	S48.4.1	小 川 弘	59-2141	戸倉町26-1	9	2	11
7 旭 岡	S56.4.1	田 上 直 広	50-3609	西旭岡町3丁目5	3		3
8 鱒 川	S36.4.1	阿 部 真 之	50-2911	鱒川町91	2	2	4
9 銭亀沢	S29.4.1	中埜渡 信 裕	58-2542	豊原町140-30	3	2	5
10 赤 川	S55.4.1	加 賀 重 仁	46-0486	赤川町125	10	3	13
11 桔 梗	S59.4.1	濱 谷 操	46-9990	桔梗町429-4	15	1	16
12 亀 田	S23.5.10	内 山 作	46-3005	美原3丁目30-3	16	3	19
13 五稜郭	H28.4.1	木 村 雅 彦	41-1332	富岡町1丁目18-2	14	3	17
14 本 通	S50.4.1	風 間 和 夫	55-3141	本通2丁目56-7	16	3	19
15 北	S57.4.1	滝 澤 智 子	56-0553	山の手3丁目58-1	7	1	8
16 潮 光	S27.4.1	工 藤 千 香	82-2160	釜谷町227	3	1	4
17 日 新	S22.5.21	池 田 公 貴	82-2061	泊町126	3		3
18 恵 山	H17.4.1	佐 藤 雅 博	85-2122	柏野町9	3		3
19 榎法華	S22.4.1	齋 藤 淳 一	86-2151	新浜町151-1	3	1	4
20 尾札部	S24.8.3	笠 島 美 教	63-2762	尾札部町2023	3		3
21 白 尻	M22.5.1	對 馬 寿 恵	25-3281	豊崎町205	3	1	4
中学校計					162	35	197

(高等学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地
1 市立函館	H19.4.1	佐 竹 卓	52-0099	柳町11-5

(幼稚園)

園 名	創立年月日	園長氏名	電話番号	所 在 地
2 戸 井	H10.4.1	土 川 千 枝	82-3577	小安町523-7

令和元年5月1日現在

生徒数			道費職員				市費職員					学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務等	計	事務	用務	調理	学校司書	計	
292	9	301	1	22	1	24	1	0		1	2	青柳
180	3	183	1	14	1	16		2		1	3	港
582	17	599	1	38	2	41	1	0		1	2	巴
248	1	249	1	18	1	20	1	2	3		6	深掘
268	20	288	1	22	1	24	1	2	0		3	湯川
292	5	297	1	21	1	23	1	1			2	戸倉
104		104	1	9	1	11		2			2	旭岡
10	4	14	1	8		9						鱒川
50	4	54	1	12	1	14		1			1	銭亀沢
319	17	336	1	24	1	26	1	2			3	赤川
512	4	516	1	30	1	32	1	2		1	4	桔梗
547	15	562	1	36	1	38	1	2		1	4	亀田
494	20	514	1	29	1	31	1	2		1	4	五稜郭
561	16	577	1	33	1	35	1	2		1	4	本通
230	2	232	1	17	1	19	1	2		1	4	北
18	1	19	1	10	1	12		1			1	潮光
15		15	1	10	1	12		1			1	日新
36		36	1	10	1	12		1			1	恵山
20	1	21	1	11	1	13		1			1	楳法華
61		61	1	10	1	12		1			1	尾札部
31	2	33	1	10	1	12		1			1	白尻
4,870	141	5,011	21	394	21	436	11	28	3	8	50	中学校計

学級数	生徒数	校長	教員	実習助手	事務	用務	計	学校名
20	792	1	59	1	5	0	66	市立函館

学級数				園児数				園長	教員	事務	用務	計	園名
3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計						
1	1	1	3	7	4	6	17	1	3		1	5	戸井

4 市内学校・幼稚園一覧（市立学校・幼稚園を除く）

学校種別	設置区分	学 校 名	創立年月日	校長等氏名
大学	国立大学法人	北海道大学水産学部・水産科学院・水産科学研究所	M40.2.1	木 村 暢 夫
		北海道教育大学教育学部函館校	T3.4.1	後 藤 泰 宏
	公 立	公立ほこだて未来大学	H12.4.1	片 桐 恭 弘
	私 立	函館大学	S40.4.1	野 又 淳 司
短期大学	私 立	函館短期大学	S28.1.31	猪 上 徳 雄
		函館大谷短期大学	S38.4.1	福 島 憲 成
高等専門学校 高等学校	独立行政法人 道 立	国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	S37.4.1	但 野 茂
		函館中部高等学校	M28.4.1	田 尻 勝 敏
		函館西高等学校	M37.12.12	佐 藤 裕 之
		函館稜北高等学校	S58.4.1	美土路 建
		函館工業高等学校	M44.2.25	小 幡 圭 二
		函館商業高等学校	M20.1.11	大 庭 隆
		南茅部高等学校	S24.4.1	片 桐 清 実
	私 立	函館ラ・サール高等学校	S35.4.1	ロドリゴ・テレビニョ
		函館大学附属有斗高等学校	S13.9.19	山 田 伸 二
		函館白百合学園高等学校	M11.5.28	本 間 厚
		函館大谷高等学校	M21.11.13	丸 山 政 秀
		遺愛女子高等学校	M7.1.26	福 島 基 輝
		函館大妻高等学校	T13.4.1	池 田 延 己
		函館大学附属柏稜高等学校	S32.4.1	宮 岡 秀 昌
		清尚学院高等学校	S5.2.22	土 家 康 宏
		中学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館中学校
私 立	遺愛女子中学校		S22.4.1	福 島 基 輝
	函館白百合学園中学校		創立S23.4.1 再開H9.4.1~	本 間 厚
	函館ラ・サール中学校		H11.4.1	ロドリゴ・テレビニョ
小学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館小学校	T6.4.1	北 村 博 幸
	私 立	函館三育小学校	S55.4.1	鈴 木 宏 和
幼稚園	国立大学法人	北海道教育大学附属函館幼稚園	S45.4.1	橋 本 忠 和
	私 立	認定こども園 函館藤幼稚園	S9.10.13	佐 藤 由 規
		認定こども園 元町白百合幼稚園	S36.4.1	須 田 光 子
		認定こども園 カトリック湯の川幼稚園	S32.4.5	伊 藤 克 美
		函館短期大学附属幼稚園	S41.3.18	片 桐 由 博
		遺愛旭岡幼稚園	S57.3.26	福 島 基 輝
		遺愛幼稚園	M28.10.1	福 島 基 輝
		認定こども園 函館大谷幼稚園	S35.7.1	浅 井 睦 子
		認定こども園 花園大谷幼稚園	S49.4.10	中 村 享 子
		認定こども園 国の華幼稚園	S31.10.13	岸 田 千 佳 子
		認定こども園 龍谷幼稚園	S12.4.1	坂 本 る み
		認定こども園 函館ちとせ幼稚園	S26.4.1	濱 田 薫
		認定こども園総合施設 函館若葉幼稚園	S33.3.10	鈴 木 眞 由 子
		函館めぐみ幼稚園	S27.11.8	山 西 道 郎
		認定こども園 太陽の子幼稚園	S41.1.25	若 松 優 美
		函館白百合学園幼稚園	S25.4.5	堀 内 延 子
		函館大谷短期大学附属認定こども園	S40.4.1	葛 西 眞 理 子
		亀田ゆたか幼稚園	S47.3.2	佐 藤 篤 正
		認定こども園 第二太陽の子幼稚園	S52.2.28	西 村 千 秋
		認定こども園 函館ひかり幼稚園	S53.12.13	寺 地 加 奈
		函館あおい認定こども園	S54.12.17	和 泉 陽 子
	認定こども園 ききょう幼稚園	S54.12.17	川 村 瑞 枝	
	認定こども園 高丘幼稚園	S54.12.7	玉 利 達 人	
特別支援学校	国立大学法人	北海道教育大学附属特別支援学校	S51.4.1	紀 藤 典 夫
	道 立	北海道函館盲学校	M28.10.1	辻 山 し の ぶ
		北海道函館聾学校	M28.10.1	海 田 俊 昌
		北海道函館養護学校	S54.4.1	櫻 田 なおみ
		北海道函館五稜郭支援学校	S54.4.1	田 近 憲 二
		北海道函館高等支援学校	H31.4.1	立 田 俊 治

電話番号	所在地	学級数	学生・生徒等数	教員数
40-5505	港町3丁目1-1		947	85
44-4411	八幡町1-2		1,226	78
34-6448	亀田中野町116-2		1,204	72
57-1181	高丘町51-1		367	26
57-1800	高丘町52-1		224	19
51-1786	鍛冶1丁目2-3		(本) 174 (専) 9	16
59-6300	戸倉町14-1	(本)25 (専) 6	(本) 902 (専) 44	71
52-0303	時任町11-3	(全)18 (定) 4	(全) 716 (定) 65	(全)50 (定)10
23-8415	元町7-17	(全)12	(全) 474	(全)33
46-6235	石川町181-8	(全) 6	(全) 239	(全)19
51-2271	川原町5-13	(全)18 (定) 5	(全) 709 (定) 42	(全)71 (定)16
41-4248	昭和1丁目17-1	(全)12 (定) 4	(全) 468 (定) 42	(全)38 (定)10
25-3372	川汲町1560	(全) 3	(全) 43	(全)12
52-0365	日吉町1丁目12-1	13	385	27
57-1381	湯川町2丁目43-1	17	454	35
55-6682	山の手2丁目6-3	12	324	29
52-1834	鍛冶1丁目2-3	13	364	22
51-0418	杉並町23-11	21	704	33
52-1890	柳町14-23	15	430	33
51-1481	柏木町1-34	12	329	29
41-6584	亀田本町5-17	8	213	13
46-2233	美原3丁目48-6	9	314	17
51-0418	杉並町23-11	6	126	9
55-6682	山の手2丁目6-3	3	58	7
52-0365	日吉町1丁目12-1	8	249	15
46-2235	美原3丁目48-6	12	402	18
34-2115	桔梗5丁目26-1	3	41	4
46-2237	美原3丁目48-6	3	60	4
41-3569	宮前町26-6	6	117	11
23-3551	元町15-30	6	45	5
51-3046	駒場町14-10	4	50	7
51-2757	柏木町7-26	7	100	11
50-3308	西旭岡2丁目6-1	4	45	7
22-0419	元町4-1	4	48	8
51-1674	千代台町10-10	6	88	10
54-2640	花園町17-17	7	108	12
51-0738	梁川町19-17	10	311	27
23-0274	東川町12-24	3	52	6
55-4182	松陰町9-7	7	144	19
42-4471	田家町9-30	7	183	16
47-1735	桔梗町433-43	9	173	11
41-1929	富岡町1丁目42-12	4	94	11
52-0945	山の手2丁目6-3	4	86	8
56-1038	鍛冶1丁目2-3	9	186	22
41-6585	美原1丁目28-10	6	130	13
41-9345	亀田港町13-5	7	151	17
54-2220	神山3丁目52-8	8	194	21
46-1008	美原2丁目46-10	10	189	21
49-0313	西桔梗町218-43	11	258	33
57-3621	高丘町27-33	5	146	29
46-2515	美原3丁目48-1	(小) 3 (中) 3 (高) 3	(小)18 (中)18 (高)24	30
42-3220	田家町19-12	(幼) 2 (小) 2 (中) 1	(幼) 3 (小) 5 (中) 2	15
52-1658	深堀町27-8	(幼) 1 (小) 3 (中) 2	(幼) 1 (小) 6 (中) 3	17
50-3311	旭岡町2	(小) 6 (中) 4 (高)10	(小)16 (中)12 (高)21	60
53-9395	五稜郭町39-13	(高) 4	(高)29	15
34-2110	石川町181-8	(高) 4	(高)29	20



スポーツ健康都市宣言

わたくしたち函館市民は、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 1 スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 1 スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活を営みます。
- 1 スポーツと健康づくりを通じて、友情とふれあいの輪を世界に広げます。

平成4年10月10日

函 館 市